

GUI ユーザーズマニュアル

<https://manual.amnimo.com>

2024年8月5日に印刷しました

目次

[ライセンス](#)
[商標](#)
[はじめに](#)
[ネットワーク構成](#)
[本製品について](#)
[本書について](#)
[サインイン/サインアウトする](#)
[パスワードを変更する](#)
[本製品の画面構成](#)
[簡易設定をする](#)
[機器情報を確認する](#)
[運用情報を確認する](#)
[本製品を再起動・停止する](#)
[ファームウェアを操作する](#)
[設定ファイルの操作をする](#)
[アムニモ診断情報をダウンロードする](#)
[ユーザーズマニュアルを閲覧する](#)
[パッケージリポジトリを設定する](#)
[ホスト名を設定する](#)
[タイムゾーンを設定する](#)
[アカウント設定をする](#)
[グループ設定をする](#)
[モバイル通信設定をする](#)
[無線LAN設定をする](#)
[PPP\(PPPoE\)設定をする](#)
[インターフェイス設定をする](#)
[スタティックルーティング設定をする](#)
[フィルター設定をする](#)
[NAT設定をする](#)
[IPsec設定をする](#)
[DNS設定をする](#)
[DHCPサーバー設定をする](#)
[DHCPリレー設定をする](#)
[プロキシサーバー設定をする](#)
[時刻を設定する](#)
[SSHの設定をする](#)
[ストレージ設定をする](#)
[スケジュールを設定する](#)
[PoE 設定をする](#)
[CPU 動作設定をする](#)
[SYSLOG の設定をする](#)
[DMS 設定をする](#)
[Nx Witness 設定をする](#)
[remote.it の設定をする](#)
[GUIの設定をする](#)

[改訂履歴](#)

ライセンス

2024年7月10日

本製品では、GPL（GNU General Public License）等のオープンソースライセンスに基づくソフトウェアを使用しています。詳細については、当社Webサイトに記載しております。

[オープンソースソフトウェア使用許諾条件書\(amnimo X/G/R シリーズ\)](#)

[オープンソースソフトウェア使用許諾条件書\(amnimo Cシリーズ\)](#)

- **保証の範囲と対応責任**

本製品において、GPL等の条項に従いオープンソースソフトウェアそのものの動作に関しては、保証を行いません。

商標

2024年7月12日

本文中に使われている商品名、会社名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

はじめに

2024年7月10日

このたびは当社のAIエッジゲートウェイ amnimo X series（以下「AIエッジゲートウェイ」）、エッジゲートウェイ amnimo G series（以下「エッジゲートウェイ」）、IoTルーター amnimo R series（以下、「IoTルーター」）、コンパクトルーター amnimo C series（以下、「コンパクトルーター」）をご採用いただき、誠にありがとうございます（以下、上記当社シリーズ製品を「本製品」と呼びます）。

amnimoエッジゲートウェイシリーズGUIユーザーズマニュアル（以下「本書」）は、GUI（Graphical User Interface）による本製品の基本的な操作方法について説明したマニュアルです。

本書は、電気通信の用語と概念を理解しているシステムインテグレーターや管理者を対象としています。

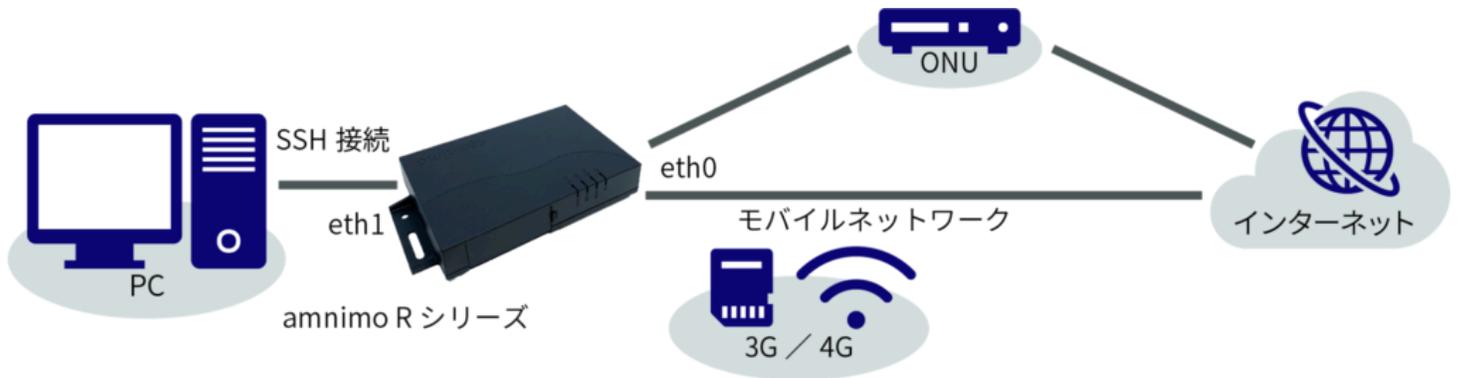
本製品の機能を活かし、正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みになり、機能や操作内容を十分に理解され、取り扱いに慣れていただきますようお願いいたします。

ネットワーク構成

2024年7月10日

本書では、以下のようなネットワーク構成で、LANケーブルでPCと本製品を接続し、Webブラウザを用いて各種設定をする方法について説明しています。

CLI（Command Line Interface）で設定する方法については、『[エッジゲートウェイシリーズ CLIユーザーズマニュアル](#)』を参照してください。



! CAUTION

GUI設定画面にサインインして設定するためには、本製品とPCが同一ネットワークに所属している必要があります。ご利用のPCのIPアドレスを、本製品のeth1のIPアドレス「192.168.0.254」にあわせて変更してください。
⇒IPアドレスの変更方法については、お使いのOSのマニュアルなどを参照してください。

📝 NOTE

- エッジゲートウェイの場合、PCと接続するポートはlan0～lan3のいずれかとなります。
- AIエッジゲートウェイの場合、PCと接続するポートはlan0～lan3のいずれか、ONUと接続するポートはwan0となります。

本製品について

2024年6月24日

マニュアル対象ファームウェアバージョン

本マニュアルでは以下のバージョンのファームウェアをベースに記載しています。

製品	アイコン	ファームウェアバージョン
AIエッジゲートウェイ		2.4.2
エッジゲートウェイ		
IoTルーター		
コンパクトルーター屋内タイプ		2.5.0
無線LAN搭載コンパクトルーター 屋内タイプ		
無線LAN搭載コンパクトルーター 屋外タイプ		

本製品に関するご注意

- 本製品は、設定データの下位互換を保証していません。

本書について

2024年7月10日

本書に関するご注意

- 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

連絡先 : アムニモカスタマーサポート

E-mail : support@amnimo.com

URL : <https://support.amnimo.com/>

- 機能／性能上とくに支障がないと思われる仕様変更、構造変更、および使用部品の変更については、その都度の改訂はしない場合がありますのでご了承ください。

マニュアル一覧

全般

- [amnimo ゲートウェイシリーズ GUIユーザーズマニュアル \(本書\)](#)
- [amnimo ゲートウェイシリーズ CLIユーザーズマニュアル](#)
- [デバイス管理システムマニュアル](#)

amnimo X/G/R シリーズ

- [amnimo Xシリーズ AIエッジゲートウェイユーザーズマニュアル](#)
- [amnimo Xシリーズ AIエッジゲートウェイスタートアップガイド](#)
- [amnimo Gシリーズ エッジゲートウェイユーザーズマニュアル](#)
- [amnimo Gシリーズ エッジゲートウェイスタートアップガイド](#)
- [amnimo Rシリーズ IoTルーターユーザーズマニュアル](#)
- [amnimo Rシリーズ IoTルータースタートアップガイド](#)
- [amnimoゲートウェイシリーズデベロッパーズマニュアル \(amnimo G/Xシリーズのみ\)](#)
- [エッジゲートウェイシリーズオープンソースソフトウェア使用許諾条件書](#)

amnimo C シリーズ

- [amnimo Cシリーズ コンパクトルーターユーザーズマニュアル](#)
- [amnimo Cシリーズ コンパクトルータースタートアップガイド](#)
- [コンパクトルーターCシリーズオープンソースソフトウェア使用許諾条件書](#)

対応機種の見かた

本書は、複数の機種に対応しています。以下に、対応機種のアイコンを示します。

- 章または節の先頭に以下のアイコンが表記されている場合、その章または節で説明している機種に対応しています。
- 節または項の先頭に以下のアイコンが表記されていない場合、属する章または節のアイコン表記の機種に対応しています。

	屋内タイプのAIエッジゲートウェイに対応していることを表しています。
	屋内タイプのエッジゲートウェイに対応していることを表しています。
	屋外タイプのエッジゲートウェイに対応していることを表しています。
	屋内タイプのIoTルーターに対応していることを表しています。
	屋外タイプのIoTルーターに対応していることを表しています。
	屋内タイプのコンパクトルーターに対応していることを表しています。
	屋内タイプの無線LAN搭載コンパクトルーターに対応していることを表しています。
	屋外タイプの無線LAN搭載コンパクトルーターに対応していることを表しています。

GUIの動作確認済み環境

OS	ブラウザ	動作確認バージョン
Windows10 Pro2004 (64bit)	Google Chrome	124.0.6367.61 (64bit)
Windows10 Pro20H2 (64bit)	Microsoft Edge	_※
Windows10 Pro20H1 (64bit)	Firefox	_※
mac OS big Sur 11.6	Safari	_※
	Google Chrome	_※
	Firefox	_※

※今後のリリースにて対応予定

サインイン/サインアウトする

2024年7月10日

本製品にサインインする手順は、初回の場合と、2回目以降の場合で異なります。

初回にサインインする

初回にサインインする場合は、adminのパスワードを設定したあとにサインインします。

1 ブラウザーを起動し、本製品のGUI設定画面のURLにアクセスします。

<http://192.168.0.254>

「パスワード登録」画面が表示されます。

2

「パスワード」と「パスワード（確認用）」にadminに設定したいパスワードを入力して、[登録] ボタンをクリックします。

NOTE

パスワードには、以下の条件にあてはまる文字列を設定してください。

- 8文字以上
- 英大文字、英小文字、数字、記号の2種類以上を含む
また、上記の条件を満たすパスワードでも、以下の条件にあてはまる場合、設定することはできません。
- 辞書に含まれる単語（例：test）
- 数字やアルファベットのキーボード配列（例：1234、abcde、qwert）などの規則性がある言葉
- 上記の組み合わせ（例：test1234）

amnimo™

パスワード登録

パスワードが登録されていません。

利用を開始する前に、パスワードを登録してください。
パスワードはadminに対して設定されます。

パスワード

パスワード (確認用)

登録

adminのパスワードが設定され、「サインイン」画面が表示されます。

3 「ユーザー名」に「admin」、「パスワード」に手順2で設定したパスワードを入力して、「サインイン」ボタンをクリックします。

amnimo™

サインイン

パスワードが登録されました

まだ初回サインインしていません。
登録したパスワードでサインインしてください。

ユーザー名
admin

パスワード

サインイン

本製品へのサインインが完了すると、以下のロゴ画面が表示されます。

2回目以降にサインインする

2回目以降にサインインする場合は、初回に設定したパスワードを入力します。

- 1 ブラウザーを起動し、本製品のGUI設定画面のURLにアクセスします。

<http://192.168.0.254>

「サインイン」画面が表示されます。

- 2 ユーザー名とパスワードを入力して、[サインイン] ボタンをクリックします。



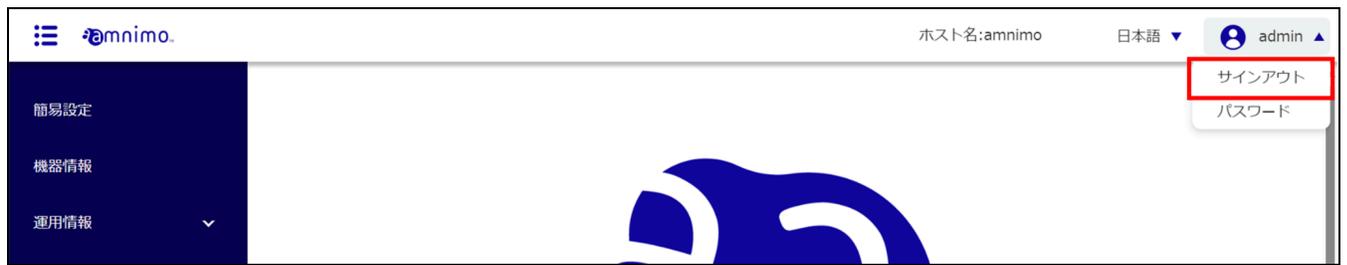
本製品へのサインインが完了すると、以下のロゴ画面が表示されます。



サインアウトする

本製品のGUI設定画面からサインアウトします。

- 1 画面右上に表示されているアカウント名をクリックし、[サインアウト] を選択します。



サインアウトの「確認」画面が表示されます。

- 2 [サインアウト] ボタンをクリックします。



GUI設定画面からサインアウトし、「サインイン」画面が表示されます。

パスワードを変更する

2024年7月10日

パスワードの変更手順について説明します。

- 1 画面右上に表示されているアカウント名をクリックし、「パスワード」を選択します。



パスワード設定画面が表示されます。

- 2 現在のパスワードと、新しいパスワードを入力し、「設定」をクリックします。

A screenshot of the 'パスワード設定' (Password Settings) form. It contains three input fields: '現在のパスワード' (Current Password), '新しいパスワード' (New Password), and '新しいパスワード (確認)' (New Password (Confirmation)). Each field has a blue eye icon to toggle visibility. At the bottom, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '設定' (Settings). The '設定' button is highlighted with a red box.

パスワードが変更されます。
サインアウトされることなく、引き続き操作は可能です。

本製品の画面構成

2024年7月10日

本製品の基本的な画面構成とサイドメニューについて説明します。

画面構成

画面に表示される内容や設定項目、制御項目は、サインインしているユーザーの権限によって異なります。

ユーザーの権限については、『[アカウント設定をする](#)』や『[グループ設定をする](#)』を参照してください。



参考画面

No	項目	説明
❶	サイドメニュー表示ボタン	クリックすると、❺のサイドメニューを隠したり、表示したりできます。
❷	ホスト名	本製品のホスト名が表示されます。
❸	言語	現在の言語設定が表示されます。クリックして、英語と日本語を切り替えることができます。
❹	アカウント名	サインインしているユーザーのアカウント名が表示されます。クリックすると、[サインアウト] を選択することができます。 『 サインアウトする 』
❺	サイドメニュー	本製品を操作するためのメニューが表示されます。 『 サイドメニュー 』
❻	メインエリア	クリックすると、❺のサイドメニューで選択したメニューに応じた画面が表示されます。

サイドメニュー

NOTE

グループ設定の権限によって表示される項目が異なります。

メニュー	サブメニュー	説明
簡易設定	—	本製品を動かすために必要なモバイル通信やインターフェイスの設定を1つの画面で行うために用意されているメニューです。
機器情報	—	機器情報やファームウェアの情報を表示するためのメニューです。SIM情報を確認することもできます。
運用情報	インターフェイス	インターフェイスの設定を表示させるためのメニューです。
	ルーティング	ルーティングの設定を表示させるためのメニューです。
	モバイル通信	モバイル通信の設定を表示させるためのメニューです。
	無線LAN	無線LANの設定を表示させるためのメニューです。
	IPsec	IPsecの接続状況を確認するためのメニューです。
	DHCPリース	DHCPのリース状況を確認するためのメニューです。
	ストレージ	ストレージの設定を表示させるためのメニューです。パーティションの追加をすることも出来ます。
	PoE	PoEの設定を表示するためのメニューです。各インターフェイスのPoEリセットを行うこともできます。
	接点変化履歴	接点変化履歴を確認するためのメニューです。
	SYSLOG	SYSLOGを表示するためのメニューです。キーワードを指定してSYSLOGを検索したり、SYSLOGファイルをダウンロードしたりすることができます。
	AMLOG	AMLOGを表示するためのメニューです。キーワードを指定してAMLOGを検索したり、AMLOGファイルをダウンロードしたりすることができます。
時刻表示	本製品に設定されている時刻を表示するためのメニューです。	
詳細設定・ 制御	パッケージリポジトリ設定	パッケージリポジトリの認証情報を設定するための画面を表示します。
	ホスト名設定	本製品のホスト名を設定するための画面を表示します。
	タイムゾーン	本製品のタイムゾーンを設定するための画面を表示します。
	アカウント設定	アカウントの設定をするための画面を表示します。
	グループ設定	グループの設定をするための画面を表示します。
	モバイル通信設定	モバイルの通信設定をするための画面を表示します。
	無線LAN設定	無線LANの設定をするための画面を表示します。
	PPP(PPPoE)設定	PPP(PPPoE)設定をするための画面を表示します。
	インターフェイス	インターフェイスの設定をするための画面を表示します。

メニュー	サブメニュー	説明
	設定	
	スタティックルーティング設定	スタティックルーティング設定をするための画面を表示します。
	フィルター設定	フィルター設定をするための画面を表示します。
	NAT設定	NAT設定をするための画面を表示します。
	IPsec設定	IPsec設定をするための画面を表示します。
	DNS設定	DNS設定をするための画面を表示します。
	DHCP設定	DHCP設定をするための画面を表示します。
	DHCPリレー設定	DHCPリレー設定をするための画面を表示します。
	プロキシサーバー設定	プロキシサーバー設定をするための画面を表示します。
	時刻設定	本製品の時刻を設定するための画面を表示します。
	SSH設定	本製品にSSHでアクセスする際の設定画面を表示します。
	ストレージ設定	ストレージの設定画面を表示します
	スケジュール設定	本製品のスケジュール設定をするための画面を表示します。
	PoE設定	PoEの設定画面を表示します
	SYSLOG設定	本製品のSYSLOGの設定をするための画面を表示します。
	CPU動作設定	CPU動作設定の画面を表示します
	DMS設定	DMS設定画面を表示します
	Nx Witness設定	Nx Witnessの設定画面を表示します
	remote.itの設定をする	remote.itの設定画面を表示します
	GUI設定	本製品をGUIで設定するための設定画面を表示します。
再起動	—	本製品を再起動するための画面を表示します。
ファームウェア	—	本製品のファームウェアを更新するための画面を表示します。
設定ファイル	—	本製品の設定ファイルを操作するための画面を表示します。
ユーザーズマニュアル	—	ユーザーズマニュアルを表示します

簡易設定をする

2024年7月10日

NOTE

この機能を利用するには、管理者としてサインインしている必要があります。通信モジュールが無い機器には、この機能はありません。

本製品を使用するために必要なモバイル通信やインターフェイスなどの設定を、1つの画面で行うことができます。なお、簡易設定をすると、DNSの設定およびフィルター設定が自動で適用されます。設定内容は簡易設定の [設定] ボタンをクリックしたときの確認画面に表示されます。

一般的な通信キャリアを選択して設定する

登録されている通信キャリアを選択して、簡易的な設定をします。

登録されていない通信キャリアの設定をする場合は、『[その他の通信キャリアを選択して設定する](#)』を参照してください。

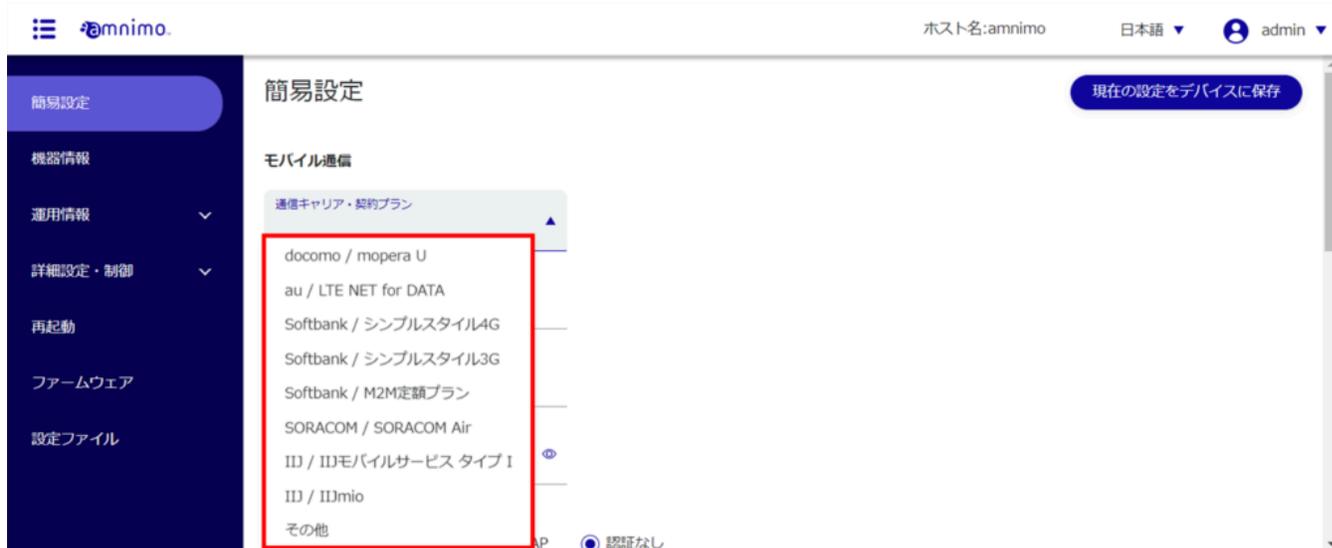
1 サイドメニューの [簡易設定] をクリックします。

「簡易設定」画面が表示されます。



2 モバイル通信設定の「通信キャリア・契約プラン」から登録済みの通信キャリアまたは契約プランを選択します。

選択した通信キャリアまたは契約プランに応じて、「APN名」「アカウント」「パスワード」「認証方式」が自動的に設定されます。



3 環境に応じて、インターフェイスの設定をします。

NOTE

設定可能なインターフェイス名は、製品によって異なります。

- AIエッジゲートウェイ：ecm0、wan0、br0
- エッジゲートウェイ：ecm0、eth0、br0
- IoTルーター：ecm0、eth0、eth1
- コンパクトルーター屋内タイプ：rmnet_data0、eth0
- 無線LAN搭載コンパクトルーター：rmnet_data0、br0



- ① モバイル通信の際に必要な「ecm0」の設定をします。（コンパクトルーターの場合は、「rmnet_data0」に読み換えてください）

トグルをクリックして、有効または無効に設定します。
また、必要に応じて、「動的SNAT」にチェックを付けます。

- ② WAN接続の際に必要な「eth0」の設定をします。

トグルをクリックして、有効または無効に設定します。
「IPアドレス」を割り当てる方法として、「DHCPクライアント」または「固定IPアドレス」を選択します。「固定IPアドレス」を選択した場合は、「IPアドレス」と「ネットマスク」を入力する必要があります。
また、必要に応じて、「動的SNAT」にチェックを付けます。

- ③ LAN接続の際に必要な「br0」の設定をします。

トグルをクリックして、有効または無効に設定します。
「IPアドレス」を割り当てる方法として、「DHCPクライアント」または「固定IPアドレス」を選択します。「固定IPアドレス」を選択した場合は、「IPアドレス」と「ネットマスク」を入力する必要があります。
また、必要に応じて、「動的SNAT」にチェックを付けます。

4 必要に応じて、パッケージリポジトリの認証情報として「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

NOTE

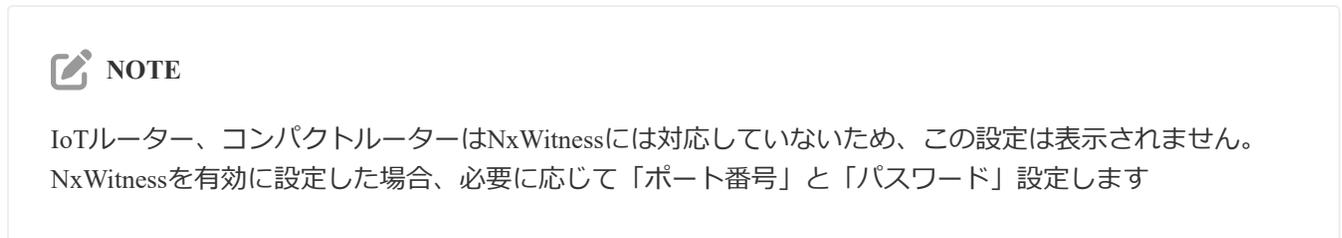
- コンパクトルーターには、この設定は表示されません。
- パッケージリポジトリのアカウントとパスワードについては、[弊社サポート](#)にお問い合わせください。



5 **DMSの設定をします。トグルをスライドして、DMSを有効または無効に設定します。**



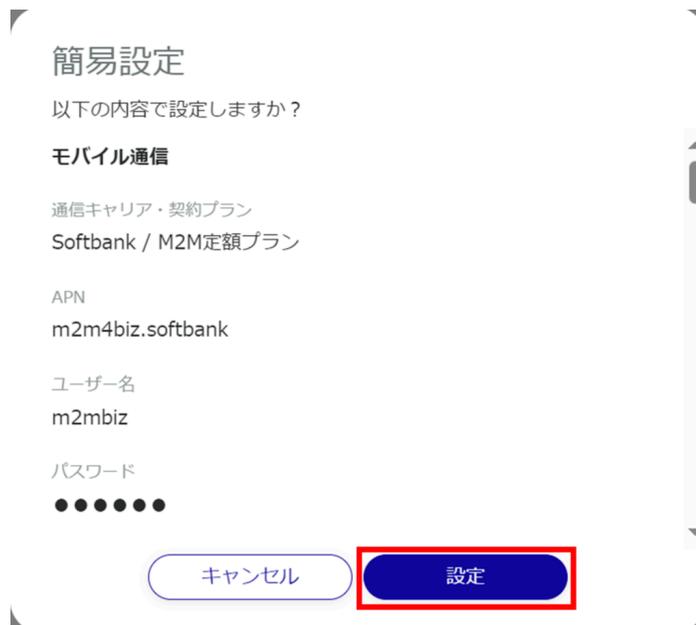
6 **NxWitnessの設定をします。トグルをスライドして、NxWitnessを有効または無効に設定します。**



7 **画面を一番下までスクロールし、[設定] ボタンをクリックします。**

設定の確認画面が表示されます。

8 **[設定] ボタンをクリックします。**



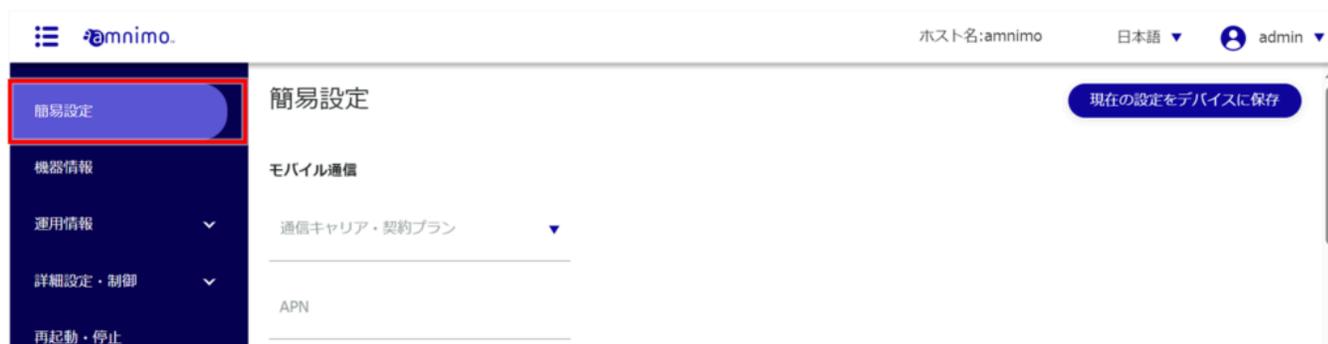
簡易設定画面で指定した内容が本体に設定されます。

その他の通信キャリアを選択して設定する

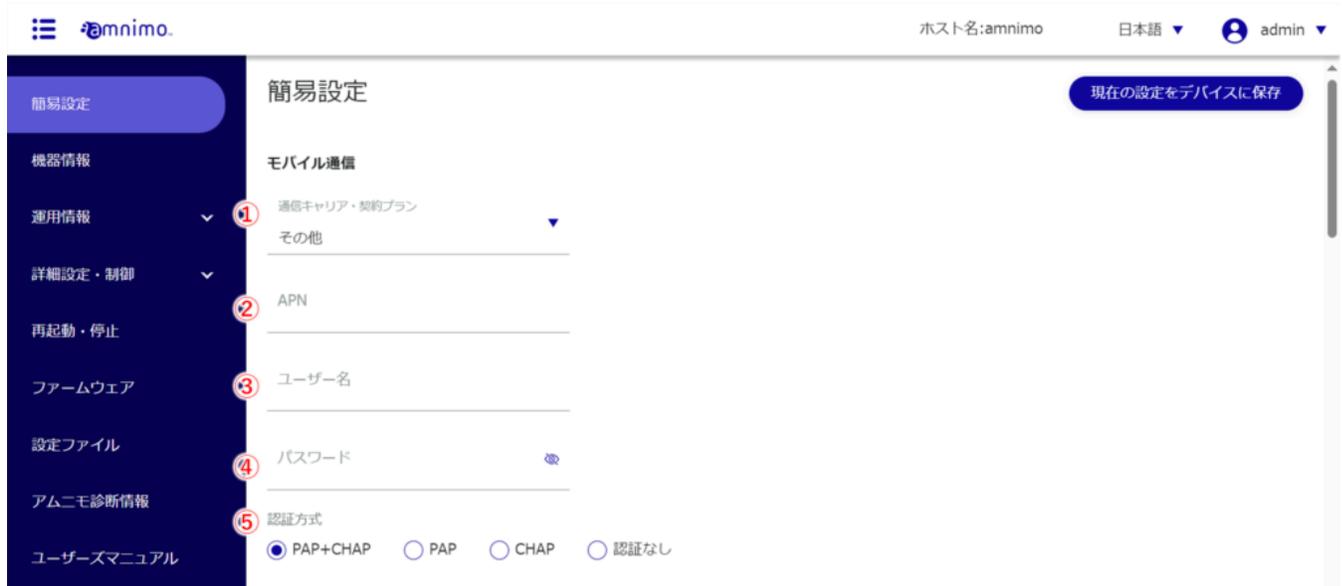
利用している通信キャリアが一覧にない場合、以下の手順で設定することができます。

- 1 **サイドメニューの「簡易設定」をクリックします。**

「簡易設定」画面が表示されます。



- 2 **モバイル通信の設定をします。**



- ① モバイル通信設定の「通信キャリア・契約プラン」から「その他」を選択します。
- ② APN名を入力します。
- ③ 選択した通信キャリアまたは契約プランのアカウントを入力します。
- ④ 選択した通信キャリアまたは契約プランのパスワードを入力します。
- ⑤ 認証方式として [PAP] または [CHAP] にチェックを付けます。

以降の「パッケージリポジトリの認証情報」「インターフェイス」「DMS」「NxWitness」の設定については、『[一般的な通信キャリアを選択して設定する](#)』の手順4以降を参照してください。

機器情報を確認する

2024年7月10日

本製品の機器情報、ファームウェアのバージョン、およびSIM情報は、「機器情報」画面で確認することができます。

NOTE

グループ設定の権限によって表示される項目が異なります。

機器情報の表示操作をする

機器情報を表示します。

- 1 サイドメニューの「機器情報」をクリックします。

「機器情報」画面が表示されます。

表示される情報については、『[機器情報画面の表示項目](#)』を参照してください。



- 2 最新の機器情報を表示したい場合は、「最新の情報に更新」ボタンをクリックします。



機器情報が更新されます。

モバイルモジュール情報を更新する

「機器情報」画面からモバイルモジュール情報の確認や、更新をすることができます。

「機器情報」画面を下方向にスクロールすることで、「モバイルモジュール情報」を確認することができます。

amnimo. ホスト名:amnimo 日本語 admin

簡易設定
機器情報
運用情報
詳細設定・制御
再起動・停止
ファームウェア
設定ファイル
アムニモ診断情報
ユーザーズマニュアル

FWバージョン
amnimo X series AX11 version 2.6.0 build 64199

起動エリア
1

モバイルモジュール情報 [モバイルモジュール情報を更新](#)

モバイルモジュール番号	IMEI	SIM-0		SIM-1	
		IMSI	ICCID	MSISDN	IMSI
0	868165040138499	440201480225823	898120029065		

1 - 1件 / 1件 << < 1 > >> 表示件数 10

© 2021 amnimo, Inc.

モバイルモジュール情報が正しく反映されていない場合、「モバイルモジュール情報を更新」ボタンをクリックすることで表示内容を更新することができます。

モバイルモジュール情報を更新することで、SIM情報も全て更新されます。

運用情報
詳細設定・制御
再起動・停止
ファームウェア
設定ファイル
アムニモ診断情報
ユーザーズマニュアル

モバイルモジュール情報 [モバイルモジュール情報を更新](#)

モバイルモジュール番号	IMEI	SIM-0		SIM-1	
		IMSI	ICCID	MSISDN	IMSI
0	868165040138499	440201480225823	898120029065		

1 - 1件 / 1件 << < 1 > >> 表示件数 10

© 2021 amnimo, Inc.

SIM情報を更新する

「機器情報」画面からSIM情報の確認や、更新をすることができます。

「機器情報」画面を下方向にスクロールし、「モバイルモジュール情報」に表示されているモバイルモジュールの「SIM情報」をクリックします。



「SIM情報」画面が表示されます。

2

最新のSIM情報を表示したい場合は、[SIM情報を更新] ボタンをクリックします。

NOTE

- SIM情報は最新ではない可能性があります。最新のSIM情報は、SIM情報を更新したあとにご確認ください。ecm0インターフェイスが有効な状態でSIM情報を更新すると、エラーが表示されます。その場合、「インターフェイス設定」画面で
- ecm0を無効に設定（参考：インターフェイスを編集する）したあとにSIM情報を更新し、再度「インターフェイス設定」画面でecm0を設定し直してください。

WARNING

ecm0 経由で本機器にアクセスしている場合は、ecm0を無効にするとアクセス出来なくなりますのでご注意ください。



SIM情報が更新されます。

機器情報画面の表示項目

「機器情報」画面に表示される項目について説明します。

The screenshot displays the '機器情報' (Device Information) page. The left sidebar contains navigation options: 簡易設定, 機器情報 (highlighted), 運用情報, 詳細設定・制御, 再起動, ファームウェア, and 設定ファイル. The main content area shows the following information:

- 機器情報** (Device Information): Includes '最終更新日時' (Last Updated Time) as 2022-05-09 16:51:00 and a button to '最新の情報に更新' (Update to latest information).
- 製造組織** (Manufacturer): amnimo
- ボード** (Board): AR10
- シリーズ名** (Series Name): R
- モデル** (Model): AR10-010JP-10
- シリアル番号** (Serial Number): 000065
- リビジョン** (Revision): 0
- 製造年月日** (Manufacture Date): 2020-05-12T17:39:00Z
- FWバージョン** (FW Version): amnimo R series AR10 version 1.5.0 build 20363
- 起動エリア** (Boot Area): 1
- モバイルモジュール情報** (Mobile Module Information): Includes a button to 'モバイルモジュール情報を更新' (Update mobile module information).

The 'モバイルモジュール情報' section contains a table with the following data:

モバイルモジュール番号	IMEI	IMS	ICCID	MSISDN	IMS	ICCID
0	868165040142996	440512053732930	8981300024800039059			

At the bottom, it shows '1 - 1件 / 1件' and '表示件数 10'.

No .	項目	説明
①	機器情報	<p>以下の機器情報が表示されます。</p> <p>製造組織 ボード シリーズ名 モデル シリアル番号 リビジョン 製造年月日</p>
②	FWバージョン	<p>本製品のファームウェア情報が表示されます。</p> <p>ファームウェアの更新方法については、『ファームウェアを操作する』を参照してください。</p>
③	起動エリア	<p>現在起動している冗長領域の起動エリアの番号（0または1）が表示されます。</p>
④	モバイルモジュール情報	<p>以下のモバイルモジュール情報が表示されます。</p> <p>複数のモバイルモジュールが接続されている場合、複数ページに渡って表示されることがあります。</p> <p>モバイルモジュール番号 モバイルモジュール番号が表示されます。</p> <p>IMEI モバイルモジュールのIMEIが表示されます。</p> <p>ICCID SIMまたはeSIMのICCID（IC Card Identifier：個別識別番号）が表示されます。</p> <p>MSISDN SIMまたはeSIMにMSISDN（Mobile Subscriber ISDNNumber：電話番号）が設定されている場合、「msisdn MSISDN」と表示されます。契約によってMSISDNが設定されていない場合があります。</p> <p>SIM情報 クリックすると、SIM情報が表示されます。 SIM情報については、『SIM情報を更新する』を参照してください。</p> <p>FWバージョン モバイルモジュールのファームウェアバージョンが表示されます。 ※コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）のみに表示。</p>

運用情報を確認する

2024年7月10日

本製品に保存されているログや時刻を確認することができます。

インターフェイスのステータスを確認する

インターフェイスのステータスを確認することができます。

- 1 サイドメニューの「**運用情報**」 - 「**インターフェイス**」をクリックします。

「**インターフェイス**」画面が表示されます。



- 2 画面に表示されているインターフェイス設定を最新の情報に更新する場合は、「**最新の情報に更新**」ボタンをクリックします。



ルーティングテーブルの情報を確認する

NOTE

AIエッジゲートウェイ（amnimo X シリーズ）、エッジゲートウェイ（amnimo G シリーズ）、IoT ルーター（amnimo R シリーズ）では「種別」の情報が表示されません。

ルーティングテーブルの情報（ルーティング処理の際に参照される経路情報）を確認することができます。

1 サイドメニューの [運用情報] - [ルーティング] をクリックします。

[ルーティング] 画面が表示されます。



2

画面に表示されているルーティングテーブルの情報を最新の状態に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。



モバイル回線の通信ステータスを確認する

NOTE

通信モジュールが無い機器には、この機能はありません。

モバイル回線の通信ステータスを確認します。

1 サイドメニューの [運用情報] - [モバイル通信] をクリックします。

「モバイル通信」画面が表示されます（下図の例）。

モバイル接続が未接続の場合は、[未接続状態] を知らせる画面が表示されます。



2 画面に表示されている通信ステータスを最新の情報に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。



無線LAN情報を確認する

NOTE

AIエッジゲートウェイ (amnimo X シリーズ)、エッジゲートウェイ (amnimo G シリーズ)、IoTルーター (amnimo R シリーズ)、コンパクトルーター屋内タイプ (AC10) には、この機能はありません。

無線LANの情報を確認する

無線LAN情報や詳細情報を確認します。

1 サイドメニューの「運用情報」 - 「無線LAN」をクリックします。

「無線LAN」画面が表示されます（下図の例）。

NOTE

「アクセスポイントモード」で動作している場合、画面下部には「接続ステーション一覧」として、本デバイスに接続されているステーションが表示されます。「ステーションモード」で動作している場合、画面下部には「アクセスポイント一覧」として、本デバイスが接続可能なアクセスポイントが表示されます。

The screenshot shows the Amnimo GUI interface. On the left sidebar, the '無線LAN' (Wireless LAN) menu item is highlighted with a red box. The main content area displays the '無線LAN' page, which includes a table of wireless interfaces and a '接続ステーション一覧' (Connected Stations List) section.

インターフェイス名	モード	状態	SSID	無線チャンネル	接続ステーション数	
wlan0	アクセスポイント	ENABLED	amnimo-2G-	4	1	詳細情報
wlan1	アクセスポイント	ENABLED	amnimo-5G-	44	0	詳細情報

接続ステーション一覧

MACアドレス	接続インターフェイス	
<input type="checkbox"/> a8:6d:aa:04:a3:71	wlan0	切断

2 画面に表示されている情報を最新の状態に更新する場合は、「最新の情報に更新」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the Amnimo GUI interface. The '最新の情報に更新' (Update latest information) button is highlighted with a red box. The main content area displays the '無線LAN' page, which includes a table of wireless interfaces and a '接続ステーション一覧' (Connected Stations List) section.

インターフェイス名	モード	状態	SSID	無線チャンネル	接続ステーション数	
wlan0	アクセスポイント	ENABLED	amnimo-2G-	4	1	詳細情報
wlan1	アクセスポイント	ENABLED	amnimo-5G-	44	0	詳細情報

接続ステーション一覧

MACアドレス	接続インターフェイス	
<input type="checkbox"/> a8:6d:aa:04:a3:71	wlan0	切断

3 無線LANの詳細情報を確認したい場合は、各インターフェイス右側の「詳細情報」をクリックします。

無線LAN 最終更新日時 2023-05-31 17:14:20 [最新の情報に更新](#)

無線LAN WPS

無線LAN情報

インターフェイス名	モード	状態	SSID	無線チャンネル	接続ステーション数	
wlan0	アクセスポイント	ENABLED	amnimo-2G-	4	1	詳細情報
wlan1	アクセスポイント	ENABLED	amnimo-5G-	44	0	詳細情報

4 「無線LAN詳細情報」画面が表示され、詳細情報（インターフェイス名、モード、状態、無線チャンネル、SSID、BSSID、接続ステーション数）、パケットカウンターを確認することが出来ます。

< 無線LAN情報一覧へ戻る

無線LAN詳細情報 最終更新日時 2023-05-19 10:37:45 [最新の情報に更新](#)

詳細情報

インターフェイス名
wlan0

モード
アクセスポイント

状態
ENABLED

無線チャンネル
5

SSID
amnimo-2G-

BSSID
-

接続ステーション数
0

パケットカウンター

RX/TX	Packets	Bytes	Errors	Dropped
RX	0 packets	0 bytes		
TX	6456 packets	746774 bytes	0 errors	0 dropped

5 接続ステーション一覧にて「切断」をクリックすることで、コンパクトルーターに接続されているステーションとの接続を切断することが出来ます。

NOTE

「アクセスポイントモード」で動作している場合の機能です。



アクセスポイント一覧にて [接続] をクリックすることで、設定済の他のアクセスポイントへ接続切替を行うことが出来ます。

NOTE

「ステーションモード」で動作している場合の機能です。



WPSを実行する

NOTE

- WPSは、無線LAN搭載コンパクトルーターが「アクセスポイントモード」として動作する際、接続に使用することが出来ます。「ステーションモード」として他のアクセスポイントへ接続する際には使用出来ません。
- 「PINコード方式」を使用する際は、接続されるステーション側で生成したPINコードを入力する必要があります。
- WPSを使用した接続方法については『[amnimo C シリーズコンパクトルータースタートアップガイド](#)』を参照してください。

→

1 「無線LAN」画面で、[WPS] タブをクリックします。

「WPS」画面が表示されます。



2 設定方式を選択します。

プッシュボタン方式、PINコード方式から選択します。

3 待ち受け時間を入力し、[実行] をクリックします。

1.

IPsecの接続状態を確認する

NOTE

あらかじめ、IPsec設定の実施が必要です。設定方法については、『[IPsec設定をする](#)』を参照してください。

IPsecの接続状態や詳細情報を確認します。

1 サイドメニューの [運用情報] - [IPsec] をクリックします。

「IPsec」画面が表示されます（下図の例）。

The screenshot shows the amnimo GUI interface. On the left is a dark blue sidebar with navigation options: 簡易設定, 機器情報, 運用情報 (expanded), インターフェイス, ルーティング, モバイル通信, IPsec (highlighted with a red box), DHCPリース, SYSLOG, 時刻表示, 詳細設定・制御, and 再起動. The main content area is titled 'IPsec' and shows the last update time as '2022-09-22 13:13:19'. A button labeled '最新の情報に更新' is highlighted with a red box. Below this, there is a '接続状態' section with a table showing SA 'sa01' with a status of '切断中'. A '詳細情報' section has tabs for 'ステータス', 'XFRMステート', and 'XFRMポリシー'. The 'ステータス' tab is active, displaying the status of the IKE charon daemon.

2

画面に表示されている情報を最新の状態に更新する場合は、**「最新の情報に更新」** ボタンをクリックします。

This screenshot is similar to the previous one, but the '最新の情報に更新' button is no longer highlighted. In the '詳細情報' section, the 'ステータス' tab is selected, and the 'XFRMステート' and 'XFRMポリシー' tabs are visible. The sidebar navigation remains the same.

3

詳細情報にてタブを切り替えることで、ステータスやXFRMステート、ポリシーを確認することができます。



DHCPのリース状況を確認する

NOTE

この機能を使用するためには、該当のインターフェイスにおけるDHCPサーバー設定が必要です。設定方法については、『[DNS設定をする](#)』を参照してください。

DHCPサーバー設定したインターフェイスからリースされている、IPアドレスの状況を確認します。

- 1 **サイドメニューの「運用情報」 - 「DHCPリース」をクリックします。**

「DHCPリース」画面が表示されます（下図の例）。

NOTE

コンパクトルーターの場合、「manufacturer」は表示されません。



画面に表示されているDHCPリース状況を最新の情報に更新する場合は、**[最新の情報に更新]** ボタンをクリックします。



ストレージの設定状況を確認する

NOTE

IoT ルーター（amnimo R シリーズ）、コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません。

ストレージの使用状況の表示や、ストレージのマウント/アンマウントなどの操作について説明します。

1 サイドメニューの**[運用情報]** - **[ストレージ]** をクリックします。

「ストレージ」画面が表示されます。



画面に表示されているストレージ設定を最新の情報に更新する場合は、**[最新の情報に更新]** ボタンをクリックします。

Amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

ストレージ 最終更新日時 2021-08-19 14:29:00 最新の情報に更新

パーティション一覧 + 新規追加

パーティション名	サイズ(KB)	ファイルシステム	暗号化	マウントポイント	使用量	空き容量	使用率
sda1	468850503	ext4	無効	/media/ssd	16G	401G	4%

1 - 1件 / 1件 表示件数 10

パーティションを追加する

- 1 「ストレージ」画面で、「新規追加」ボタンをクリックします。
「パーティション作成」画面が表示されます。

Amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

ストレージ 最終更新日時 2021-08-19 14:29:00 最新の情報に更新

パーティション一覧 + 新規追加

パーティション名	サイズ(KB)	ファイルシステム	暗号化	マウントポイント	使用量	空き容量	使用率
sda1	468850503	ext4	無効	/media/ssd	16G	401G	4%

1 - 1件 / 1件 表示件数 10

- 2 パーティションの作成として以下の①～④を設定、「設定」をクリックします。



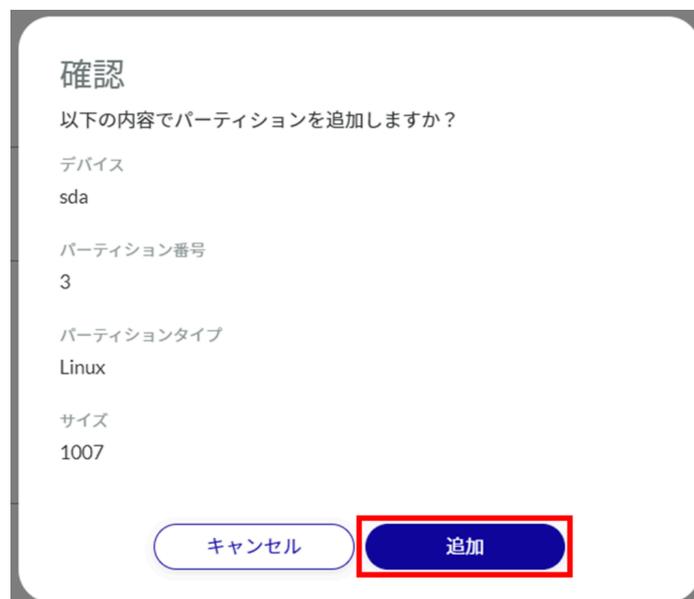
- ① デバイスを選択します。
- ② パーティション番号を2～9の範囲で選択します。
- ③ パーティションタイプを選択します。

Linux・・・Linux 標準のパーティションタイプです。デフォルトで設定されています。

fat32・・・FAT32 (LBA) のパーティションタイプです。Windows で使用する場合は、こちらを選択する必要があります。

- ④ パーティション容量をキロバイト単位で入力します。
省略すると、ストレージデバイスの最大値が使用されます。

3 [追加] をクリックします。



パーティションが追加されます。



パーティションをフォーマットする

「ストレージ」画面で、フォーマットしたいパーティションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「詳細」を選択します。



パーティションの詳細画面が表示されます。

「フォーマット」ボタンをクリックします。



3 「フォーマット」画面が表示されます。ファイルシステムタイプを選択し、「確認」ボタンをクリックします。

[暗号化]にチェックを入れると、暗号化に使用する鍵長 (bit) として、256または512を指定する必要があります。

続けてパスワードを設定し、「確認」ボタンをクリックします。

フォーマット

パーティション名
sda3

ファイルシステム
ext4

暗号化

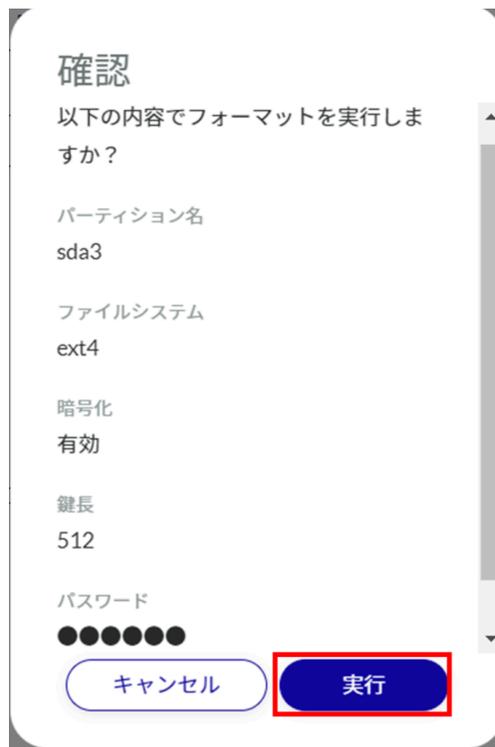
鍵長
 256 512

パスワード
.....

パスワード (確認)

キャンセル 確認

4 「確認」画面が表示されます。「実行」ボタンをクリックします。



パーティションをマウントする

「ストレージ」画面で、パーティションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「マウント」を選択します。

[詳細] 画面から「マウント」を選択することもできます。



「マウント」画面にて下記の①～③を設定し、「確認」をクリックします。

- ① 最大32文字の英数字でマウントポイントを指定します。
- ② ファイルシステムを選択します。
- ③ マウントオプションを選択します。

マウント

マウントポイント
① test2021

ファイルシステム
② ext4

マウントオプション
③ defaults

暗号化

キャンセル 確認

3

「確認」画面が表示されます。「実行」ボタンをクリックします。

確認

以下の内容でマウントを実行しますか？

マウントポイント
test2021

ファイルシステム
ext4

マウントオプション
defaults

暗号化
無効

キャンセル 実行

パーティションをアンマウントする

「ストレージ」画面で、パーティションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「アンマウント」を選択します。

「詳細」画面から「アンマウント」を選択することもできます。



2

「確認」画面が表示されます。「実行」ボタンをクリックします。



パーティションを削除する

1

「ストレージ」画面で、削除パーティションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「詳細」を選択します。



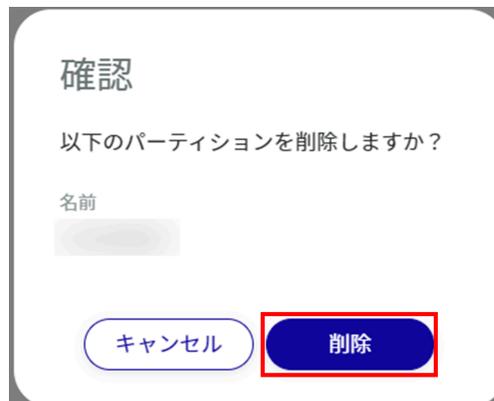
パーティションの詳細画面が表示されます。

2 **[削除] ボタンをクリックします。**

「確認」画面が表示されます。

3 **[削除] ボタンをクリックします。**

パーティションが削除されます。



PoEの状況を確認する

NOTE

IoTルーター屋内タイプ（AR10）、コンパクトルーター屋内タイプ（AC10）、無線LAN搭載コンパクトルーター屋内タイプ（AC15）には、この機能はありません。
表示されるインターフェイスは以下の通りです。

- AIエッジゲートウェイ：lan0～lan3
- エッジゲートウェイ：lan0～lan3
- IoTルーター屋外タイプ（AR20）：eth0, eth1
- 無線LAN搭載コンパクトルーター屋外タイプ（AC25）：lan1

PoEのステータスを確認することができます。

1 サイドメニューの [運用情報] - [PoE] をクリックします。

Host名: amnimo | 日本語 | admin

PoE 最終更新日時: 2021-08-17 16:07:59 | [最新の情報に更新](#) | [リセット](#)

<input type="checkbox"/>	インターフェイス	接続状態	電力クラス	PoE-Plus	電流制限値(mA)	電圧値(V)	電流値(mA)	リセット
<input type="checkbox"/>	lan0	disconnected	Unknown	off	374	0	0	リセット
<input type="checkbox"/>	lan1	disconnected	Unknown	off	374	0	0	リセット
<input type="checkbox"/>	lan2	disconnected	Unknown	off	374	0	0	リセット
<input type="checkbox"/>	lan3	disconnected	Unknown	off	374	0	0	リセット

1-4件 /4件 | << < 1 > >> | 表示件数 10 ▼

2 画面に表示されているPoE設定を最新の情報に更新する場合は、 [最新の情報に更新] ボタンをクリックします。

Host名: amnimo | 日本語 | admin

PoE 最終更新日時: 2021-08-17 16:07:59 | [最新の情報に更新](#) | [リセット](#)

<input type="checkbox"/>	インターフェイス	接続状態	電力クラス	PoE-Plus	電流制限値(mA)	電圧値(V)	電流値(mA)	リセット
<input type="checkbox"/>	lan0	disconnected	Unknown	off	374	0	0	リセット

PoEをリセットする

1 「PoE」画面で、各インターフェイスのメニュー右側より [リセット] ボタンをクリックします。

amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

PoE 最終更新日時 2021-08-17 16:07:59 最新の情報に更新

リセット

<input type="checkbox"/>	インターフェイス	接続状態	電力クラス	PoE-Plus	電流制限値(mA)	電圧値(V)	電流値(mA)	リセット
<input type="checkbox"/>	lan0	disconnected	Unknown	off	374	0	0	リセット
<input type="checkbox"/>	lan1	disconnected	Unknown	off	374	0	0	リセット
<input type="checkbox"/>	lan2	disconnected	Unknown	off	374	0	0	リセット
<input type="checkbox"/>	lan3	disconnected	Unknown	off	374	0	0	リセット

1-4件 /4件 表示件数 10

「PoEポートリセット」画面が表示されます。

2 リセットの時間を選択し、「確認」ボタンをクリックします。

PoEポートリセット

インターフェイス
lan3

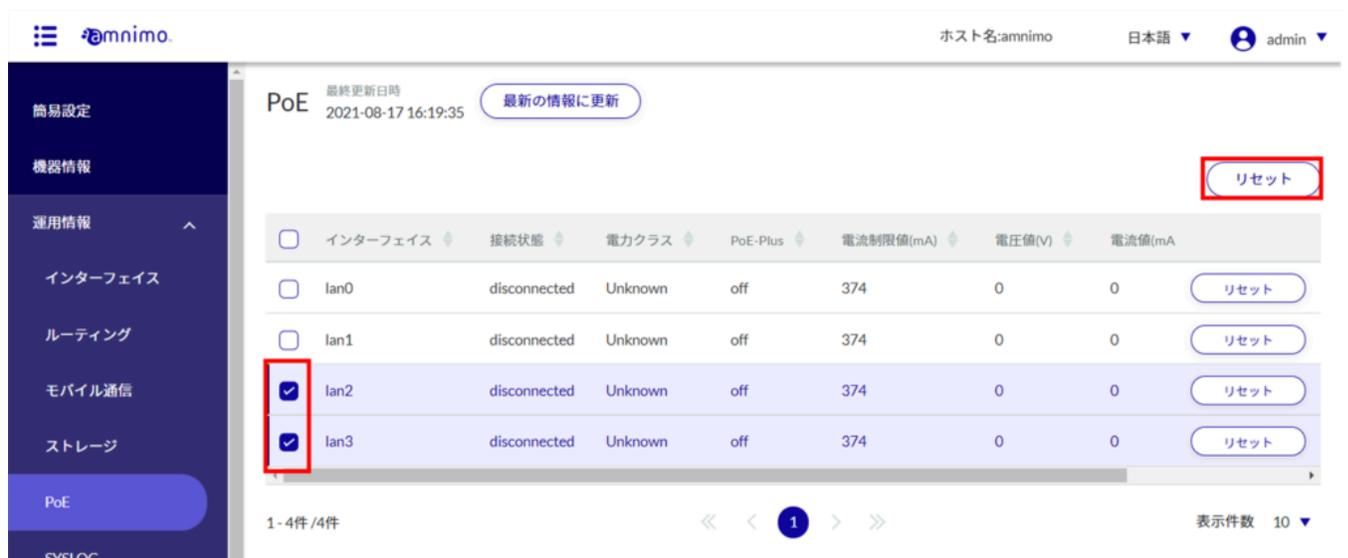
リセット時間
60 秒

キャンセル 確認

3 「確認」画面が表示されます。「リセット」ボタンをクリックします。



PoEのリセットは、「PoE」画面より複数選択し、まとめて実行することもできます。



接点変化履歴を確認する

NOTE

IoT ルーター（amnimo R シリーズ）、コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません。

端末の後面にあるD-IN端子/D-OUT端子における、接点の変化履歴を表示します。

1 サイドメニューの「運用情報」 - 「接点変化履歴」をクリックします。

「接点変化履歴」画面が表示されます。



「接続変化履歴保持」のトグルをクリックし有効にすることで、「最新の変化履歴」フィールドに接続変化履歴が表示されるようになります（表示される履歴の最大数は最新の1000件です）。

無効になっている期間の履歴は表示されず、ダウンロードすることもできません。



画面に表示されている接続変化履歴を最新の情報に更新する場合は、「最新の情報に更新」ボタンをクリックします。



接続変化履歴をダウンロードする

- 1 「接続変化履歴」画面で、ダウンロードする期間の開始日時と終了日時を指定します。



- 2 「ダウンロード」ボタンをクリックすると、CSVファイルがダウンロードされます。

最大10万件の履歴をダウンロードすることが可能です。



SYSLOGの表示操作をする

本製品のシステムログであるSYSLOGを確認します。SYSLOGの検索とダウンロード、およびSYSLOGを最新の情報に更新する手順について説明します。

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [SYSLOG] をクリックします。

「SYSLOG」画面が表示されます。



- 2 最も新しいSYSLOGを表示するには、画面を一番下にスクロールします。

3 SYSLOGを検索するには、検索欄にキーワードを入力し、[検索] ボタンをクリックします。



検索キーワードがハイライトされて表示されます。



4 SYSLOGをダウンロードするには、[ダウンロード] ボタンをクリックします。



SYSLOGがダウンロードされます。



画面に表示されているSYSLOGを最新の情報に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。



AMLOGの表示操作をする

NOTE

コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません。

amnimoのログであるAMLOGを確認します。AMLOGの検索とダウンロード、およびAMLOGを最新の情報に更新する手順について説明します。

1 サイドメニューの [運用情報] - [AMLOG] をクリックします。

「AMLOG」画面が表示されます。



2 最も新しいAMLOGを表示するには、画面を一番下にスクロールします。

3 AMLOGを検索するには、検索欄にキーワードを入力し、[検索] ボタンをクリックします。



検索キーワードがハイライトされて表示されます。



AMLOGをダウンロードするには、[ダウンロード] ボタンをクリックします。



AMLOGがダウンロードされます。



画面に表示されているAMLOGを最新の情報に更新する場合は、**[最新の情報に更新]** ボタンをクリックします。



本製品の時刻を確認する

サイドメニューの**[運用情報]** - **[時刻表示]** をクリックします。

「時刻表示」画面が表示され、本製品の時刻がリアルタイムで表示されます。



NOTE

「設定はこちら」をクリックすると、「時刻設定」画面が表示されます。設定方法については、『[時刻を設定する](#)』を参照してください。

本製品を再起動・停止する

2024年7月10日

本製品にはシャットダウンの他に、再起動メニューとしてシステムを停止する「ソフトウェアリブート」とシステムを停止しない「ハードウェアリブート」の2種類があります。

- シャットダウン
ハードウェアの電源供給を停止します。
- ソフトウェアリブート
システムを停止したあとに再起動します。
- ハードウェアリブート
システムを停止せずに、ハードウェアの電源供給を停止し、再起動します。

本製品を再起動する

本製品を再起動します。

1 サイドメニューの「再起動・停止」をクリックします。

「再起動・停止」画面が表示されます。



2 再起動の方法として、「ソフトウェアリブート」または「ハードウェアリブート」にチェックを付けて、「実行」をクリックします。



再起動の「確認」画面が表示されます。

3 [実行] ボタンをクリックします。



本製品の再起動が開始されます。
再起動には数分程度かかります。
再起動が完了すると、「サインイン」画面が表示されます。

本製品をシャットダウンする

本製品をシャットダウンします。

1 サイドメニューの [再起動・停止] をクリックします。

「再起動・停止」画面が表示されます。



2 停止の方法として、[シャットダウン] にチェックを付けて、[実行] をクリックします。



シャットダウンの「確認」画面が表示されます。

3

[実行] ボタンをクリックします。



本製品のシャットダウンが開始されます。

ファームウェアを操作する

2024年7月10日

本製品のファームウェアの更新方法には、全体更新と差分更新があります。

それぞれの特徴に従い、利用状況に応じて使い分けることが可能です。

		全体更新	差分更新
更新領域	設定領域	対象外 (設定ファイルは保持されます)	対象外 (設定ファイルは保持されます)
	rootfs	全体更新 領域は初期化されるため、ユーザーが独自でインストールしたパッケージも削除されます。	差分更新 ユーザーが独自でインストールしたパッケージは保持されます。
	userfs	対象外	対象外
	共有領域	対象外	対象外
	SSD	対象外	対象外
冗長エリアの更新	指定可能	指定不可	
ダウンロード時の通信コスト	大	小	
更新時間	長い	短い ・起動 エリア両面を同時に更新することは出来ません。両面を更新する場合は、別途エリア同期が必要になります。 ・差分があるパッケージ数によっては、全体更新よりも時間がかかる場合があります。	

ファームウェア画面を表示する

ファームウェアを更新するための「ファームウェア」画面を表示します。

- 1 **サイドメニューの「ファームウェア」をクリックします。**

「ファームウェア」画面が表示されます。



ファームウェアの差分を更新する

ファームウェアパッケージの差分を取得して更新します。

NOTE

- コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません。
- ファームウェアを更新するには、パッケージリポジトリの認証情報を登録しておく必要があります。詳しくは、『[簡易設定をする](#)』を参照してください。
- ファームウェアのパッケージを個別に指定して更新することはできません。
- 本機能は、aptパッケージ管理システムを使用しています。
- パッケージの更新時には「-force-confold」オプションが適用されます。これによって、パッケージ更新で各パッケージの設定ファイルが変更された場合でも、変更前の設定ファイルが使用されます。

1 「ファームウェア」画面で、「パッケージ更新（差分更新）」タブをクリックします。

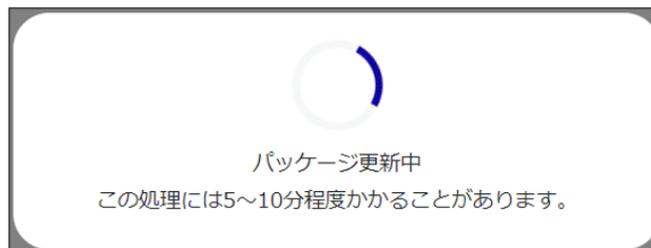


2 「更新」ボタンをクリックします。

「確認」画面が表示されるので、「更新」ボタンをクリックします。



ファームウェアパッケージの更新が開始されます。



ファームウェアパッケージの更新が完了すると、「更新完了」画面が表示されます。

4 | 「閉じる」ボタンをクリックし、「サインイン画面」に遷移します。

再起動を促すメッセージが表示された場合は、「再起動画面」から再起動が必要です。



ファームウェア全体を更新する

更新する冗長エリアを選択して、ファームウェアを全体更新します。

PCのファームウェアをアップロードするか、ファームウェアのURLを指定するかを選択することができます。

⚠ CAUTION

この操作をすると、本製品が再起動します。この操作が完了するまで、5分~10分程度かかります。

ファームウェアをアップロードして更新する

NOTE

更新に使用するファームウェアファイルは、あらかじめダウンロードしておく必要があります。
以下のURLにアクセスし、パッケージリポジトリのユーザー名とパスワードを入力してログオンすると、ファームウェアファイルをダウンロードすることができます。
なお、パッケージリポジトリのユーザー名とパスワードについては、弊社サポートにご連絡ください。

ファームウェアファイルのダウンロードURL

デバイスの種類	URL
AIエッジゲートウェイ屋内タイプ (AX11)	https://package.amnimo.com/firmware/ax11.amf
エッジゲートウェイ屋内タイプ (AG10)	https://package.amnimo.com/firmware/ag10.amf
エッジゲートウェイ屋外タイプ (AG20)	https://package.amnimo.com/firmware/ag20.amf
IoTルーター屋内タイプ (AR10)	https://package.amnimo.com/firmware/ar10.amf
IoTルーター屋外タイプ (AR20)	https://package.amnimo.com/firmware/ar20.amf
コンパクトルーター屋内タイプ (AC10)	https://package.amnimo.com/firmware/ac10.amf
無線LAN搭載コンパクトルーター屋内タイプ (AC15)	https://package.amnimo.com/firmware/ac15.amf
無線LAN搭載コンパクトルーター屋外タイプ (AC25)	https://package.amnimo.com/firmware/ac25.amf

「ファームウェア」画面で、「エリア更新 (全体更新)」タブをクリックします。

エリア更新の設定画面が表示されます。

The screenshot shows the Amnimo GUI interface. The top navigation bar includes the Amnimo logo, the host name 'amnimo', the language '日本語', and the user 'admin'. The left sidebar contains menu items: '簡易設定', '機器情報', '運用情報', '詳細設定・制御', '再起動', 'ファームウェア', and '設定ファイル'. The main content area is titled 'ファームウェア' (Firmware). Under 'バージョン' (Version), it shows 'amnimo G series AG10 version 1.2.0 build 64231'. There are three tabs: 'パッケージ更新(差分更新)', 'エリア更新(全体更新)' (highlighted in red), and 'エリア同期'. Below the tabs, there are options for '更新エリア' (Update Area) with radio buttons for '片面' (selected) and '両面'. Under 'ファームウェア' (Firmware), there are radio buttons for 'ファイルアップロード' (selected) and 'URL指定'. The 'ファイル名' (File Name) field is empty, and there is a '参照' (Reference) button next to it. At the bottom, there are 'キャンセル' (Cancel) and '更新' (Update) buttons.

2 「更新エリア」を選択します。

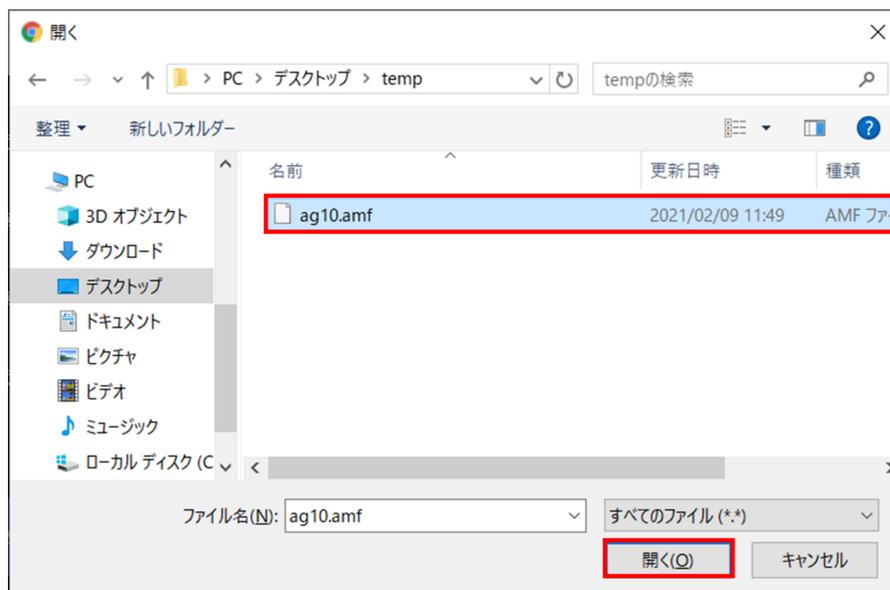
 NOTE

- 片面
現在起動していない冗長エリアを更新する場合に選択します。
- 両側
現在起動しているエリアと、起動していない冗長エリアの両方を更新する場合に選択します。

3 ファームウェアを取得する方法として、「ファイルアップロード」を選択し「ファイル名」の「参照」ボタンをクリックします。



4 アップロードするファームウェアを選択します。



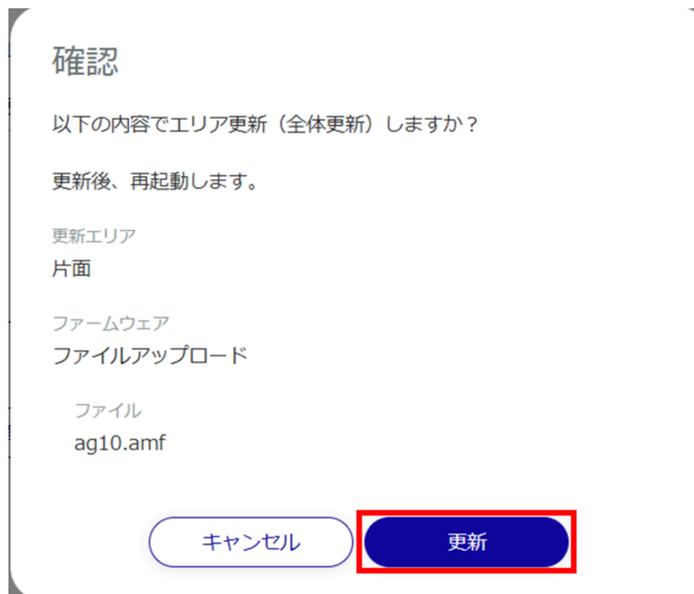
ファームウェアファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。

5 [更新] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

6 [更新] ボタンをクリックします。



選択したファームウェアファイルのアップロードが開始されます。



ファームウェアファイルのアップロードが終わると、ファームウェアの更新が開始されます。



ファームウェアの更新が完了すると、「更新完了」画面が表示されます。

7 [閉じる] ボタンをクリックします。



本製品の再起動が開始されます。

再起動が完了すると、「サインイン」画面が表示されます。

ファームウェアのURLを指定して更新する

1 「ファームウェア」画面で、【エリア更新（全体更新）】タブをクリックします。

エリア更新の設定画面が表示されます。



2

「更新エリア」を選択します。 NOTE

- 片面
現在起動していない冗長エリアを更新する場合に選択します。
- 両側
現在起動しているエリアと、起動していない冗長エリアの両方を更新する場合に選択します。

3

ファームウェアを取得する方法として、「URL指定」を選択し、ファームウェアを入手するURLを入力します。

Amnimo GUI screenshot showing the Firmware Update page. The page title is "ファームウェア". The version information is "amnimo G series AG10 version 1.5.0 build 21467". The update area options are "パッケージ更新(差分更新)", "エリア更新(全体更新)", and "エリア同期". The update area selection is "更新エリア" with radio buttons for "片面" (selected) and "両面". The firmware source options are "ファイルアップロード" and "URL指定" (selected). The URL field contains "ftp://@package.amnimo.com/firmware/ag10.amf". There are "キャンセル" and "更新" buttons at the bottom.

 NOTE

弊社公開のファームウェアを取得するためには、「接続先とファームウェア」「アカウント名」「パスワード」の情報が必要です。アカウントとパスワードについては、弊社サポートに別途ご連絡ください。

- 例：屋内タイプエッジゲートウェイ
`https://(アカウント名):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10.amf`

各機器のURLについては、各機種のリリースノートを参照ください。リリースノートには過去にリリースしたファームウェアのURLも記載されています。なおリリースノートへのアクセスもアカウントとパスワードが必要です。

機種	リリースノート
	https://package.amnimo.com/docs/IM_AMD03A91-01JA_Edge%20Gateway%20Release%20Note.pdf
	https://package.amnimo.com/docs/IM_AMD06A91-01JA_Compact%20Router%20Release%20Note.pdf

httpsはftpに置き換え可能です。

httpsで接続する場合は装置の時刻が正しく設定されている必要があるため、事前に時刻設定を行ってください。時刻設定については、『時刻を設定する』を参照してください。

ユーザー名とパスワードについては、弊社サポートにご連絡ください。

4 **[更新] ボタンをクリックします。**

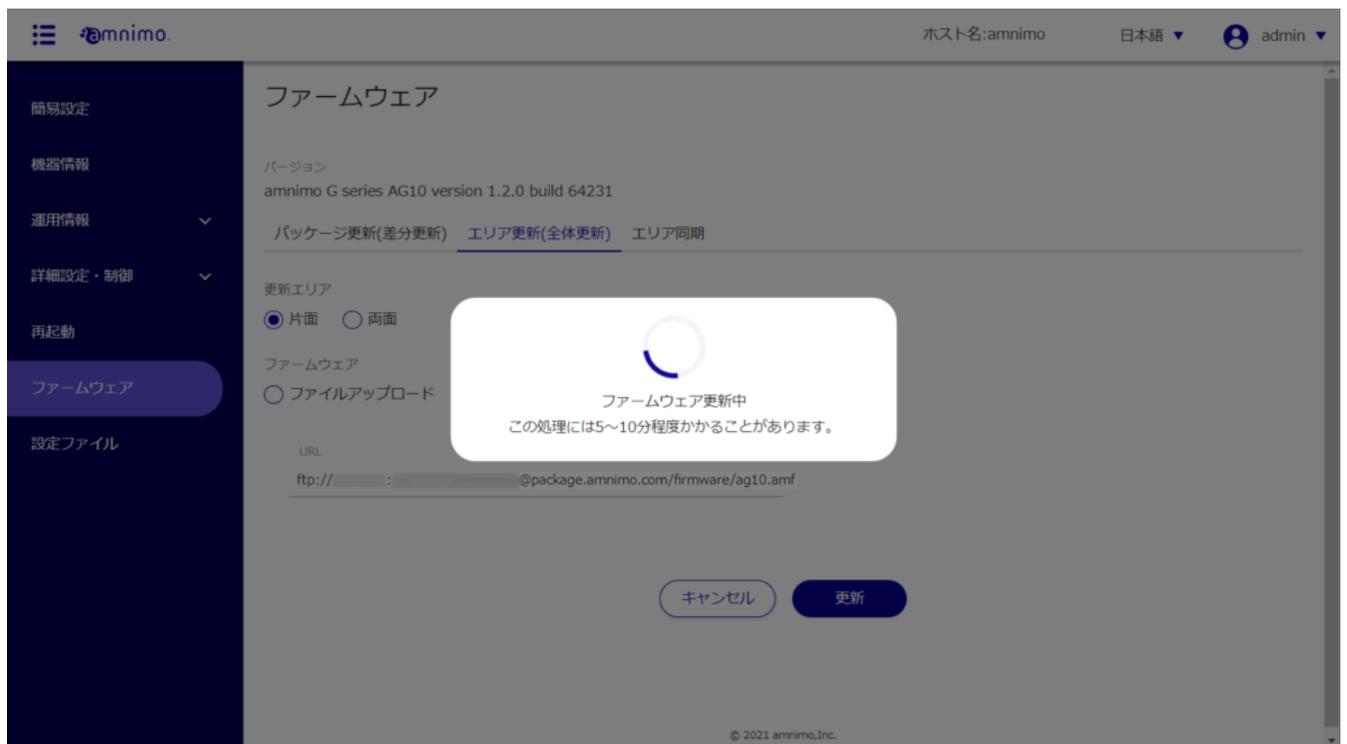
5 **「確認」画面が表示されるので、[更新] ボタンをクリックします。**



指定したURLのファームウェアファイルのダウンロードが開始されます。

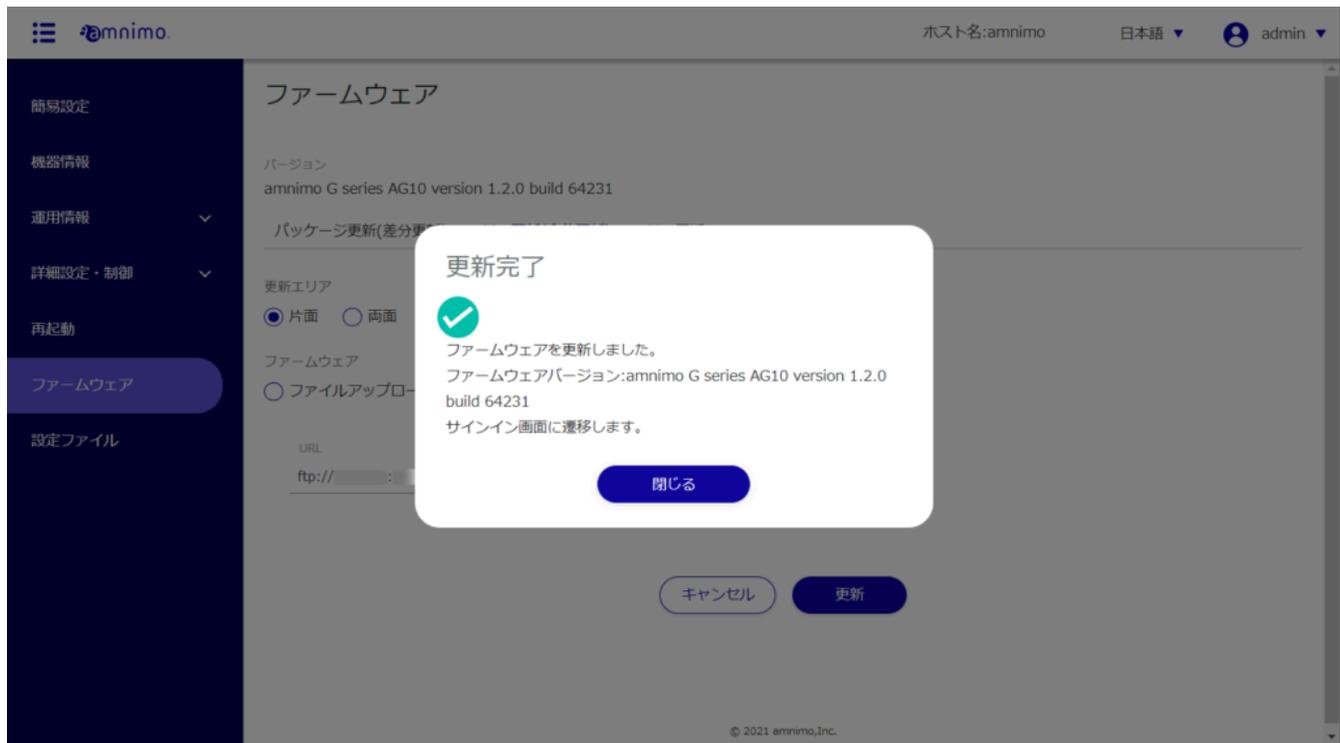


ファームウェアファイルのダウンロードが終わると、ファームウェアの更新が開始されます。



ファームウェアの更新が完了すると、「更新完了」画面が表示されます。

6 **[閉じる] ボタンをクリックします。**



本製品の再起動が開始されます。

再起動が完了すると、「サインイン」画面が表示されます。

冗長エリアを同期する

現在起動している冗長エリアをもう一方の冗長エリアにコピーします。

1 「ファームウェア」画面で、**[エリア同期]** タブをクリックします。

エリア同期の設定画面が表示されます。



[更新] ボタンをクリックします。

3

「確認」画面が表示されるので、「同期」ボタンをクリックします。



エリア同期が開始されます。



エリア同期が完了すると、「更新完了」画面が表示されます。

4

「閉じる」ボタンをクリックします。



「サインイン」画面が表示されます。

設定ファイルの操作をする

2024年7月10日

本製品の設定は、設定ファイルに保存されており、本製品の起動時に読み込まれて、反映されるようになっています。設定画面で設定した内容を反映するためには、本製品へ保存する必要があります。

NOTE

本製品へ設定ファイルの保存が完了していない場合、画面上部に「設定がデバイスに保存されていません。設定ファイルから保存してください。」というメッセージが表示されます。

「設定ファイル」画面では、以下の操作をすることができます。

- 「詳細設定・制御」メニューで設定した内容を本製品へ保存する
- 設定を工場出荷時の状態にする
- 設定ファイルをダウンロードする
- 設定ファイルをアップロードする

設定ファイル画面を表示する

設定ファイルを操作するための「設定ファイル」画面を表示します。

1 サイドメニューの「設定ファイル」をクリックします。

「設定ファイル」画面が表示されます。



現在の設定内容を本製品に保存する

設定画面の設定内容を本製品へ保存します。

- 1 「設定ファイル」画面で、[現在の設定をデバイスに保存] ボタンをクリックします。
「確認」画面が表示されます。



- 2 [保存する] ボタンをクリックします。

設定が設定ファイルに保存されます。



設定ファイルを初期化する

設定ファイルを初期化して、設定を工場出荷時の状態に戻します。

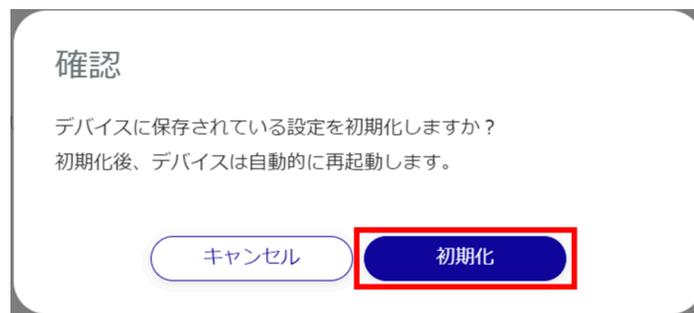
- 1 「設定ファイル」画面で、[初期化] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2

【初期化】ボタンをクリックします。



初期化が開始されます。

初期化が完了すると、本製品の再起動が開始されます。

再起動が完了すると、「サインイン」画面が表示されます。

NOTE

再起動したあとに、IPアドレスが変更されたために「サインイン」画面が表示されない場合は、手動で以下のアドレスにアクセスしてください。

<http://192.168.0.254>

設定ファイルをダウンロードする

設定ファイルをPCにダウンロードします。

ダウンロードした設定ファイルは、別の製品にアップロードして利用することが可能です。

⇒アップロードについては、『[設定ファイルをアップロードする](#)』を参照してください。

CAUTION

ダウンロードした設定ファイルに設定した製品の固定 IP アドレスが記載されていると、別の製品に設定ファイルをアップロードして適用した際に設定がコンフリクトしてしまうため、注意が必要です。

1 「設定ファイル」画面で、[ダウンロード] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2 [ダウンロード] ボタンをクリックします。



「startup_config.yaml」という名前で設定ファイルがダウンロードされます。



設定ファイルをアップロードする

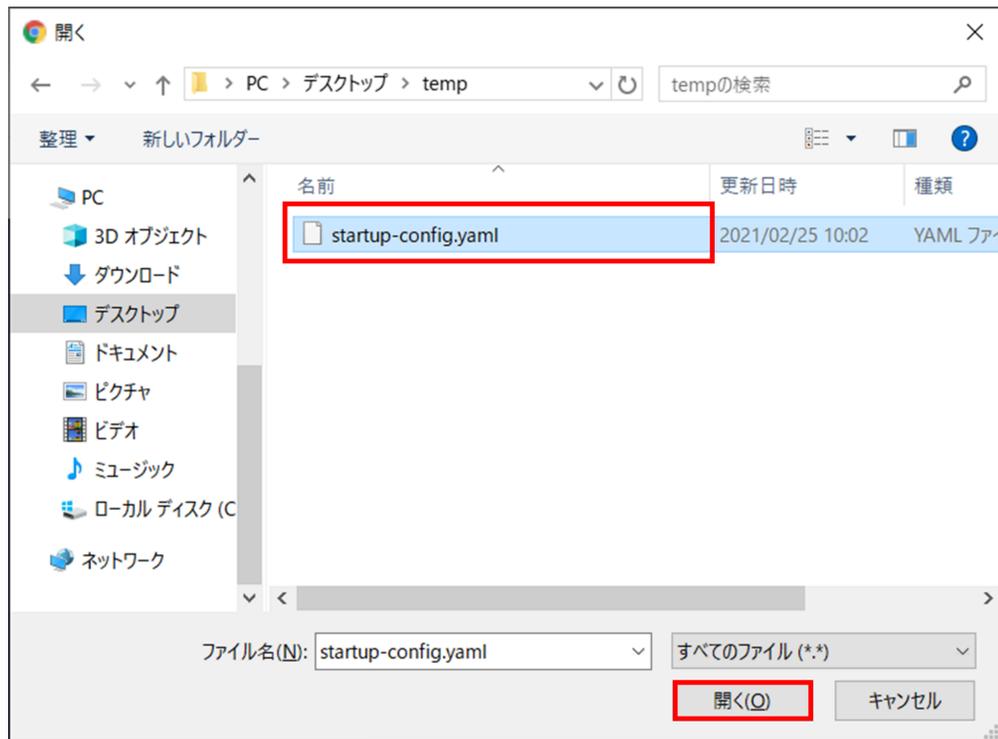
PCにダウンロードした設定ファイルを本製品にアップロードすることができます。

- 1 「設定ファイル」画面で、[参照] ボタンをクリックします。



「開く」画面が表示されます。

- 2 設定ファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。



「設定ファイル」画面の「ファイル名」に、選択した設定ファイルがセットされます。

3

[アップロード] ボタンをクリックします。



アップロードの「確認」画面が表示されます。

4

[アップロード] ボタンをクリックします。



設定ファイルがアップロードされます。
アップロードが完了すると、本製品の再起動が開始されます。
再起動が完了すると、「サインイン」画面が表示されます。

NOTE

再起動したあとに、IP アドレスが変更されたために「サインイン」画面が表示されない場合は、手動で以下のアドレスにアクセスしてください。

<http://192.168.0.254>

アムニモ診断情報をダウンロードする

2024年7月10日

NOTE

AI エッジゲートウェイ（amnimo X シリーズ）、エッジゲートウェイ（amnimo G シリーズ）、IoT ルーター（amnimo R シリーズ）には、この機能はありません。

障害発生時等の原因調査のためにamnimoへ送る情報を、ワンクリックでダウンロードできる方法について説明します。

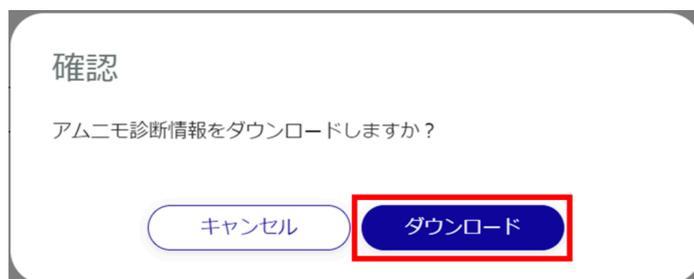
アムニモ診断情報をダウンロードする

アムニモ診断情報をダウンロードします。

- 1 サイドメニューの【アムニモ診断情報】をクリックします。



- 2 【ダウンロード】をクリックします。



.....
アムニモ診断情報がダウンロードされました。

ユーザーズマニュアルを閲覧する

2024年7月10日

NOTE

エッジゲートウェイ（amnimo Gシリーズ）IoTルーター（amnimo Rシリーズ）、コンパクトルーター屋内タイプ（AC10）には、この機能はありません。

amnimo ゲートウェイシリーズ GUIユーザーズマニュアル（本書）の表示方法について説明します。

ユーザーズマニュアルを表示する

「ユーザーズマニュアル」画面を表示します。

- 1 サイドメニューの「ユーザーズマニュアル」をクリックします。



「ユーザーズマニュアル」画面が表示されます。



パッケージリポジトリを設定する

2024年7月10日

NOTE

この機能を利用するには、管理者としてサインインしている必要があります。コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません。

本製品はパッケージ管理システムを用いているため、パッケージリポジトリから各アプリを更新することができます。

ここでは、パッケージリポジトリの追加、編集、削除の操作について説明します。

パッケージリポジトリの一覧を表示する

パッケージリポジトリの一覧を表示します。

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「パッケージリポジトリ設定」をクリックします。

「パッケージリポジトリ設定」画面に、登録されているパッケージリポジトリの一覧が表示されます。

パッケージリポジトリ設定

+ 新規追加

削除

<input type="checkbox"/>	ホスト名	ユーザー名	
<input type="checkbox"/>	package.amnimo.com	testuser1	...
<input type="checkbox"/>	package2.amnimo.com	testuser2	...
<input type="checkbox"/>	package3.amnimo.com	testuser3	...

1 - 3件 / 3件

1

表示件数 10

NOTE

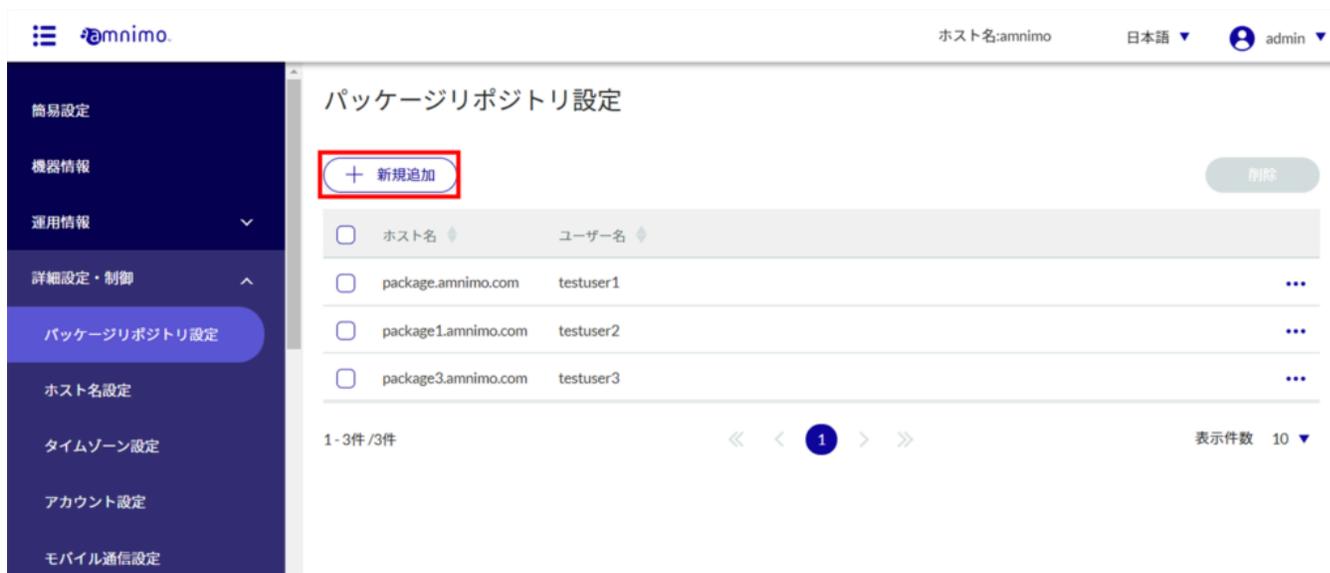
パッケージリポジトリ一覧の「ホスト名」「ユーザー名」をクリックすることで、ホスト名またはユーザー名の降順／昇順でパッケージリポジトリを並び替えることができます。

<input type="checkbox"/>	ホスト名	ユーザー名
<input type="checkbox"/>	package3.amnimo.com	testuser3
<input type="checkbox"/>	package2.amnimo.com	testuser2
<input type="checkbox"/>	package.amnimo.com	testuser1

パッケージリポジトリを追加する

パッケージリポジトリを新規で追加します。

- 1 「パッケージリポジトリ設定」画面で、**[新規追加]** ボタンをクリックします。



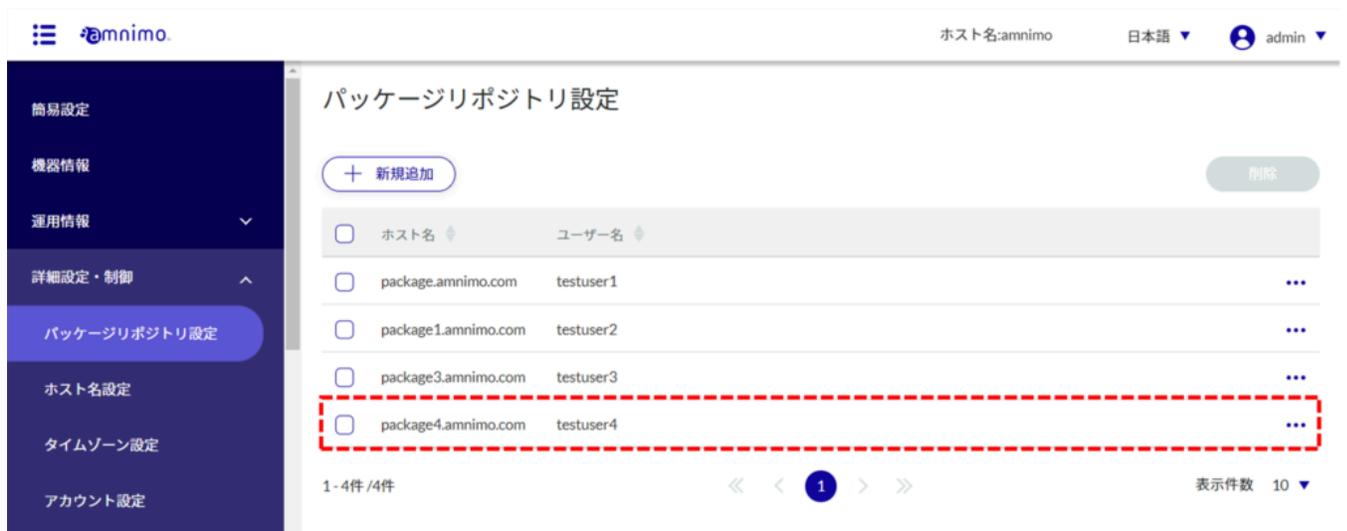
「パッケージリポジトリの追加」画面が表示されます。

- 2 以下①～③の設定を行い、**[設定]** をクリックします。

- ① ホスト名を入力します。
- ② ①で入力したホストを利用するためのユーザー名を入力します。
- ③ ②で入力したユーザー名のパスワードを入力します。



パッケージリポジトリが追加されます。



パッケージリポジトリを編集する

登録されているパッケージリポジトリの情報を編集します。

「パッケージリポジトリ設定」画面で、編集したいパッケージリポジトリの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「編集」を選択します。



「パッケージリポジトリ設定の編集」画面が表示されます。

2

パッケージリポジトリ情報を編集して、「設定」ボタンをクリックします。



パッケージリポジトリの情報が更新され、パッケージリポジトリの一覧が表示されます。



パッケージリポジトリを削除する

登録されているパッケージリポジトリの削除には、パッケージリポジトリの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいパッケージリポジトリをすべて選択してから削除する方法があります。

パッケージリポジトリを個別に削除する

パッケージリポジトリの操作メニューから削除を選択する方法です。

「パッケージリポジトリ設定」画面で、削除したいパッケージリポジトリの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

[削除] ボタンをクリックします。

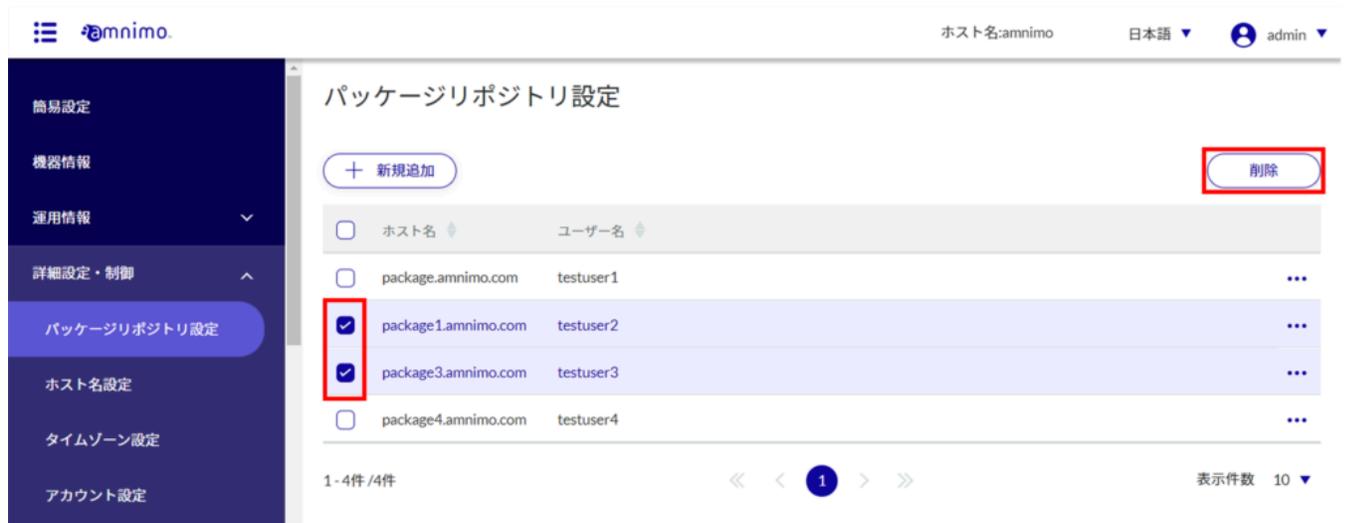


パッケージリポジトリが削除されます。

パッケージリポジトリを複数選択して削除する

削除したいパッケージリポジトリにチェックを付けてから削除する方法です。複数のパッケージリポジトリを一括で削除する際に便利です。パッケージリポジトリを1つだけ選択して削除することもできます。

「パッケージリポジトリ設定」画面で、削除したいパッケージリポジトリの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

[削除] ボタンをクリックします。



選択したパッケージリポジトリが削除されます。

ホスト名を設定する

2024年7月10日

本製品のホスト名を設定します。

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [ホスト名設定] をクリックします。

「ホスト名設定」画面が表示されます。



- 2 「ホスト名」にホスト名を入力して、[設定] ボタンをクリックします。



ホスト名が設定されます。

タイムゾーンを設定する

2024年7月10日

製品のタイムゾーンを設定します。

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「タイムゾーン設定」をクリックします。

「タイムゾーン設定」画面が表示されます。



- 2 以下の①～②を設定し、「設定」ボタンをクリックします。

- ① 「地域」を選択します。
- ② 「地名」を選択します。



アカウント設定をする

2024年7月10日

アカウントの追加、編集、削除の操作について説明します。

アカウントの一覧を表示する

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「アカウント設定」をクリックします。

「アカウント設定」画面に、本製品に登録されているアカウントの一覧が表示されます。



NOTE

アカウント一覧の「ユーザー名」と「グループ名」をクリックすることで、ユーザー名またはグループ名の降順／昇順でアカウントを並び替えることができます。



アカウントを追加する

新規のアカウントを追加します。

- 1 「アカウント設定」画面で、「新規追加」ボタンをクリックします。



「アカウント設定の追加」画面が表示されます。

- 2 アカウントの設定をします。



- 1 ユーザー名を入力します。
- 2 当該アカウントを所属させるグループを選択します。



NOTE

工場出荷時は、adminとuserの2グループが用意されていますが、新規作成も可能です。グループの設定については、『[グループ設定をする](#)』を参照してください。

- ③ アカウントのパスワードを入力します。
- ④ 確認用に③と同じパスワードを入力します。
- ⑤ [設定] をクリックします。

アカウントが追加されます。



アカウントを編集する

登録されているアカウントの情報を編集します。

「アカウント設定」画面で、編集したいアカウントの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから[編集]を選択します。



「アカウント設定の編集」画面が表示されます。

2

アカウント情報を編集して、**【設定】** ボタンをクリックします。

NOTE

画面上では、パスワードは暗号化された状態で表示されます。パスワードを変更する場合、一度すべて消してから入力し直す必要があります。



アカウントの情報が更新され、アカウントの一覧が表示されます。



アカウントの情報が更新され、アカウントの一覧が表示されます。

アカウントを削除する

登録されているアカウントの削除には、アカウントの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいアカウントをすべて選択してから削除する方法があります。

NOTE

デフォルトで設定されている、adminのアカウントを削除することはできません。所属しているユーザーが存在するグループは削除できません。

アカウントを個別に削除する

アカウントの操作メニューから削除を選択する方法です。

「アカウント設定」画面で、削除したいアカウントの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



「確認」画面が表示されます。

2

【削除】ボタンをクリックします。



アカウントが削除されます。

アカウントを複数選択して削除する

削除したいアカウントにチェックを付けてから削除する方法です。複数のアカウントを一括で削除する際に便利です。アカウントを1つだけ選択して削除することもできます。

1

「アカウント設定」画面で、削除したいアカウントの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、【削除】ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2

【削除】 ボタンをクリックします。



選択したアカウントが削除されます。

グループ設定をする

2024年7月10日

本製品では、ユーザーの各種権限を、所属するグループ単位で管理します。
アカウントに付与したい権限をグループにて設定し、該当のアカウントを所属させます。

→ アカウント設定については、『[アカウント設定をする](#)』を参照してください。

ここでは、グループの追加、編集、削除の操作について説明します。

グループの一覧を表示する

グループの一覧を表示します。

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「グループ設定」をクリックします。

「グループ設定」画面に、本製品に登録されているグループの一覧が表示されます。



NOTE

グループ一覧の「グループ名」をクリックすることで、グループ名の降順／昇順でグループを並び替えることができます。



グループを追加する

新規のグループを追加します。

- 1 「グループ設定」画面で、**「新規追加」** ボタンをクリックします。



「グループ設定の追加」画面が表示されます。

- 2 **グループの設定をします。**

詳細設定・制御

ホスト名設定

タイムゾーン設定

アカウント設定

グループ設定

モバイル通信設定

インターフェイス設定

スタティックルーティング設定

フィルター設定

NAT設定

IPsec設定

ホスト名:amnimo

日本語

admin

< グループ一覧へ戻る

グループ設定の追加

グループ名

test_group1

操作権限 全て許可

運用情報	表示	追加	更新	削除	制御
インターフェイス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ルーティング	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
モバイル通信	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
IPsec	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
DHCPリース	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

- ① グループ名を入力します。
- ② 当該グループのユーザーに付与する操作権限を選択します。

NOTE

- グレーアウトしている項目は選択不可です。
- 画面右側の「全て許可」ボタンをクリックすると全項目が選択できます（その後、「全て禁止」ボタンへと切り替わります）。
- GUIを使用する場合は、[機器情報] の表示権限を付与することが必須です。
（チェックを入れていない場合は、権限付与するようメッセージが表示されます）
- 設定ファイルのアップロードを行う場合は、アップロードの制御以外に、再起動の制御も許可する必要があります。

3

設定が完了したら、画面下部の [設定] をクリックします。

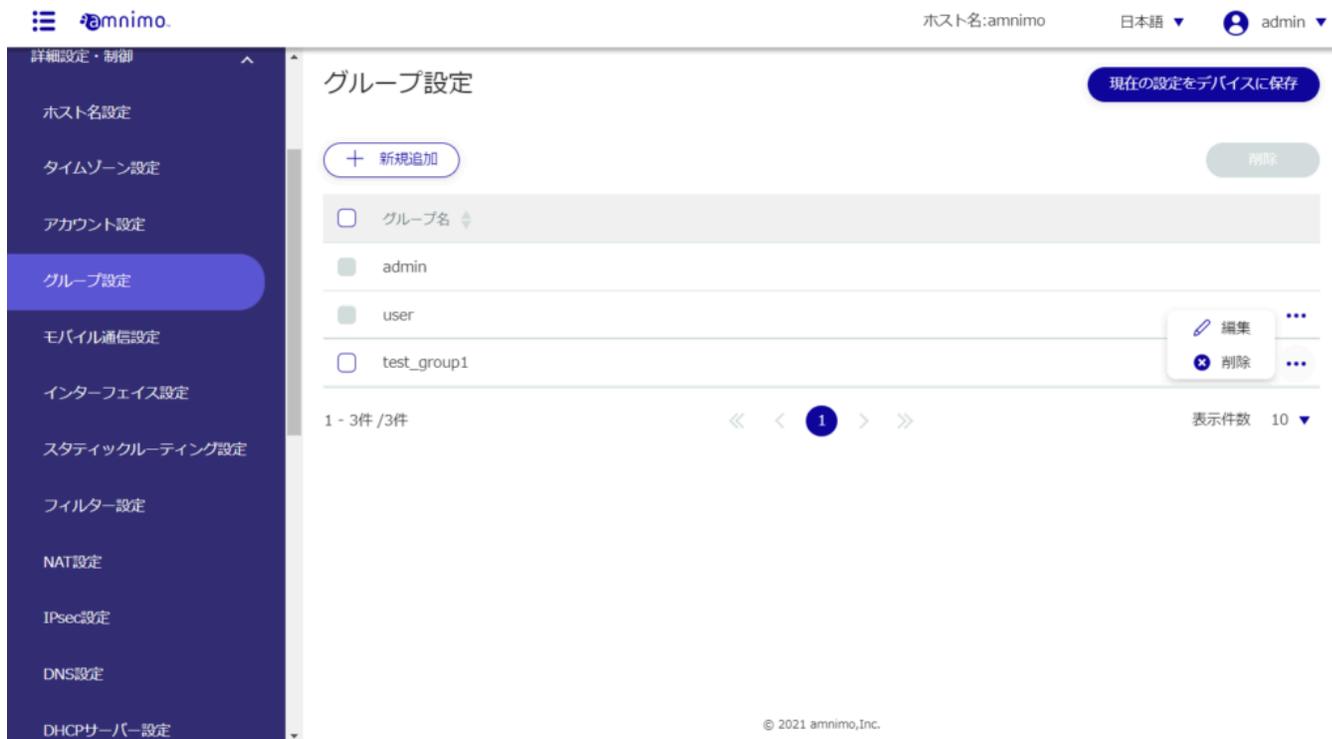


グループが追加されます。

グループを編集する

登録されているグループの操作権限を編集します。

「グループ設定」画面で、編集したいグループの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「編集」を選択します。



「グループ設定の編集」画面が表示されます。

2 グループ情報を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



グループの情報が更新されます。

グループを削除する

登録されているグループの削除には、グループの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいグループをすべて選択してから削除する方法があります。

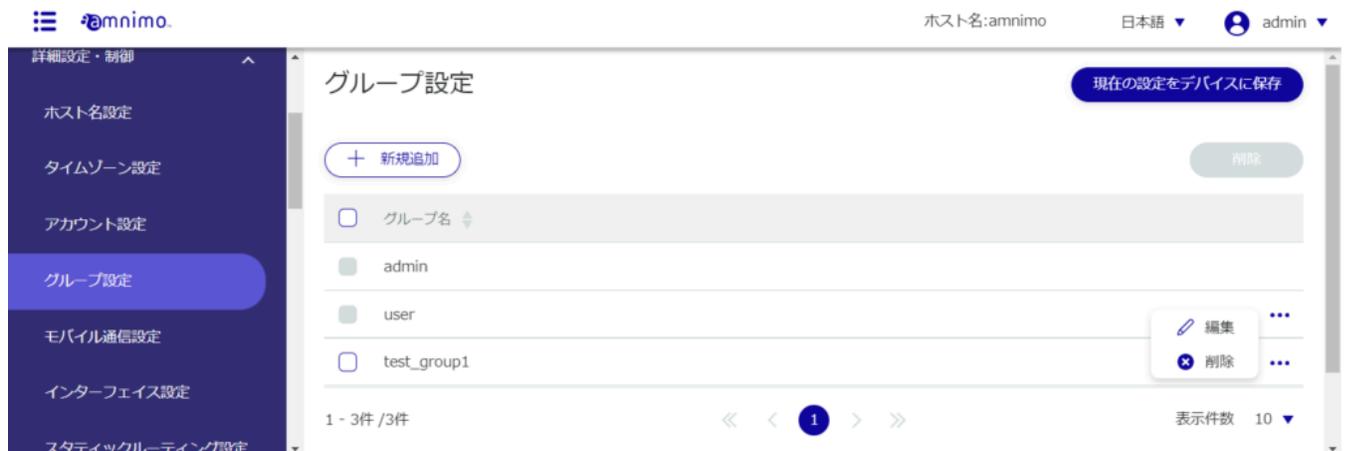
NOTE

工場出荷時は、adminとuserの2グループが設定されており、これらのグループを削除することはできません。所属ユーザーがいる間は、グループを削除することができません。

グループを個別に削除する

グループの操作メニューから削除を選択する方法です。

「グループ設定」画面で、削除したいグループの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

2 [削除] ボタンをクリックします。



グループが削除されます。

グループを複数選択して削除する

削除したいグループにチェックを付けてから削除する方法です。複数のグループを一括で削除する際に便利です。グループを1つだけ選択して削除することもできます。

「グループ設定」画面で、削除したいグループの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2 **【削除】 ボタンをクリックします。**

選択したグループが削除されます。

モバイル通信設定をする

2024年7月10日

NOTE

通信モジュールが無い機器には、この機能はありません。

ここでは、モバイル通信設定の新規追加、編集、削除の操作について説明します。

モバイル通信設定の一覧を表示する

モバイル通信設定の一覧を表示します。

1 サイドメニューの【詳細設定・制御】 - 【モバイル通信設定】をクリックします。



「モバイル通信設定」画面に、登録されているモバイル通信設定の一覧が表示されます。

NOTE

モバイル通信設定一覧の「モバイル回線名」「セッション名」「優先度」等のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順でモバイル通信設定を並び替えることができます。



モバイル通信設定を追加する

モバイル通信設定を新規追加します。

- 1 「モバイル通信設定」画面で、「新規追加」ボタンをクリックします。



「モバイル通信設定の追加」画面が表示されます。

- 2 **モバイル通信設定の追加をします。**

モバイル回線名を入力します。

メッセージ出力レベルを選択します。

必要に応じて、フェイルセーフの有効/無効を選択し、リトライ回数とリブート回数を設定します。



設定が完了したら「設定」をクリックします。

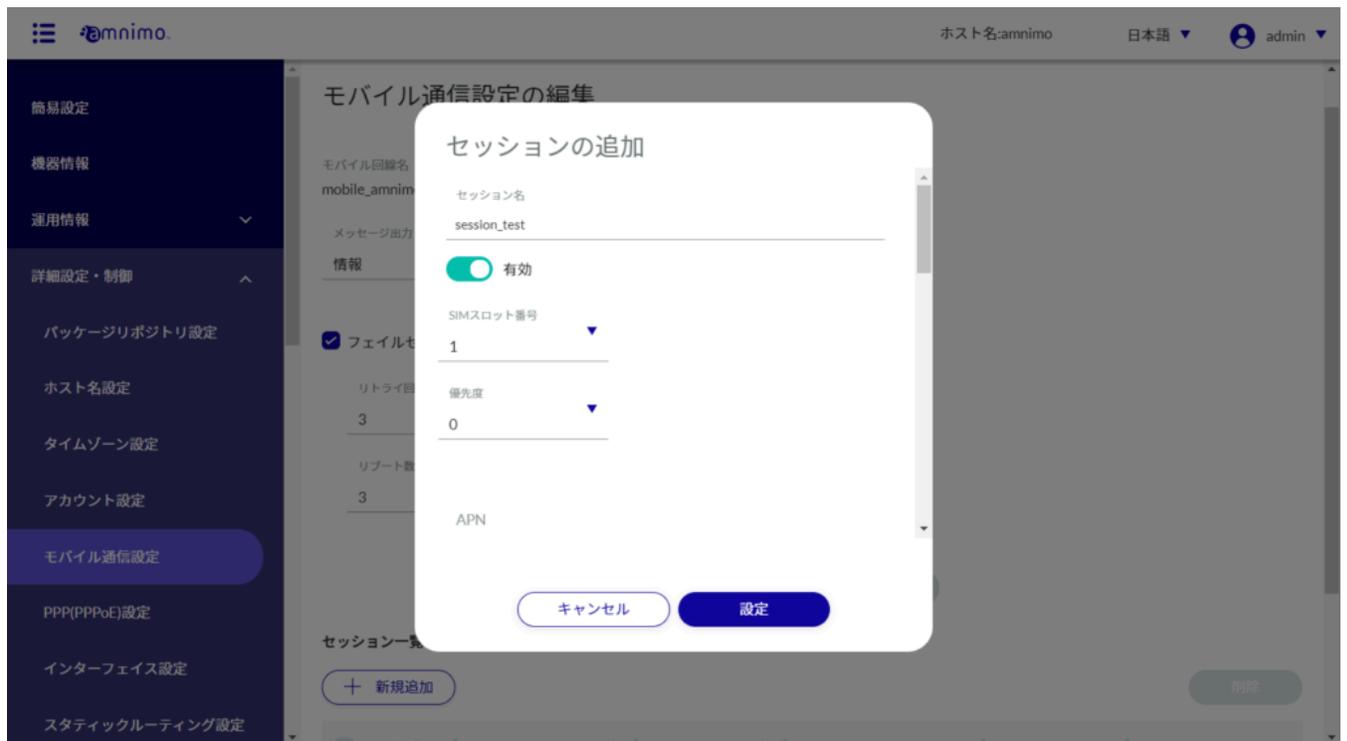
セッションを追加する

セッションを追加します。モバイル通信設定を追加した後も、当画面に遷移します。

「モバイル通信設定の編集」画面で、**【新規追加】** ボタンをクリックします。



2 セッションの追加をします。



- 1 セッション名を入力し、トグルを「有効」にスライドします。

トグルを有効にした場合、セッションの追加設定時に回線接続が行われます。
無効にした場合は、編集画面からトグルを有効にしない限り回線接続は行われません。

- 2 SIMスロット番号、優先度を選択します。

優先度は0が最高優先度、9が最低優先度です。



- 3 APN名を入力します。

- 4 認証方式を選択します。

- ⑤ ユーザー名、パスワードを入力します。



- ⑥ 接続待ち時間、呼び出し待ち時間を選択します（デフォルト値はそれぞれ55秒、30秒となっています）。

接続待ち時間とは、基地局との通信が確立されるまでの時間を指します。

呼び出し待ち時間とは、認証されるまでの待ち時間を指します。

- ⑦ 無通信検知時間、最大接続時間を選択します（デフォルト値は共に「無効」となっています）。

無通信監視対象のパケットは、通信モジュールを通して送受信したパケットとなっています。ただし、下記は監視対象外です。

PINGリクエストパケット(ICMP-echo-request)

PINGレスポンスパケット(ICMP-echo-reply)

通信モジュールから IPアドレスや DNSサーバー情報を取得するための DHCPプロトコル

最大接続時間で設定された時間、接続状態が継続した場合、回線を切断します。

- ⑧ 再接続待ち時間、接続リトライ回数を選択します（デフォルト値はそれぞれ30秒、無効となっています）。

再接続待ち時間

基地局と一時的に通信が出来なくなるような場合に、回線を切断せず接続状態を維持する時間を指します。

設定した時間内、回線接続状態を維持することで、回線切断後、再度回線接続時に発生する接続処理にかかるオーバーヘッドを抑え、通信の安定性を高めるための機能です。

接続リトライ回数

回線接続処理が完了しなかった場合に、接続処理を再実施する回数を指します。

- ⑨ 回線切断の有効/無効、閾値、継続時間を選択します（デフォルト値はそれぞれ-113dBm、30秒となっています）。

RSSI 値が閾値以下の状態になり、それが指定した時間以上継続した場合、回線切断を行う機能です。チェックボックスにチェックを入れない場合、機能を無効化します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



セッションを編集する

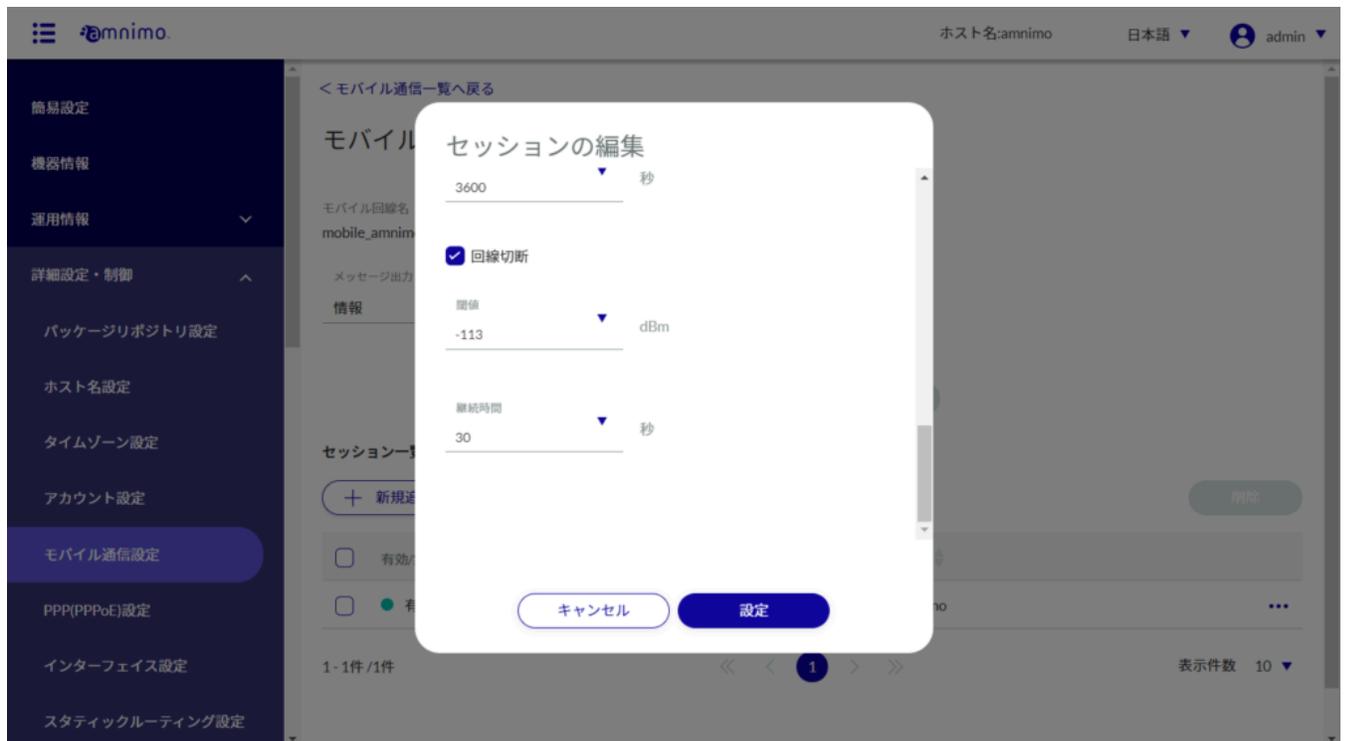
登録されているセッションを編集します。

1 「モバイル通信設定の編集」画面で、編集したいセッションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「セッションの編集」画面が表示されます。

2 セッション設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



セッション設定が更新され、一覧が表示されます。

セッションを削除する

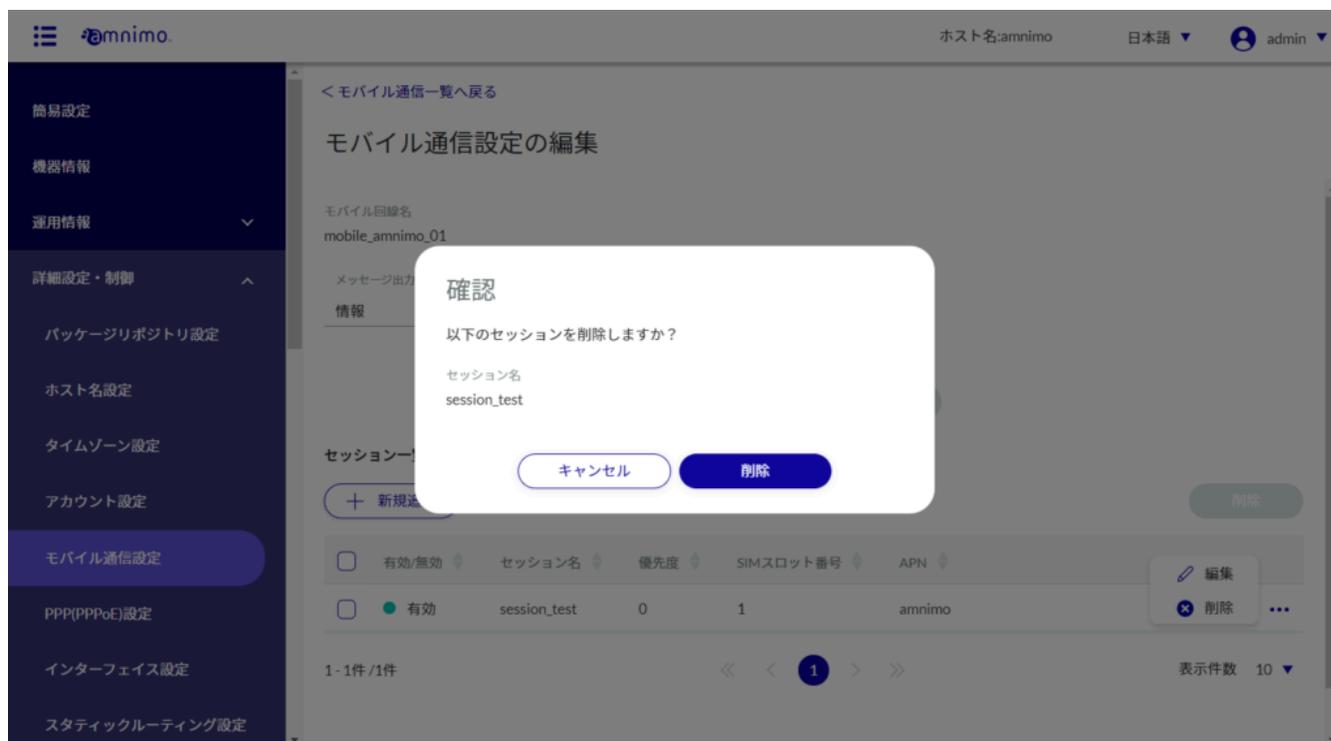
登録されているセッションを削除します。

「モバイル通信設定の編集」画面で、削除したいセッションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



「確認」画面が表示されます。

「削除」ボタンをクリックします。



セッション設定が削除されます。

「モバイル通信設定の編集」画面で、削除したいセッションの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックして削除することもできます。

複数のセッションを一括で削除する際に便利です。セッションを1つだけ選択して削除することもできます。



モバイル通信設定を編集する

登録されているモバイル通信設定を編集します。

「モバイル通信設定」画面で、編集したいモバイル通信設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「モバイル通信設定の編集」画面が表示されます。

2

モバイル通信設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



モバイル通信設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

モバイル通信設定を削除する

登録されているモバイル通信設定の削除には、モバイル通信設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいモバイル通信設定をすべて選択してから削除する方法があります。

モバイル通信設定を個別に削除する

モバイル通信設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

「モバイル通信設定」画面で、削除したいモバイル通信設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

2 [削除] ボタンをクリックします。



モバイル通信設定が削除されます。

モバイル通信設定を複数選択して削除する

削除したいモバイル通信設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のモバイル通信設定を一括で削除する際に便利です。モバイル通信設定を1つだけ選択して削除することもできます。

「モバイル通信設定」画面で、削除したいモバイル通信設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



無線LAN設定をする

2024年7月10日

NOTE

AIエッジゲートウェイ（amnimo X シリーズ）、エッジゲートウェイ（amnimo Gシリーズ）、IoTルーター（amnimo Rシリーズ）、コンパクトルーター屋内タイプ（AC10）には、この機能はありません。

ここでは、無線LAN設定の新規追加、編集、削除の操作について説明します。

WPSを設定する

WPSの設定を表示、変更します。

NOTE

- WPSは、無線LAN搭載コンパクトルーターが「アクセスポイントモード」として動作する際、接続に使用することが出来ます。「ステーションモード」として他のアクセスポイントに接続する際には使用出来ません。
- 「PINコード方式」を使用する際は、無線LANコンパクトルーターに接続するステーション側であらかじめ生成したPINコードを入力する必要があります。

1 サイドメニューの【詳細設定・制御】 - 【無線LAN設定】をクリックします。



「無線LAN設定」画面が表示されます。

2 **アクセスポイントのPINコードが表示されます。**

[生成] をクリックすると、PINコードを再生成することが出来ます。

3 **[WPS設定] のトグルをクリックし、有効と無効を切り替えることが出来ます。**

必要に応じて「WPSスイッチ」や「外部PINコード入力」の使用を制限することが出来ます。

 **NOTE**

WPSを使用した接続方法については『[amnimo C シリーズコンパクトルータースタートアップガイド](#)』を参照してください。

アクセスポイント設定の一覧を表示する

アクセスポイント設定の一覧を表示します。

1 **「アクセスポイント」タブをクリックします。**

登録されているアクセスポイント設定の一覧が表示されます。

 **NOTE**

工場出荷時の無線LAN搭載コンパクトルーターは、インターネットに接続されるとすぐに無線LANアクセスポイントとして動作を開始します。SSID名の初期設定値は以下の2つです。

- amnimo-2G-xxxxxx
- amnimo-5G-xxxxxx



The screenshot shows the '無線LAN設定' (Wireless LAN Settings) page. The 'アクセスポイント' (Access Point) tab is active. A table lists two access points:

アクセスポイント名	SSID	周波数帯	
amnimo-2G	amnimo-2G-1926d0	2.4GHz	...
amnimo-5G	amnimo-5G-1926d1	5GHz	...

At the bottom of the table, it shows '1 - 2件 / 2件' and a pagination control with '1' selected. The '表示件数' (Number of items to display) is set to '10'.

アクセスポイント設定を追加する

アクセスポイント設定を追加します。

1 [新規追加] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the amnimo web interface. The left sidebar contains various settings categories, with '無線LAN設定' (Wireless LAN Settings) highlighted. The main content area is titled '無線LAN設定' and has tabs for 'WPS', 'アクセスポイント' (selected), and 'ステーション'. A '+ 新規追加' (Add New) button is located at the top left of the table. The table lists two access points:

<input type="checkbox"/>	アクセスポイント名	SSID	周波数帯	
<input type="checkbox"/>	amnimo-2G	amnimo-2G-1926d0	2.4GHz	...
<input type="checkbox"/>	amnimo-5G	amnimo-5G-1926d1	5GHz	...

At the bottom of the table, it shows '1 - 2件 / 2件' and a pagination control with '1' selected. The '表示件数' (Number of items to display) is set to '10'. The footer of the page reads '© 2021 amnimo, Inc.'.

2 アクセスポイント設定に必要な項目を入力します。

詳細設定・制御

ホスト名設定

タイムゾーン設定

アカウント設定

グループ設定

モバイル通信設定

無線LAN設定

PPP(PPPoE)設定

インターフェイス設定

スタティックルーティング設定

フィルター設定

NAT設定

IPsec設定

DNS設定

DHCPサーバー設定

DHCPリレー設定

プロキシサーバー設定

< アクセスポイント一覧へ戻る

アクセスポイント設定の追加

アクセスポイント名
test0000

有効

周波数帯
 2.4GHz 5GHz

SSID
test1111

認証方式
wpa2-psk-wpa3-sae-mixed-mixed

パスワード

SSIDステルス

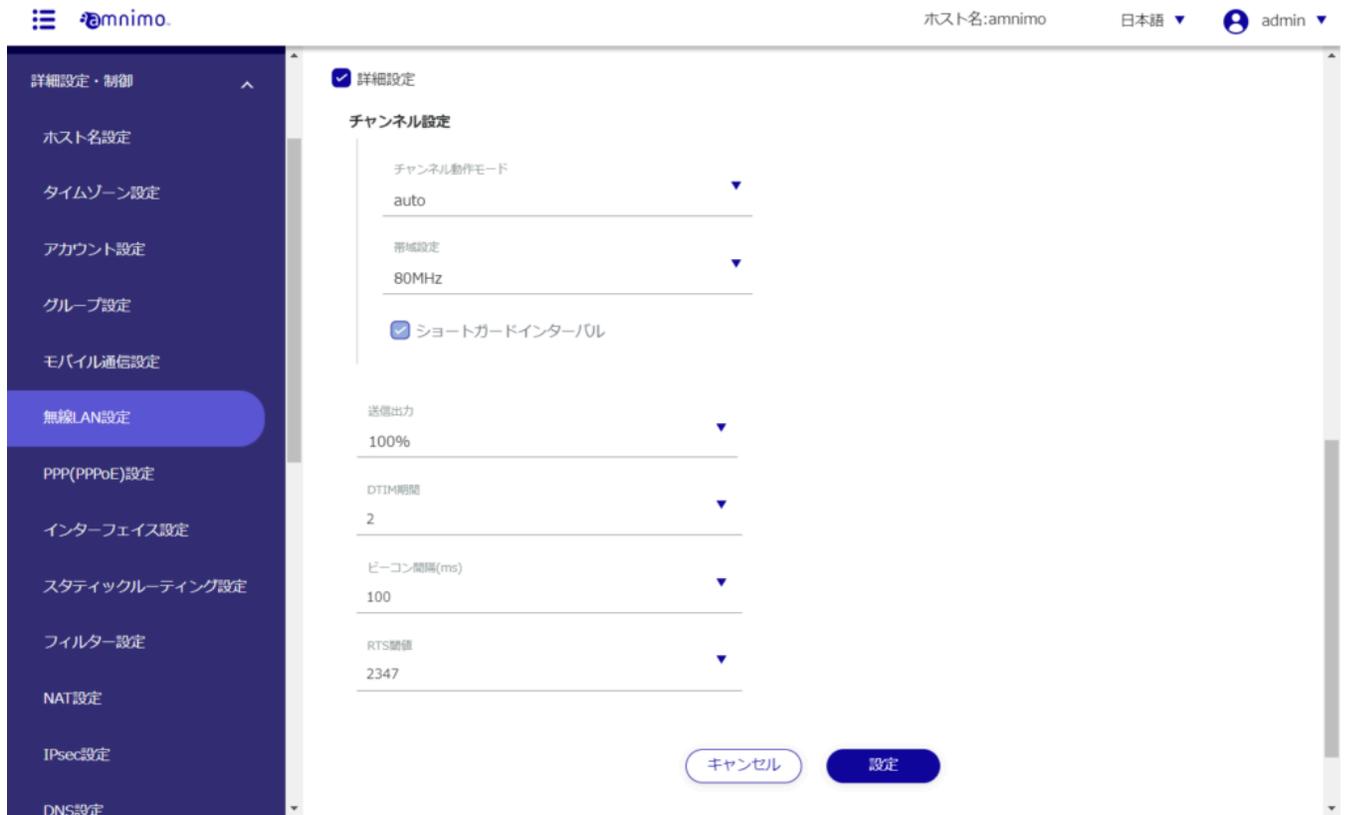
隔離機能

MACアドレスフィルター

接続許可MACアドレス

MACアドレス
MACアドレス 1

- 1 アクセスポイント名を入力します。
- 2 トグルをクリックして有効にします。
- 3 周波数帯を選択します。
- 4 SSIDと認証方式、パスワードを入力します。
- 5 必要に応じて、SSIDステルス、隔離機能、MACアドレスフィルターにチェックを入れます。
- 6 必要に応じて、接続を許可するMACアドレスを指定します。



⑦ 「詳細設定」にチェックを入れると、更に詳細な設定をすることが可能です。

設定が完了したら「設定」をクリックします。

アクセスポイント設定を編集する

登録されているアクセスポイント設定を編集します。

編集したいアクセスポイント設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「編集」を選択します。



「アクセスポイント設定の編集」画面が表示されます。

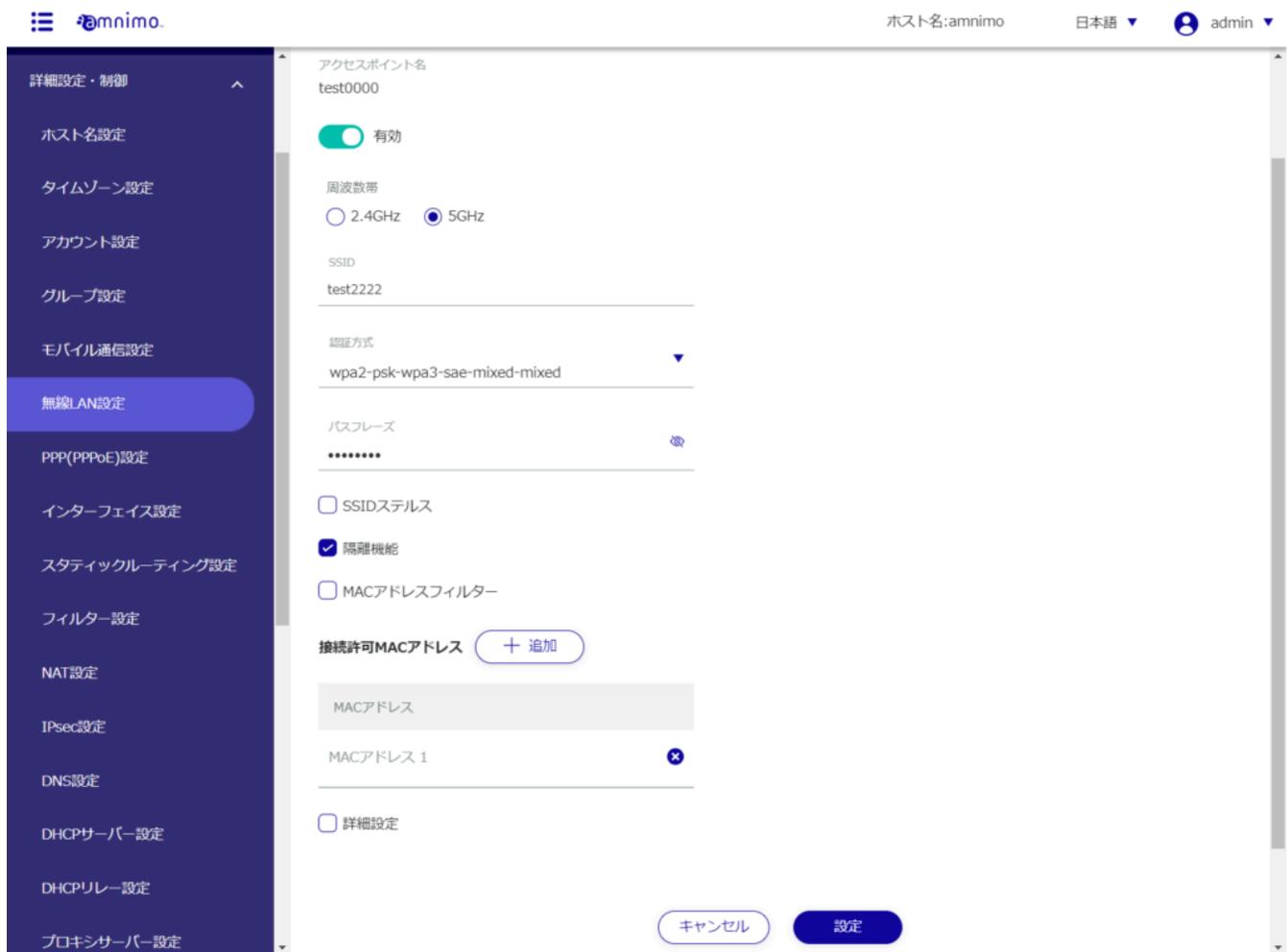
2 アクセスポイント設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。

 NOTE

無線LAN搭載コンパクトルーターは、デフォルトの状態ではbr0のDHCPサーバーが有効になっているため、br0で使用されているインターフェイスの変更ができなくなっています。 wlan0もbr0のインターフェイスとして使用されているため、wlan0が使用している下記アクセスポイントの変更ができなくなっています。

- amnimo-2G-xxxxxx
- amnimo-5G-xxxxxx

アクセスポイント設定を編集する前に、DHCPサーバー設定画面からbr0を無効に設定してください。DHCPサーバー設定の編集については『[DHCPサーバー設定を編集する](#)』を参照してください。



amnimo. ホスト名:amnimo 日本語 admin

詳細設定・制御

ホスト名設定

タイムゾーン設定

アカウント設定

グループ設定

モバイル通信設定

無線LAN設定

PPP(PPPoE)設定

インターフェイス設定

スタティックルーティング設定

フィルター設定

NAT設定

IPsec設定

DNS設定

DHCPサーバー設定

DHCPリレー設定

プロキシサーバー設定

アクセスポイント名
test0000

有効

周波数帯
 2.4GHz 5GHz

SSID
test2222

認証方式
wpa2-psk-wpa3-sae-mixed-mixed

パスワード

SSIDステルス

隔離機能

MACアドレスフィルター

接続許可MACアドレス

MACアドレス

MACアドレス 1

詳細設定

アクセスポイント設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

アクセスポイント設定を削除する

登録されているアクセスポイント設定の削除には、アクセスポイント設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいアクセスポイント設定をすべて選択してから削除する方法があります。

アクセスポイント設定を個別に削除する

アクセスポイント設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

削除したいアクセスポイント設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

[削除] ボタンをクリックします。



アクセスポイント設定が削除されます。

アクセスポイント設定を複数選択して削除する

削除したいアクセスポイント設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のアクセスポイント設定を一括で削除する際に便利です。アクセスポイント設定を1つだけ選択して削除することもできます。

削除したいアクセスポイント設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2

[削除] ボタンをクリックします。



選択したアクセスポイント設定が削除されます。

ステーション設定の一覧を表示する

ステーション設定の一覧を表示します。

1

「ステーション」タブをクリックします。

NOTE

工場出荷時の無線LAN搭載コンパクトルーターは、電源投入後すぐに無線LANアクセスポイントとして動作を開始するため、ステーション設定は登録されていません。

ステーションモードで動作させるためには幾つかの手順を踏む必要があります。詳しい手順は『[amnimo C シリーズコンパクトルータースタートアップガイド](#)』を参照してください。



登録されているステーション設定の一覧が表示されます。

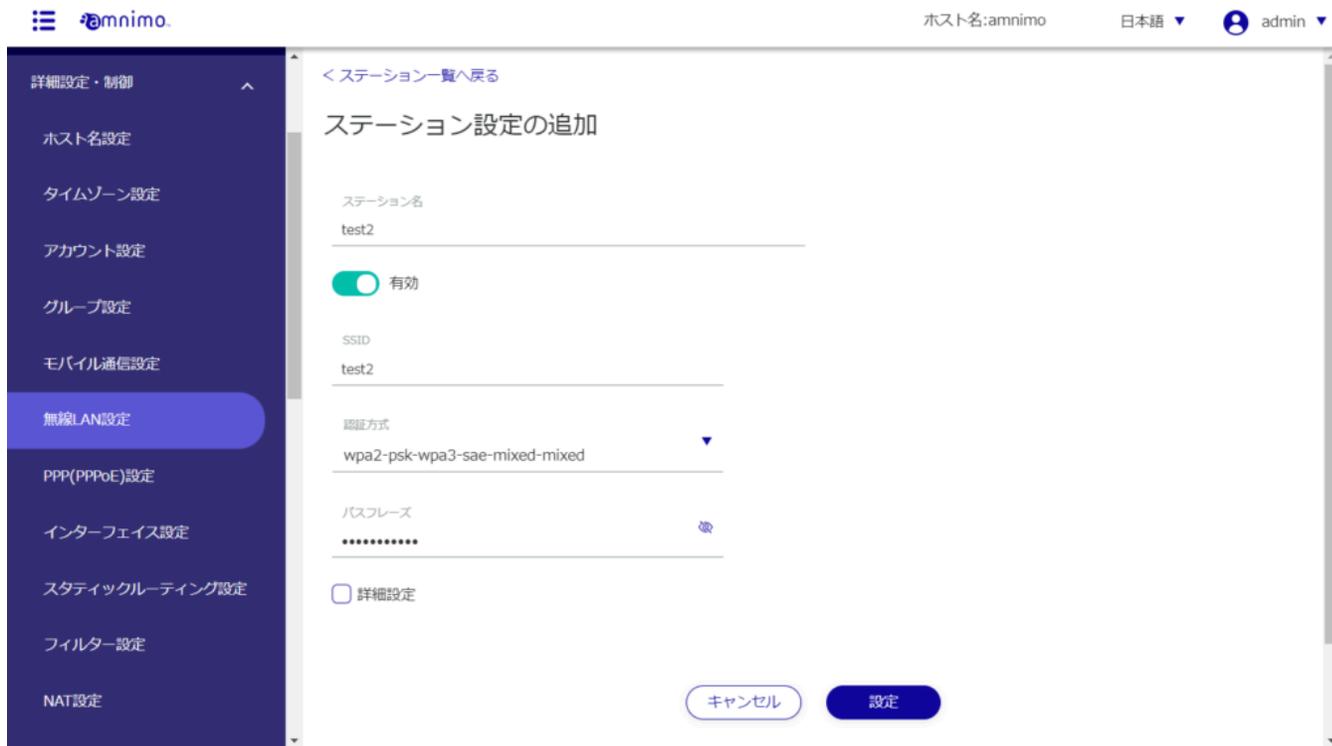
ステーション設定を追加する

ステーション設定を追加します。

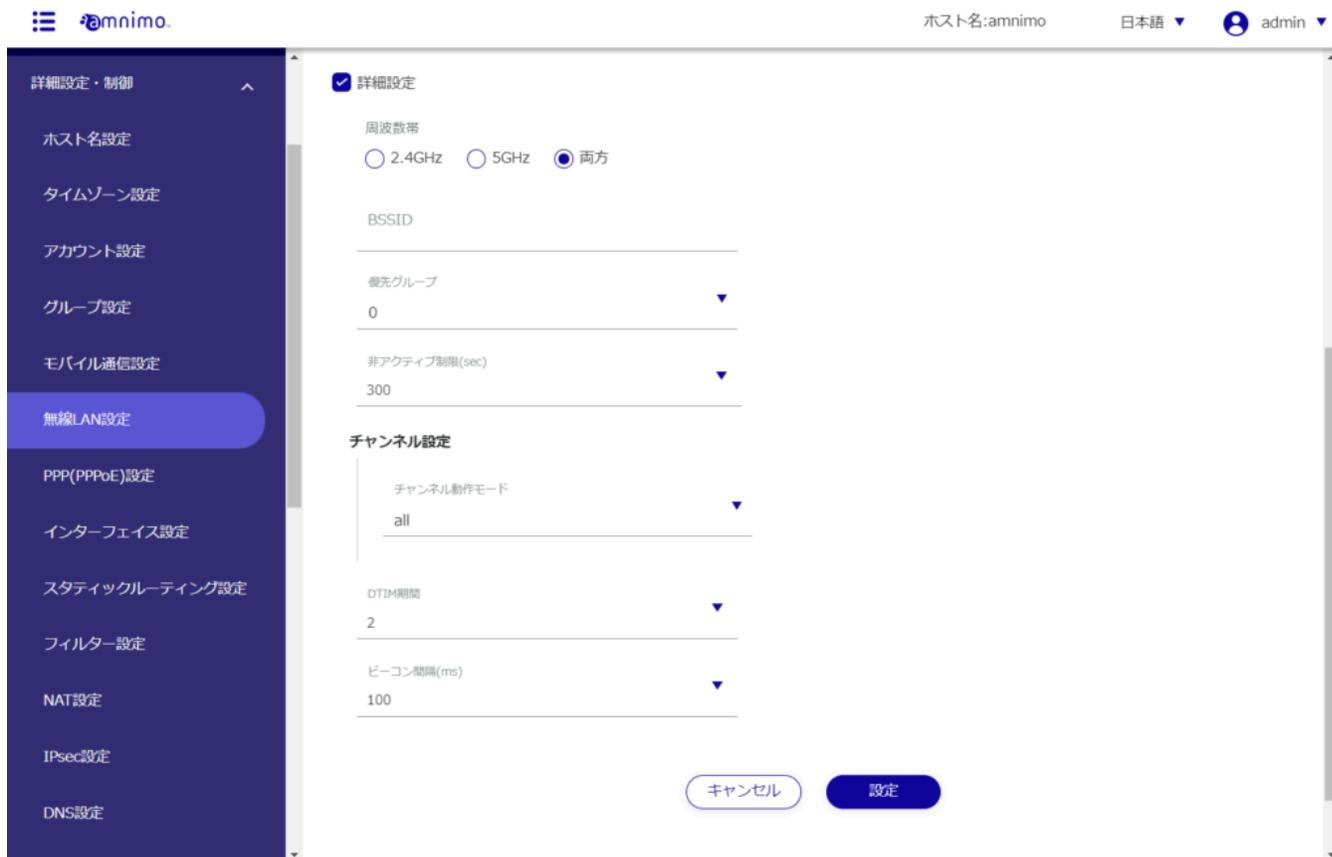
- 1 **【新規追加】 ボタンをクリックします。**



- 2 **ステーション設定に必要な項目を入力します。**



- ① ステーション名を入力します。
- ② トグルをクリックして有効にします。
- ③ SSIDと認証方式、パスワードを入力します。ユーザー名とパスワードを設定します。



- ④ [詳細設定] にチェックを入れると、更に詳細な設定をすることが可能です。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

ステーション設定を編集する

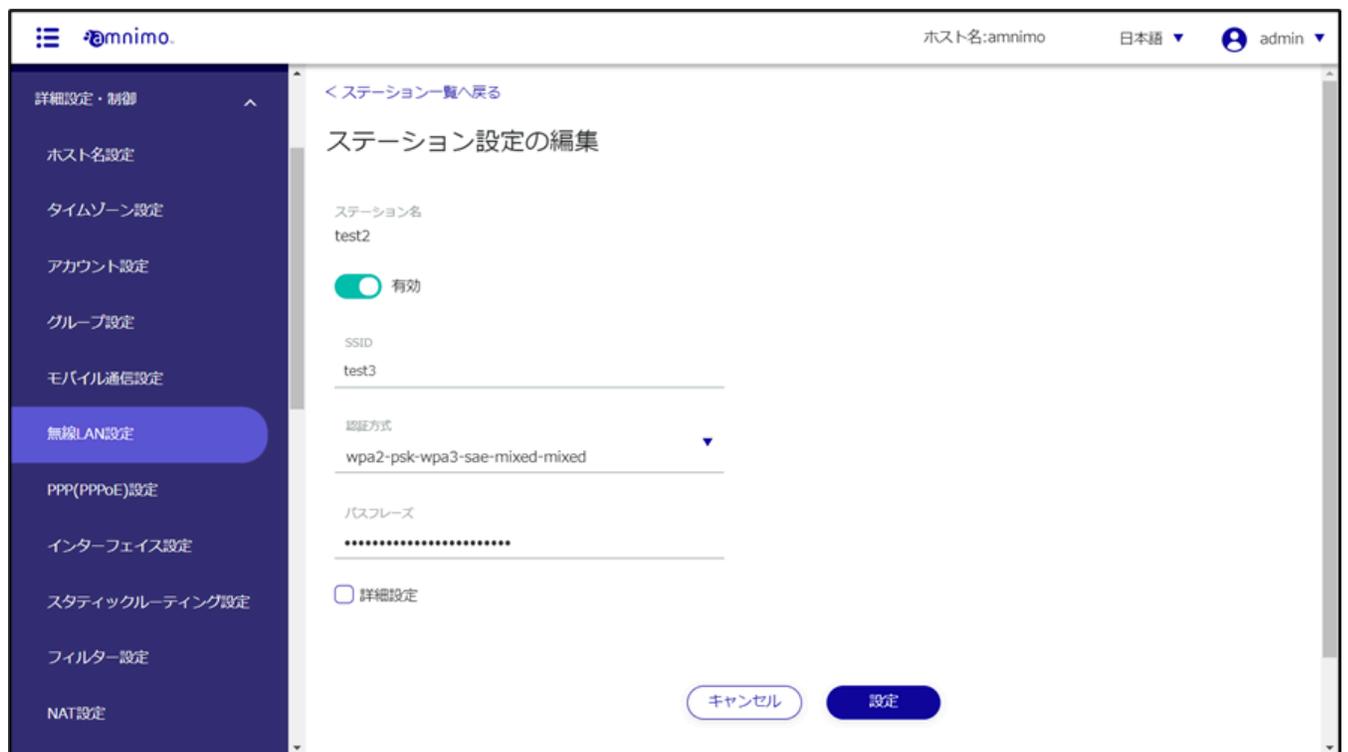
登録されているステーション設定を編集します。

編集したいステーション設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「ステーション設定の編集」画面が表示されます。

ステーション設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



ステーション設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

ステーション設定を削除する

登録されているステーション設定の削除には、ステーション設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいステーション設定をすべて選択してから削除する方法があります。

ステーション設定を個別に削除する

ステーション設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

1 削除したいステーション設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

2 [削除] ボタンをクリックします。



ステーション設定が削除されます。

ステーション設定を複数選択して削除する

削除したいステーション設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のステーション設定を一括で削除する際に便利です。ステーション設定を1つだけ選択して削除することもできます。

1 削除したいステーション設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、**【削除】** ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2 **【削除】** ボタンをクリックします。



選択したステーション設定が削除されます。

PPP(PPPoE)設定をする

2024年7月10日

ここでは、PPP(PPPoE)設定の新規追加、編集、削除の操作について説明します。

PPP(PPPoE)設定の一覧を表示する

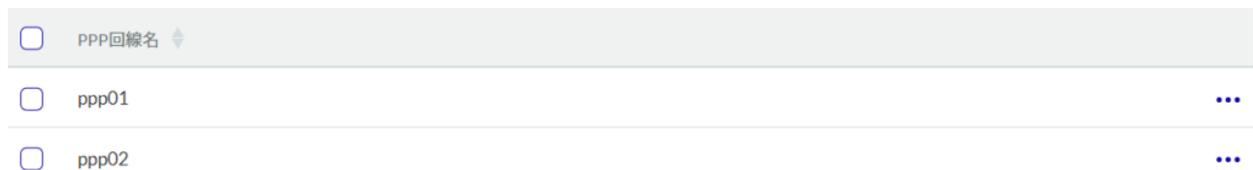
- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「PPP(PPPoE)設定」をクリックします。



「PPP(PPPoE)設定」画面に、登録されているPPP(PPPoE)設定の一覧が表示されます。

NOTE

PPP(PPPoE)設定一覧の「PPP回線名」のタブをクリックすることで、PPP回線名の降順／昇順でPPP(PPPoE)設定を並び替えることができます。



PPP(PPPoE)設定を追加する

- 1 「PPP(PPPoE)設定」画面で、「新規追加」ボタンをクリックします。



「PPP(PPPoE)設定の追加」画面が表示されます。

2

PPP(PPPoE)設定に必要な項目を入力します。



- ① PPP回線名を入力します。
- ② メッセージ出力レベルを選択します。
- ③ 認証方式を選択します。
- ④ ユーザー名とパスワードを設定します。
- ⑤ 設定が完了したら [設定] をクリックします。

3 PPP(PPPoE)設定が追加されます。



PPP(PPPoE)設定を編集する

登録されているPPP(PPPoE)設定を編集します。

1 「PPP(PPPoE)設定」画面で、編集したいPPP(PPPoE)設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「編集」を選択します。



「PPP(PPPoE)設定の編集」画面が表示されます。

2 PPP(PPPoE)設定を編集して、「設定」ボタンをクリックします。



PPP(PPPoE)設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

PPP(PPPoE)設定を削除する

登録されているPPP(PPPoE)設定の削除には、操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいPPP(PPPoE)設定をすべて選択してから削除する方法があります。

PPP(PPPoE)設定を個別に削除する

「PPP(PPPoE)設定」画面で、削除したいPPP(PPPoE)設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



「確認」画面が表示されます。

「削除」ボタンをクリックします。

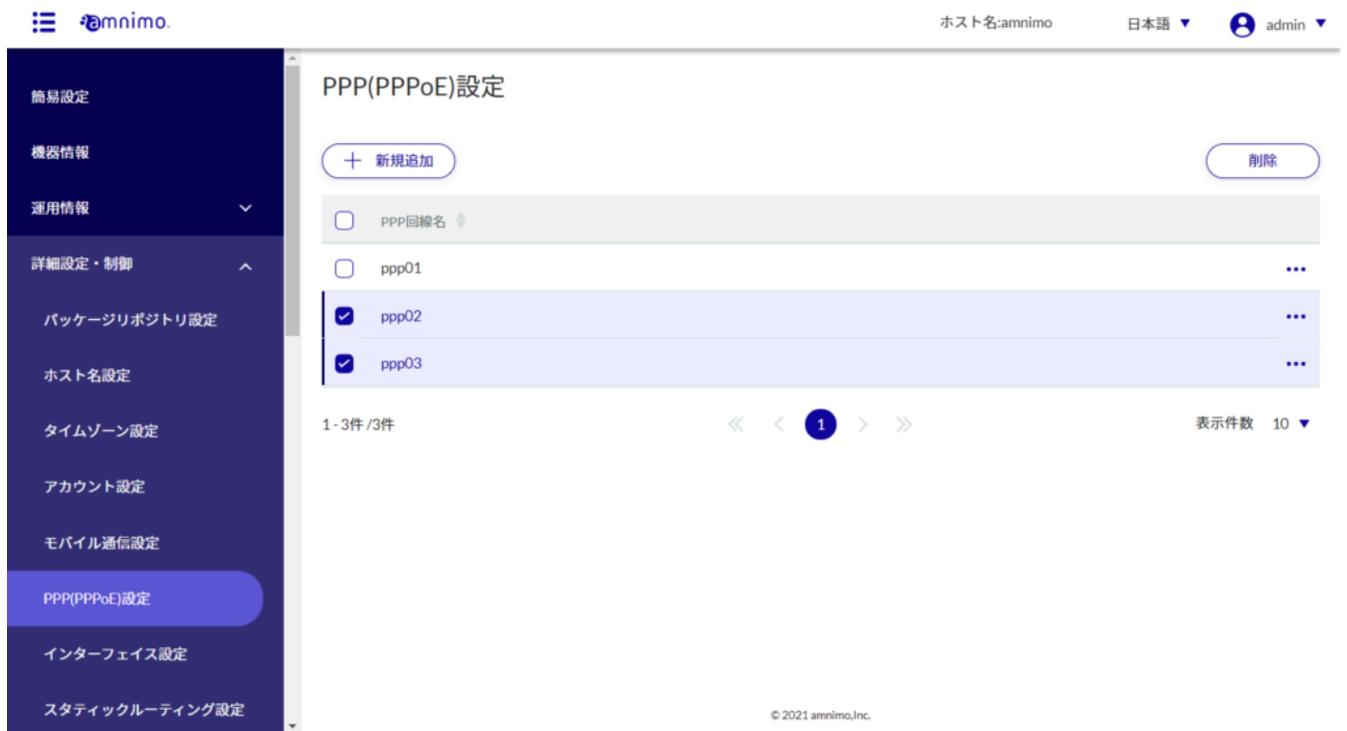


PPP(PPPoE)設定が削除されます。

PPP(PPPoE)設定を複数選択して削除する

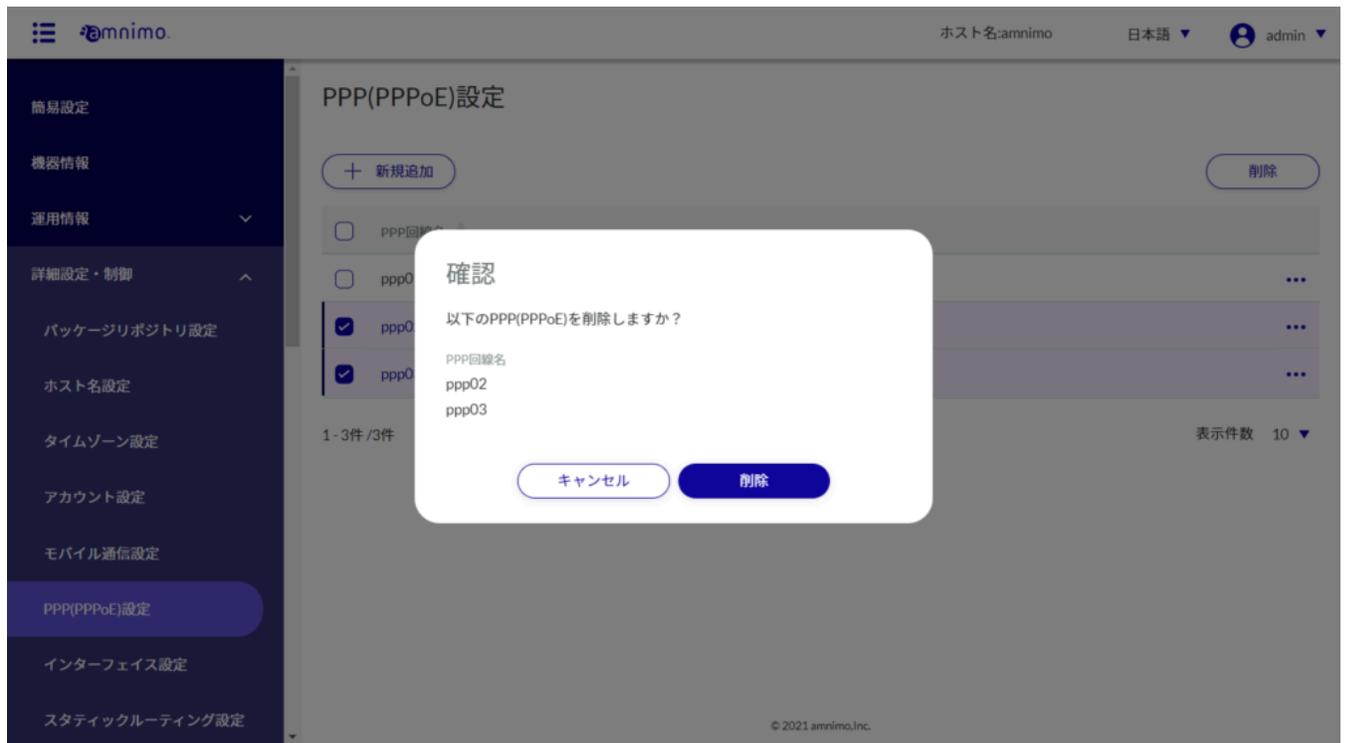
削除したいPPP(PPPoE)設定を選択して削除します。複数の設定を一括で削除する際に便利です。PPP(PPPoE)設定を1つだけ選択して削除することもできます。

「PPP(PPPoE)設定」画面で、削除したいPPP(PPPoE)設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

[削除] ボタンをクリックします。



選択したPPP(PPPoE)設定が削除されます。

インターフェイス設定をする

2024年7月10日

本製品のインターフェイス設定をします。

インターフェイス設定の一覧を表示する

インターフェイス設定の一覧を表示します。

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「インターフェイス設定」をクリックします。

「インターフェイス設定」画面に、登録されているインターフェイス設定の一覧が表示されます。

インターフェイス	有効/無効	DHCP	IPアドレス	プレフィックス長	PPPoE	GATEWAY
<input type="checkbox"/> eth0	有効	有効			無効	...
<input type="checkbox"/> lan0	有効	無効			無効	...
<input type="checkbox"/> lan1	有効	無効			無効	...
<input type="checkbox"/> lan2	有効	無効			無効	...
<input type="checkbox"/> lan3	有効	無効			無効	...
<input type="checkbox"/> br0	有効	無効	192.168.0.254	24	無効	...
<input type="checkbox"/> ecm0	有効	有効			無効	...

NOTE

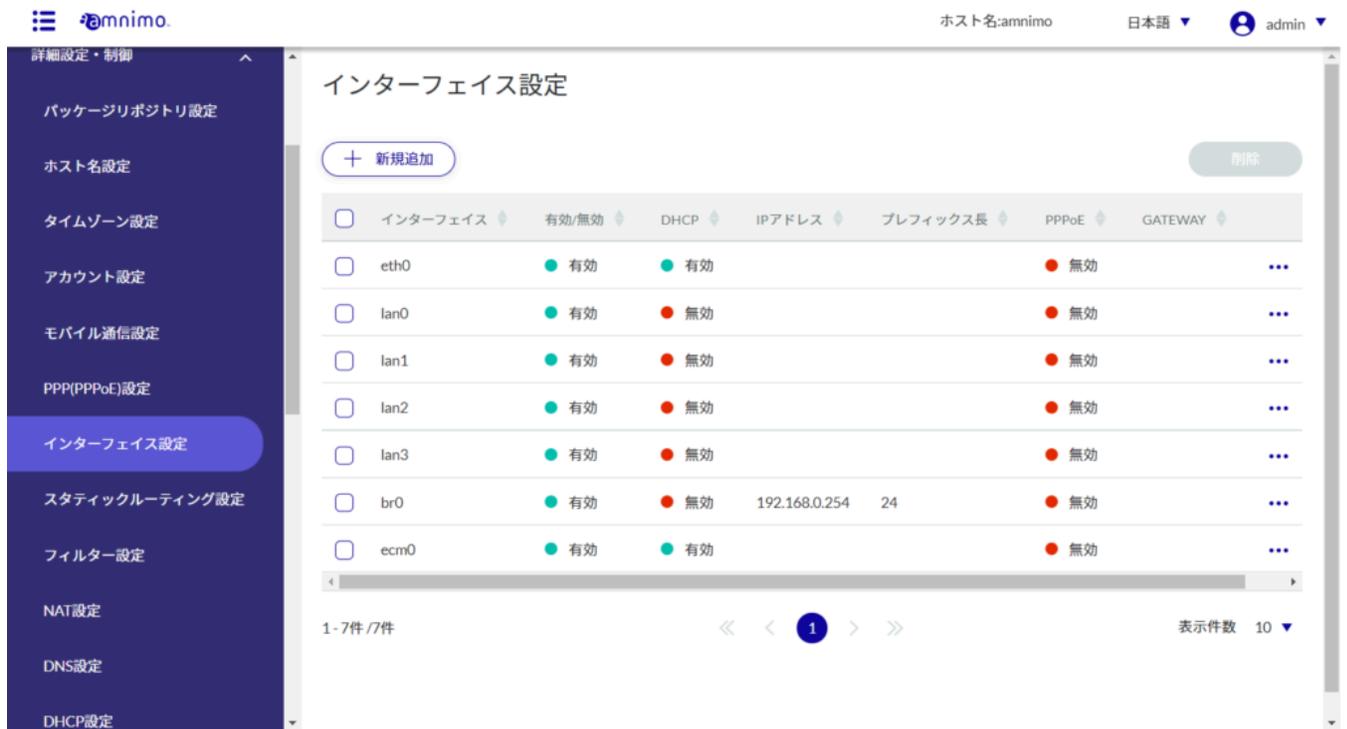
インターフェイス設定一覧の「インターフェイス」「有効/無効」等のタブをクリックすることで、各項目の降順/昇順でインターフェイス設定を並び替えることができます。

インターフェイス	有効/無効	DHCP	IPアドレス	プレフィックス長	PPPoE	GATEWAY
<input type="checkbox"/> eth0	有効	有効			無効	...
<input type="checkbox"/> lan0	有効	無効			無効	...

インターフェイスを追加する

インターフェイス設定を追加します。

1 「インターフェイス設定」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



「インターフェイスの追加」画面が表示されます。

2 インターフェイスを選択します。



選択したインターフェイスに応じて設定項目が異なります。

eth0 の追加

eth0 のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

NOTE

AIエッジゲートウェイの場合、本項はeth0ではなくwan0に対して操作を行ってください。

1 各項目を設定します。



- 1 トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。
- 2 DHCP (IPv4) にチェックを入れた場合、DNS優先度とROUTEメトリックを選択します。

DNS優先度は0～99の範囲で設定します。デフォルト値は30です。

ROUTEメトリックは0～255の範囲で設定します。デフォルト値は30です。

ホスト名設定

タイムゾーン設定

アカウント設定

モバイル通信設定

PPP(PPPoE)設定

インターフェイス設定

スタティックルーティング設定

フィルター設定

NAT設定

DNS設定

DHCP設定

固定(IPv4)

IPアドレス

プレフィックス長 ▼

GATEWAY

動的SNAT

MTU

1500 ▼

リンクモード

100baseT-Auto ▼

PROXY-ARP

起動時確認無効

キャンセル 設定

- ③ 固定 (IPv4) にチェックを入れた場合、IPアドレス、プレフィックス長、GATEWAYを指定します。

ファームウェアバージョン v2.1.0 以降については、「IPアドレス」という表示になり、チェック欄はありません。IPアドレス（「追加」ボタンをクリックすることで複数設定可能）を入力した場合は、プレフィックス長を設定します。GATEWAYにチェックを入れた場合、デフォルトゲートウェイとなるIPアドレスを設定します。

- ④ 動的SNATにチェックを入れた場合、MTU、リンクモードを選択します。

MTUは576～9676の範囲で設定します。デフォルト値は1500です。

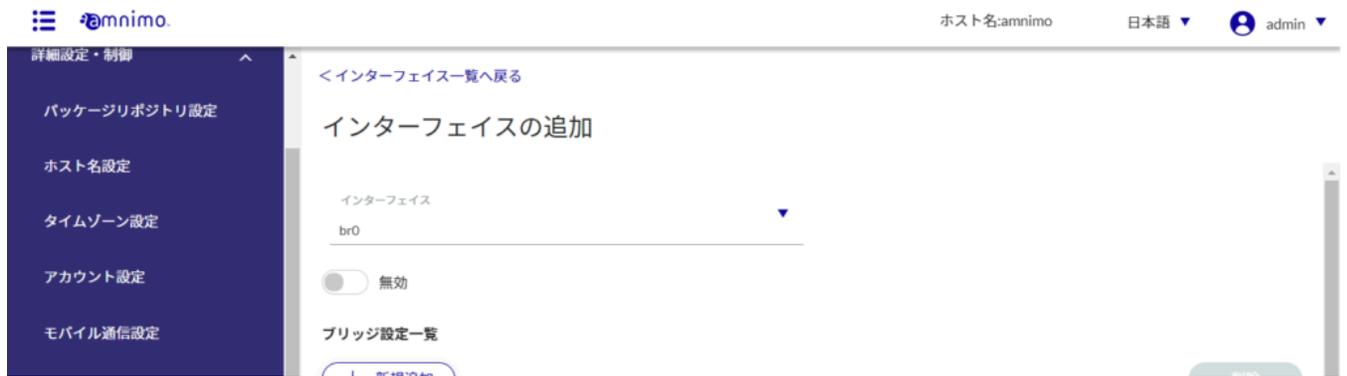
- ⑤ 必要に応じて、PROXY-ARPを有効にします。
- ⑥ 必要に応じて、機器起動時のインターフェイス起動待ち無効機能を有効にします（コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません）。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

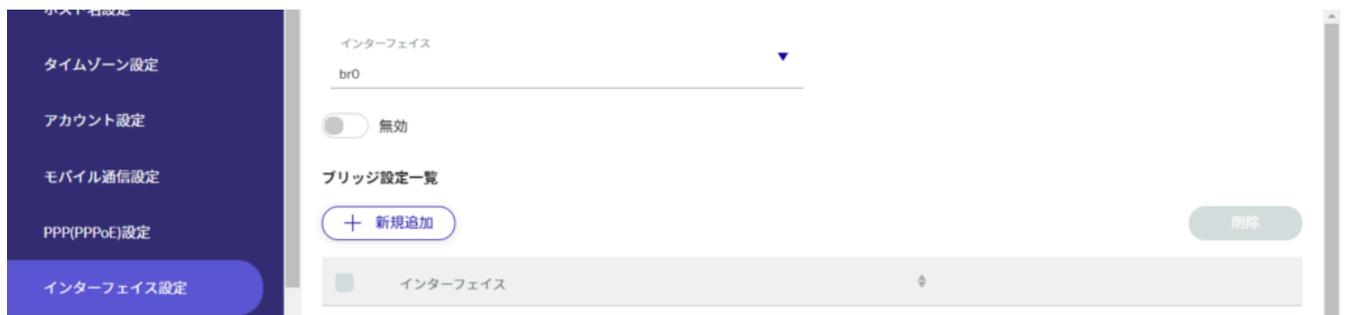
br0 の追加

br0のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

1 各項目を設定します。



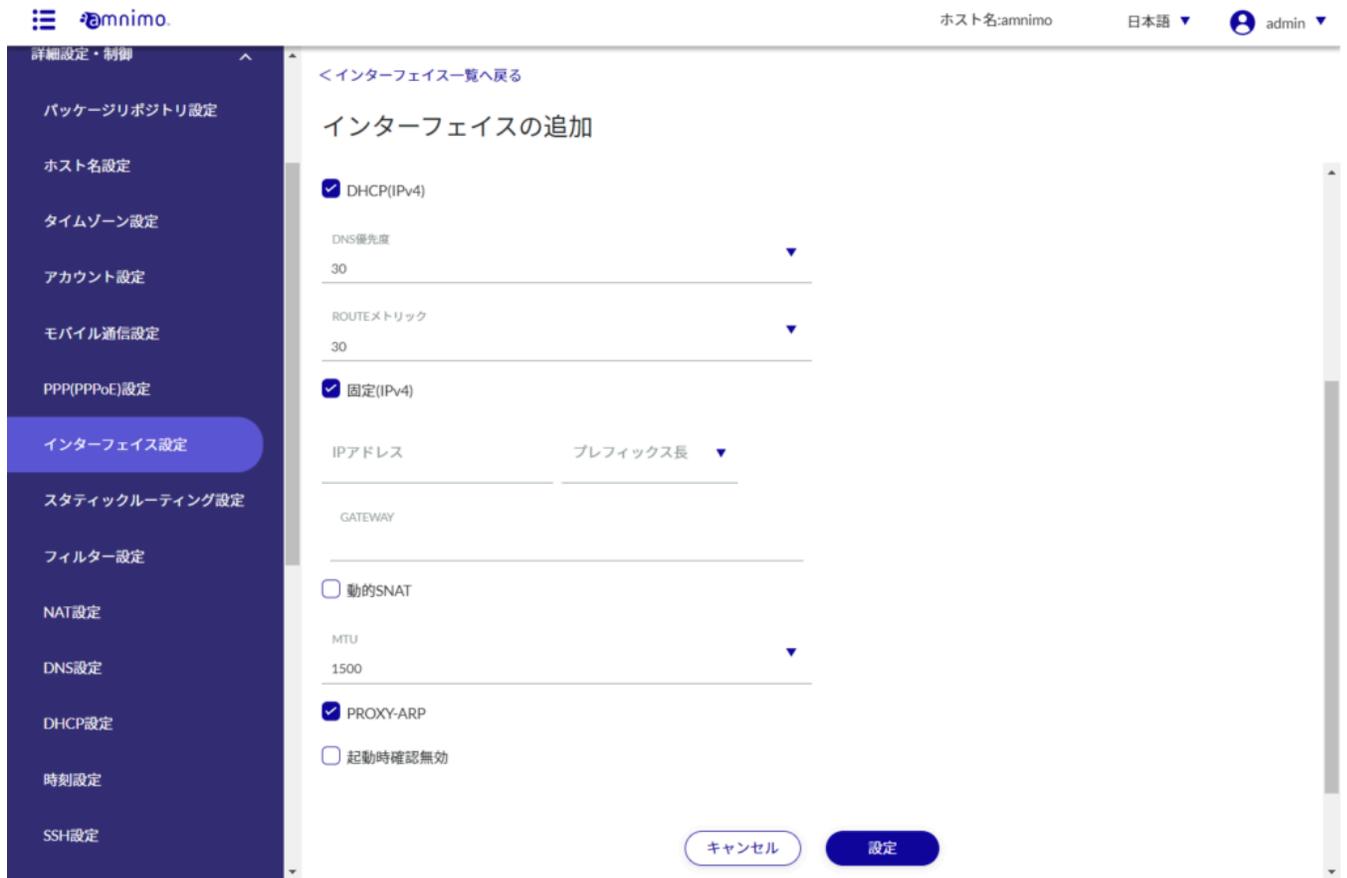
- 1 トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。



- 2 ブリッジ設定一覧の [新規追加] ボタンで、ブリッジするインターフェイスを追加することができます。



追加する場合は、インターフェイスを選択し、[設定] をクリックします。



- ③ DHCP (IPv4) にチェックを入れた場合、DNS優先度とROUTEメトリックを選択します。

DNS優先度は0～99の範囲で設定します。デフォルト値は30です。
ROUTEメトリックは0～255の範囲で設定します。デフォルト値は30です。

- ④ 固定 (IPv4) にチェックを入れた場合、IPアドレス、プレフィックス長、GATEWAYを指定します。

ファームウェアバージョン v2.1.0 以降については、「IPアドレス」という表示になり、チェック欄はありません。

IPアドレス（「追加」ボタンをクリックすることで複数設定可能）を入力した場合は、プレフィックス長を設定します。GATEWAYにチェックを入れた場合、デフォルトゲートウェイとなるIPアドレスを設定します。

- ⑤ 動的SNATにチェックを入れた場合、MTUを選択します。

MTUは576～9676の範囲で設定します。デフォルト値は1500です。

- ⑤ 必要に応じて、PROXY-ARPを有効にします。
- ⑥ 必要に応じて、機器起動時のインターフェイス起動待ち無効機能を有効にします。

エッジゲートウェイ（amnimo G シリーズ）、IoT ルーター（amnimo R シリーズ）のファームウェア v1.X.X でのみ表示されます。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

lan0～lan3の追加

lan0～lan3のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

1 各項目を設定します。

The screenshot displays the 'インターフェイスの編集' (Edit Interface) page for 'lan0'. The interface is in Japanese. On the left, a dark blue sidebar contains navigation links: '簡単設定', '機器情報', '運用情報', '詳細設定・制御', 'ホスト名設定', 'タイムゾーン設定', 'アカウント設定', 'グループ設定', 'モバイル通信設定', and '無線LAN設定'. The main content area has a breadcrumb '[< インターフェイス一覧へ戻る](#)' and the title 'インターフェイスの編集'. Below the title, the interface name 'lan0' is shown. A green toggle switch is set to '有効'. There are four checked checkboxes: 'DHCP(IPv4)', 'GATEWAY', '動的SNAT', and 'PROXY-ARP'. Under 'DHCP(IPv4)', there are dropdown menus for 'DNS優先度' (set to 30) and 'ROUTEメトリック' (set to 30). Under 'IPアドレス', there is a '+ 追加' button and a table with columns 'IPアドレス' and 'プレフィックス長'. The table contains one entry: '1.1.1.1' and '1'. Under 'GATEWAY', there is a 'GATEWAYアドレス' field set to '2.2.2.2'. Under '動的SNAT', there is an 'MTU' dropdown set to '1500'. Under 'リンクモード', there is a dropdown set to '100baseT-Auto'. At the bottom right, there are two buttons: 'キャンセル' and '設定'. The footer shows '© 2021 amnimo, Inc.'

- ① トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。
- ② DHCP (IPv4) にチェックを入れた場合、DNS優先度とROUTEメトリックを選択します。
※無線LAN搭載コンパクトルーター (AC15、AC25) のみ。

DNS優先度は0～99の範囲で設定します。デフォルト値は30です。

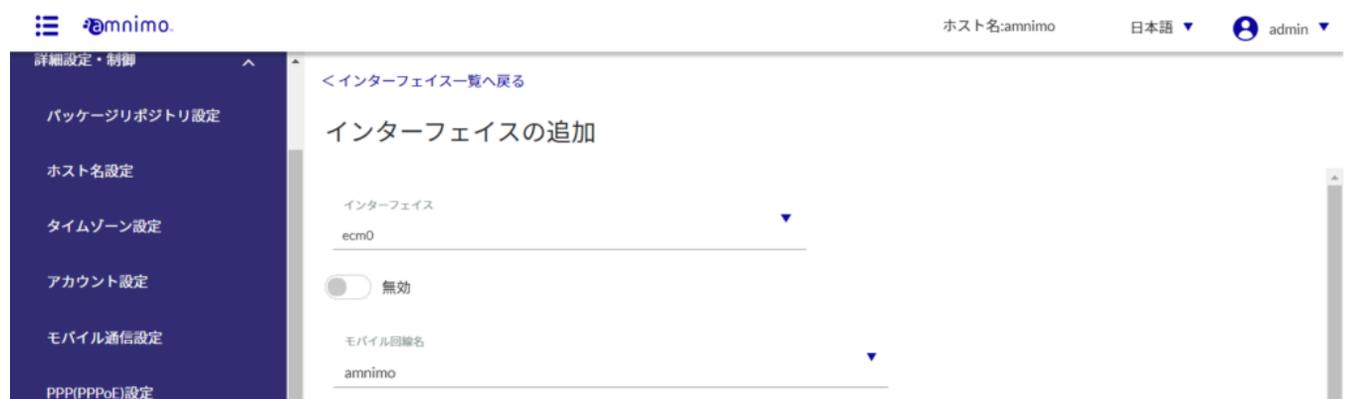
ROUTEメトリックは0～255の範囲で設定します。デフォルト値は30です。

- ③ IPアドレス（「追加」ボタンをクリックすることで複数設定可能）を入力し、プレフィックス長を設定します。※無線LAN搭載コンパクトルーター (AC15、AC25) のみ。
- ④ GATEWAYにチェックを入れた場合、デフォルトゲートウェイとなるIPアドレスを設定します。※無線LAN搭載コンパクトルーター (AC15、AC25) のみ。
- ⑤ 動的SNATにチェックを入れた場合、MTUを選択します。※無線LAN搭載コンパクトルーター (AC15、AC25) のみ。

MTUは576～9676の範囲で設定します。デフォルト値は1500です。

- ⑥ リンクモードを選択します。
- ⑦ 必要に応じて、PROXY-ARPを有効にします。※無線LAN搭載コンパクトルーター (AC15、AC25) のみ。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



ecm0 / rmnet_data0 の追加

ecm0のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

コンパクトルーターをご利用の場合は、ecm0をrmnet_data0に読み換えてください。

1 各項目を設定します。



- ① トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。
- ② モバイル回線名を選択します。

[詳細設定・制御] - [モバイル通信設定] にて設定されたモバイル回線名を選択することができます。



- ③ DHCP (IPv4) にチェックを入れた場合、DNS優先度とROUTEメトリックを選択します。

DNS優先度は0～99の範囲で設定します。デフォルト値は30です。

ROUTEメトリックは0～255の範囲で設定します。デフォルト値は30です。

- ④ 動的SNATにチェックを入れた場合、MTUを選択します。

MTUは576～9676の範囲で設定します。デフォルト値は1500です。

- ⑤ 必要に応じて、PROXY-ARPを有効にします。
- ⑥ 必要に応じて、機器起動時のインターフェイス起動待ち無効機能を有効にします。

エッジゲートウェイ（amnimo G シリーズ）、IoT ルーター（amnimo R シリーズ）のファームウェア v1.X.X でのみ表示されます。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

ppp0 の追加

ppp0のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

1 各項目を設定します。



- ① トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。
- ② ppp回線名を選択します。

[詳細設定・制御] - [PPP(PPPoE)設定] にて設定されたppp回線名を選択することができます。



- ③ PPPoE(Ipv4)にチェックを入れた場合、DNS優先度とROUTEメトリックを選択します。

DNS優先度は0～99の範囲で設定します。デフォルト値は20です。

ROUTEメトリックは0～255の範囲で設定します。デフォルト値は20です。

- ④ 動的SNATにチェックを入れた場合、MTUを選択します。

MTUは576～9676の範囲で設定します。デフォルト値は1454です。

- ⑤ 必要に応じて、PROXY-ARPを有効にします。

- ⑥ 必要に応じて、機器起動時のインターフェイス起動待ち無効機能を有効にします。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

wlan0～wlan1 の追加

wlan0～wlan1のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

1 各項目を設定します。



- ① トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。

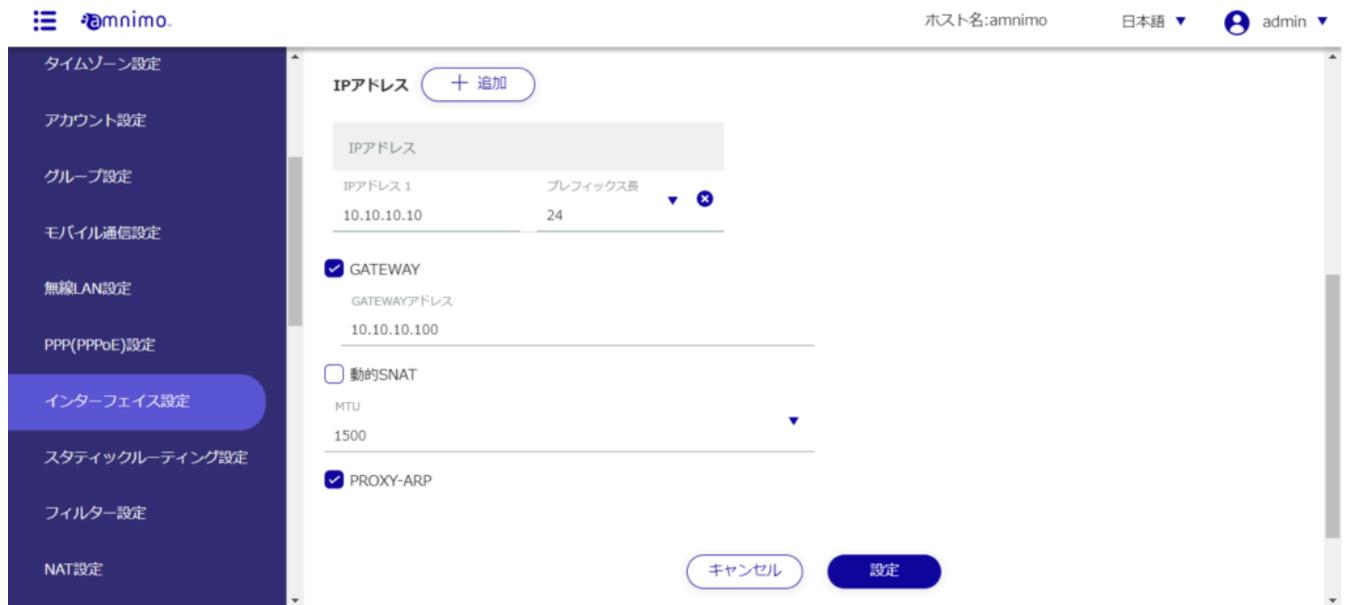
- ② モードを選択します。

NOTE

アクセスポイントモードを選択した場合、インターフェイスとSSIDは必ず以下の通り対応させてください。

- wlan0 : amnimo-2G-xxxxxx
- wlan1 : amnimo-5G-xxxxxx

ステーションモードは、インターフェイス「wlan0」のみで使用可能です。



③ IPアドレス（「追加」ボタンをクリックすることで複数設定可能）を入力し、プレフィックス長を設定します。

④ GATEWAYにチェックを入れた場合、デフォルトゲートウェイとなるIPアドレスを設定します。

⑤ 動的SNATにチェックを入れた場合、MTUを選択します。

MTUは576～9676の範囲で設定します。デフォルト値は1500です。

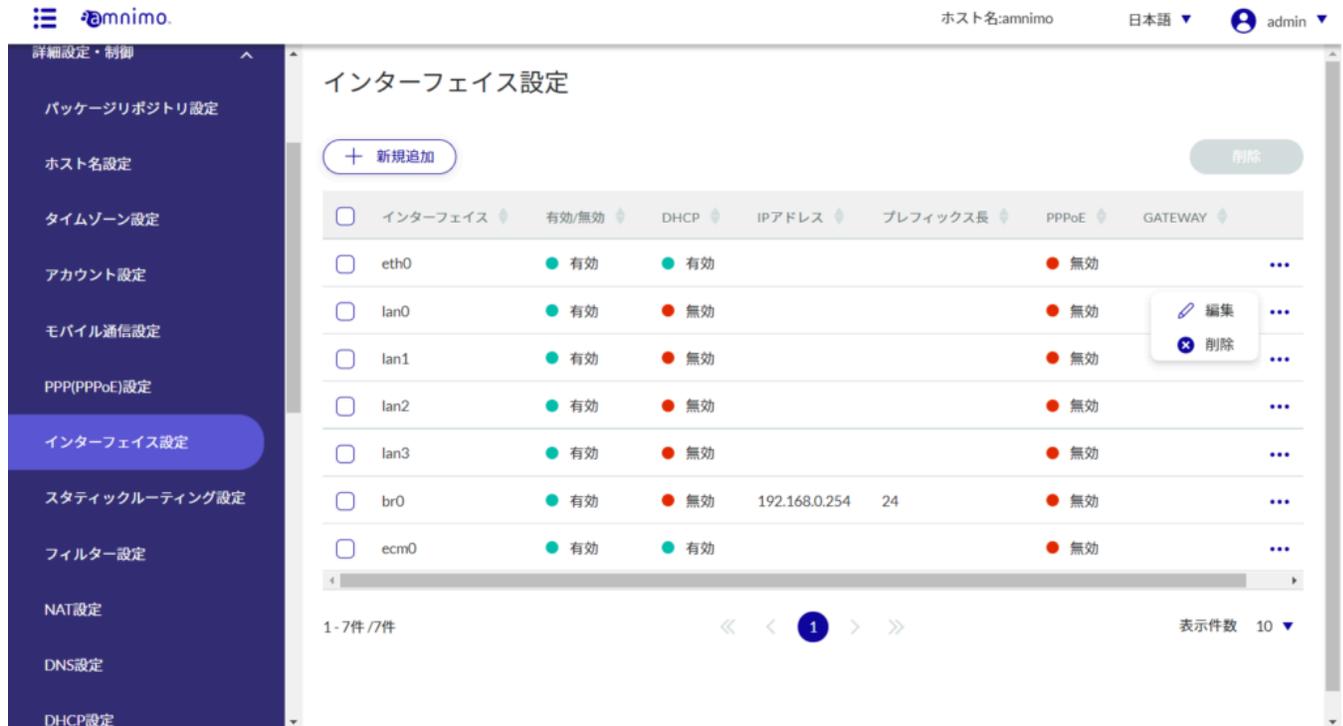
⑥ 必要に応じて、PROXY-ARPを有効にします。

設定が完了したら「設定」をクリックします。

インターフェイスを編集する

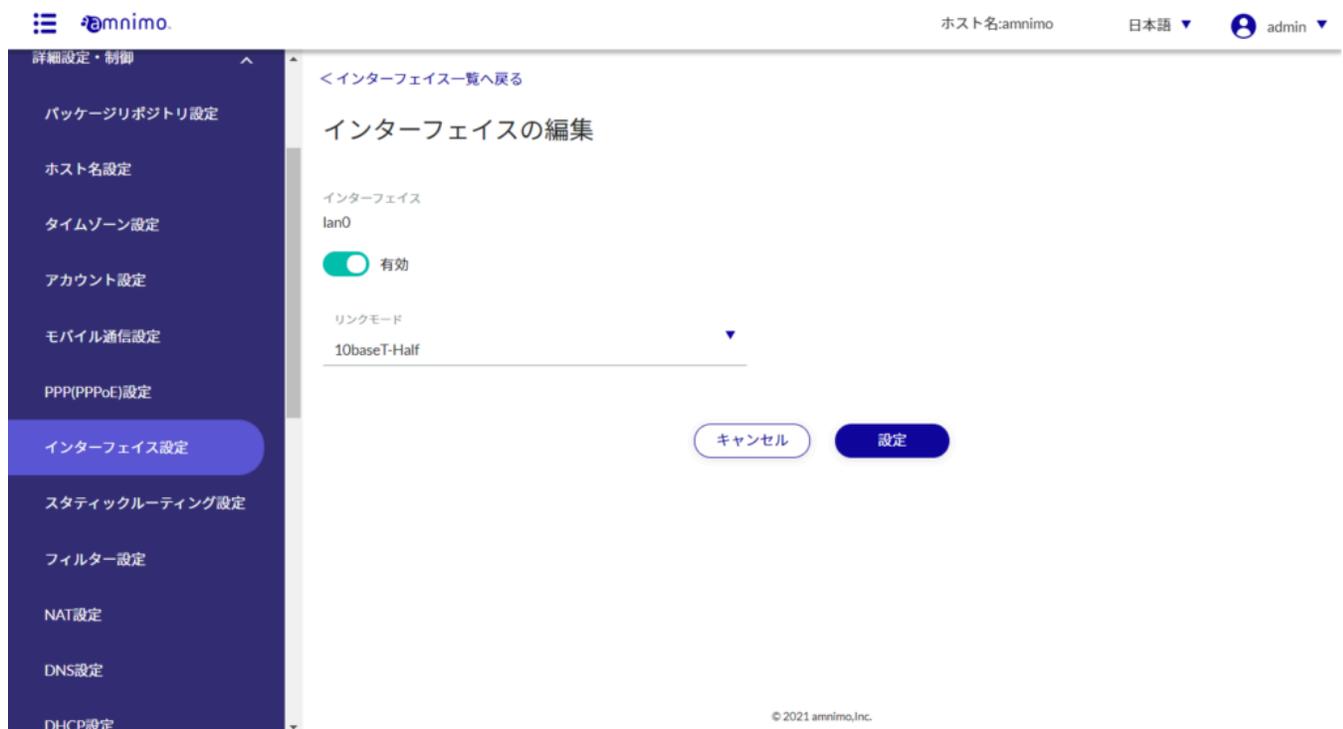
登録されているインターフェイス設定を編集します。

「インターフェイス設定」画面で、編集したいインターフェイス設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「編集」を選択します。



「インターフェイス設定の編集」画面が表示されます。

インターフェイス設定を編集して、「設定」ボタンをクリックします。



インターフェイス設定の情報が更新されます。

IPアドレスが変更されるため、設定完了後に新しいURLにアクセスしてください。

インターフェイスを削除する

登録されているインターフェイスの削除には、インターフェイスの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいインターフェイスをすべて選択してから削除する方法があります。

インターフェイスを個別に削除する

インターフェイスの操作メニューから削除を選択する方法です。

「インターフェイス設定」画面で、削除したいインターフェイスの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。

The screenshot shows the 'Interface Settings' page in the Amnimo GUI. The page has a dark blue sidebar on the left with various settings categories. The main content area is titled 'インターフェイス設定' (Interface Settings) and contains a table of interfaces. The table has columns for 'インターフェイス' (Interface), '有効/無効' (Status), 'DHCP', 'IPアドレス' (IP Address), 'プレフィックス長' (Prefix Length), 'PPPoE', and 'GATEWAY'. The 'lan1' interface is selected, and a context menu is open over it, showing '編集' (Edit) and '削除' (Delete) options. The 'Delete' option is highlighted. The page also shows a '新規追加' (Add New) button and a '削除' (Delete) button at the top right. The bottom of the page shows '1 - 7件 / 7件' and '表示件数 10'.

インターフェイス	有効/無効	DHCP	IPアドレス	プレフィックス長	PPPoE	GATEWAY
<input type="checkbox"/> eth0	有効	有効			無効	...
<input type="checkbox"/> lan0	有効	無効			無効	...
<input type="checkbox"/> lan1	有効	無効			無効	...
<input type="checkbox"/> lan2	有効	無効			無効	...
<input type="checkbox"/> lan3	有効	無効			無効	...
<input type="checkbox"/> br0	有効	無効	192.168.0.254	24	無効	...
<input type="checkbox"/> ecm0	有効	有効			無効	...

「確認」画面が表示されます。

「削除」ボタンをクリックします。

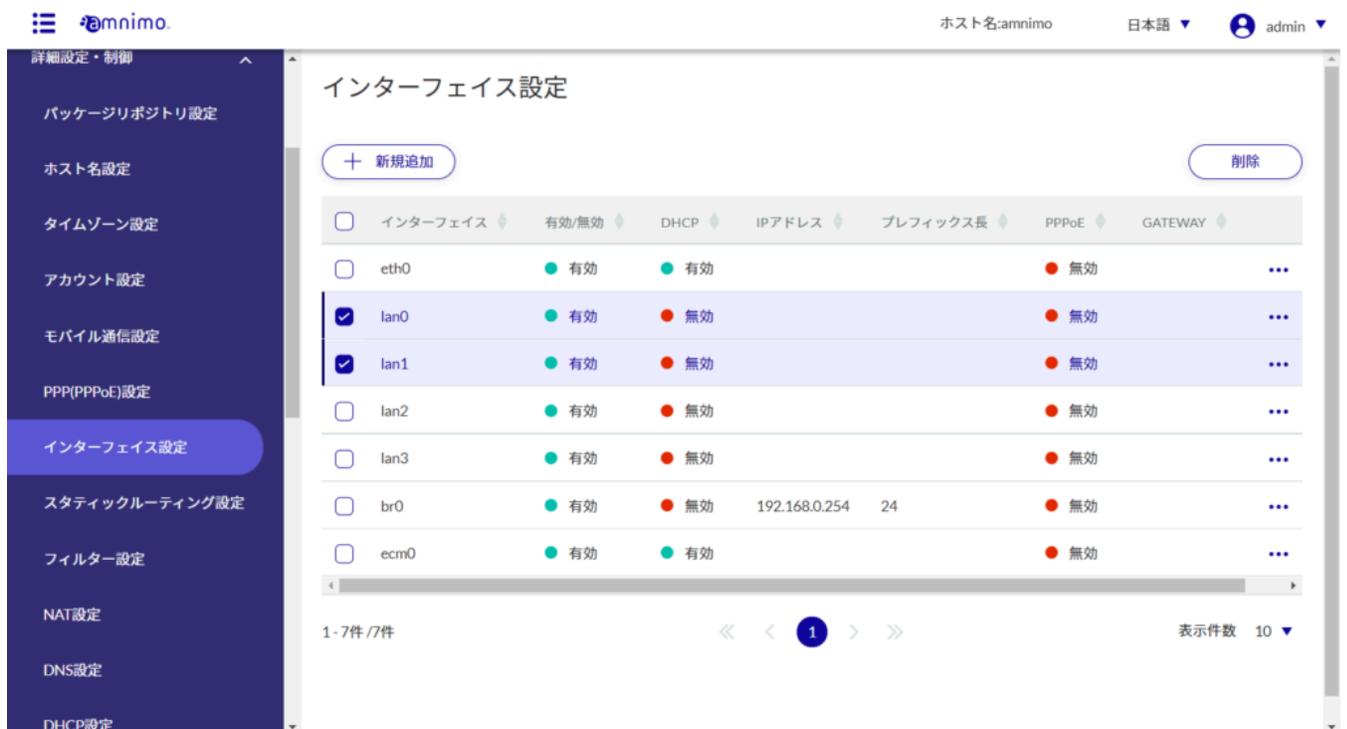


インターフェイスが削除されます。

インターフェイスを複数選択して削除する

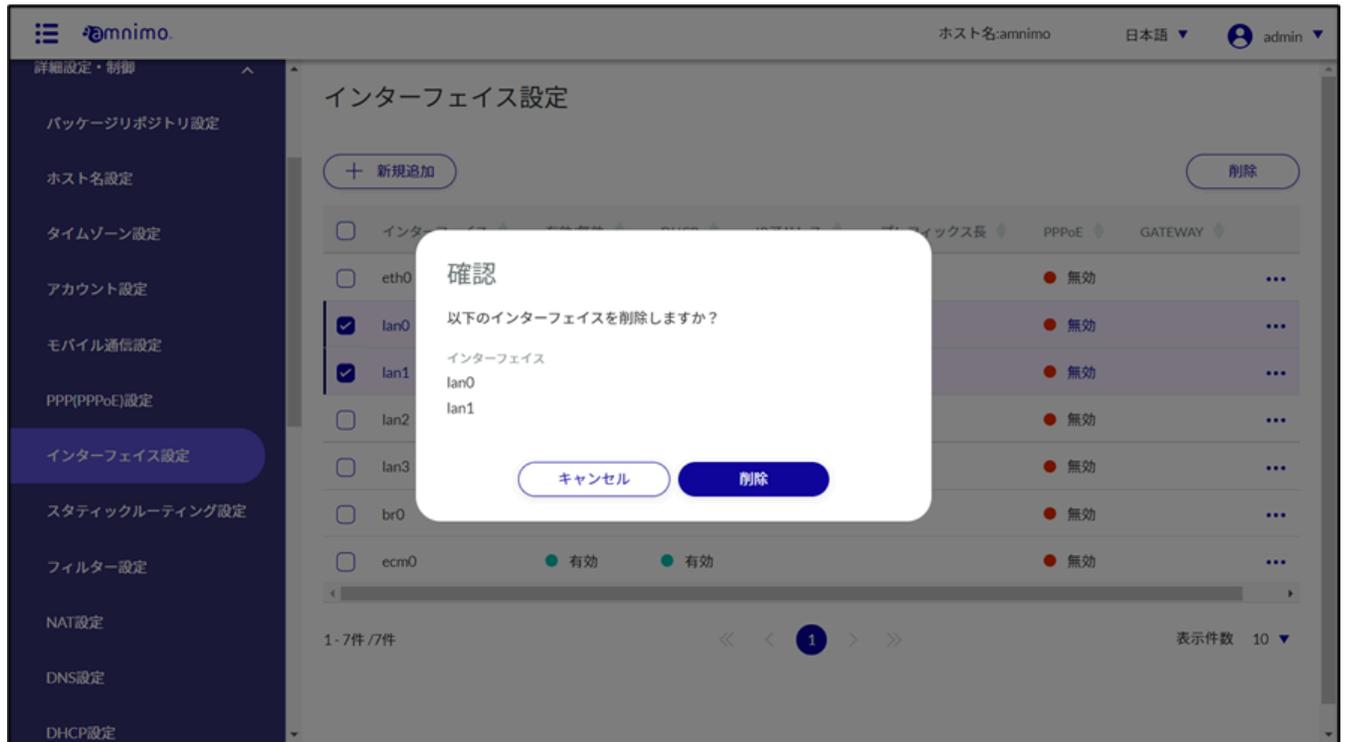
削除したいインターフェイスにチェックを付けてから削除する方法です。複数のインターフェイスを一括で削除する際に便利です。インターフェイスを1つだけ選択して削除することもできます。

「インターフェイス設定」画面で、削除したいインターフェイスの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2 **【削除】 ボタンをクリックします。**



選択したインターフェイスが削除されます。

スタティックルーティング設定をする

本製品のスタティックルーティング設定をします。

スタティックルーティング設定の一覧を表示する

スタティックルーティング設定の一覧を表示します。

1 **サイドメニューの【詳細設定・制御】 - 【スタティックルーティング設定】 をクリックします。**

「スタティックルーティング設定」画面に、登録されているスタティックルーティング設定の一覧が表示されます。

amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

詳細設定・制御

パッケージリポジトリ設定

ホスト名設定

タイムゾーン設定

アカウント設定

モバイル通信設定

PPP(PPPoE)設定

インターフェイス設定

スタティックルーティング設定

フィルター設定

NAT設定

DNS設定

DHCP設定

スタティックルーティング設定

+ 新規追加 削除

<input type="checkbox"/>	ルーティング名	宛先ネットワークアドレス	ゲートウェイアドレス	インターフェイス	メトリック	
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing01					...
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing02					...

1-2件 /2件 << < 1 > >> 表示件数 10 ▼

© 2021 amnimo, Inc.

NOTE

スタティックルーティング設定一覧の「ルーティング名」「宛先ネットワークアドレス」等のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順でスタティックルーティング設定を並び替えることができます。

<input type="checkbox"/>	ルーティング名	宛先ネットワークアドレス	ゲートウェイアドレス	インターフェイス	メトリック	
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing01					...
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing02					...

スタティックルーティング設定を追加する

スタティックルーティング設定を追加します。

- 1 「スタティックルーティング設定」画面で、【新規追加】ボタンをクリックします。



「スタティックルーティング設定の追加」画面が表示されます。

2 スタティックルーティングの設定に必要な項目を入力します。



- ① ルーティング名を入力します。
- ② 宛先ネットワークアドレスと、プレフィックス長を指定します。
- ③ ゲートウェイアドレスを指定します。
- ④ インターフェイスを選択します。
- ⑤ メトリックを設定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

スタティックルーティング設定が追加されます。

Amnimo GUI: スタティックルーティング設定

ホスト名: amnimo | 日本語 | admin

詳細設定・制御

- パッケージリポジトリ設定
- ホスト名設定
- タイムゾーン設定
- アカウント設定
- モバイル通信設定
- PPP(PPPoE)設定
- インターフェイス設定
- スタティックルーティング設定**
- フィルター設定
- NAT設定
- DNS設定
- DHCP設定

スタティックルーティング設定

+ 新規追加 | 削除

<input type="checkbox"/>	ルーティング名	宛先ネットワークアドレス	ゲートウェイアドレス	インターフェイス	メトリック	
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing01					...
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing02					...
<input checked="" type="checkbox"/>	amnimo_routing03	172.16.1.0/24	192.168.0.10	eth0	0	...

1 - 3件 / 3件 | 表示件数 10

© 2021 amnimo, Inc.

スタティックルーティング設定を編集する

登録されているスタティックルーティング設定を編集します。

「スタティックルーティング設定」画面で、編集したいスタティックルーティング設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。

Amnimo GUI: スタティックルーティング設定

ホスト名: amnimo | 日本語 | admin

詳細設定・制御

- パッケージリポジトリ設定
- ホスト名設定
- タイムゾーン設定
- アカウント設定
- モバイル通信設定
- PPP(PPPoE)設定
- インターフェイス設定
- スタティックルーティング設定**
- フィルター設定
- NAT設定
- DNS設定
- DHCP設定

スタティックルーティング設定

+ 新規追加 | 削除

<input type="checkbox"/>	ルーティング名	宛先ネットワークアドレス	ゲートウェイアドレス	インターフェイス	メトリック	
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing01					...
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing02					...
<input checked="" type="checkbox"/>	amnimo_routing03	172.16.1.0/24	192.168.0.10	eth0	0	編集 削除

1 - 3件 / 3件 | 表示件数 10

© 2021 amnimo, Inc.

「スタティックルーティング設定の編集」画面が表示されます。

2 スタティックルーティング設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



スタティックルーティング設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

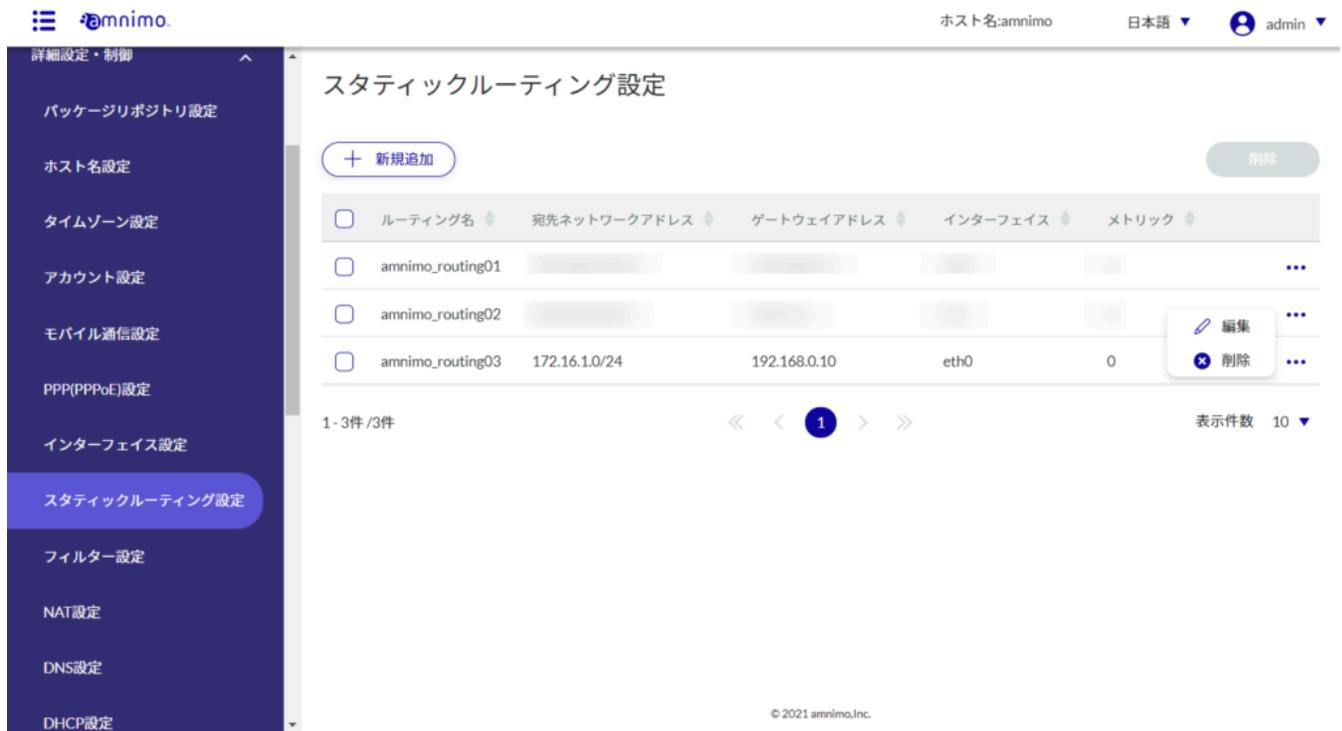
スタティックルーティング設定を削除する

登録されているスタティックルーティング設定の削除には、スタティックルーティング設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいスタティックルーティング設定をすべて選択してから削除する方法があります。

スタティックルーティング設定を個別に削除する

スタティックルーティング設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

「スタティックルーティング設定」画面で、削除したいスタティックルーティング設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



2 [削除] ボタンをクリックします。

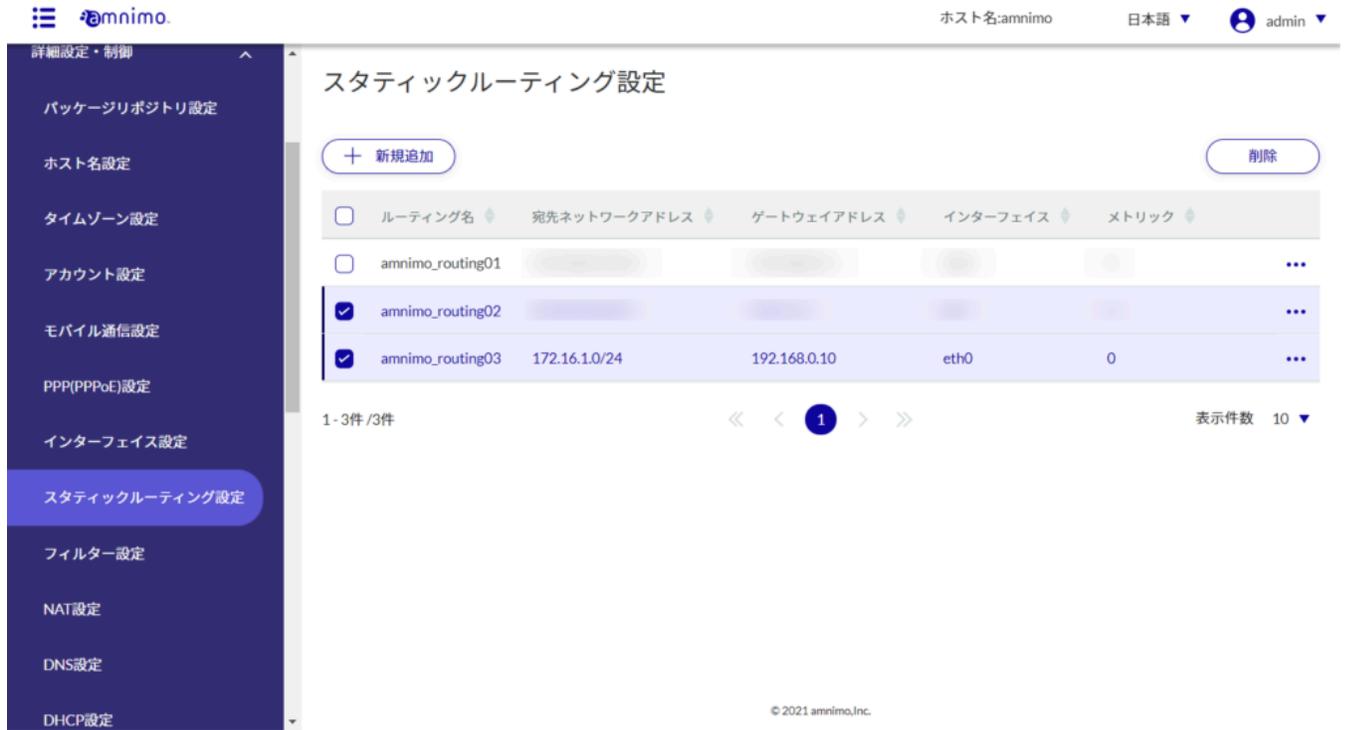


スタティックルーティング設定が削除されます。

スタティックルーティング設定を複数選択して削除する

削除したいスタティックルーティング設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のスタティックルーティング設定を一括で削除する際に便利です。スタティックルーティング設定を1つだけ選択して削除することもできます。

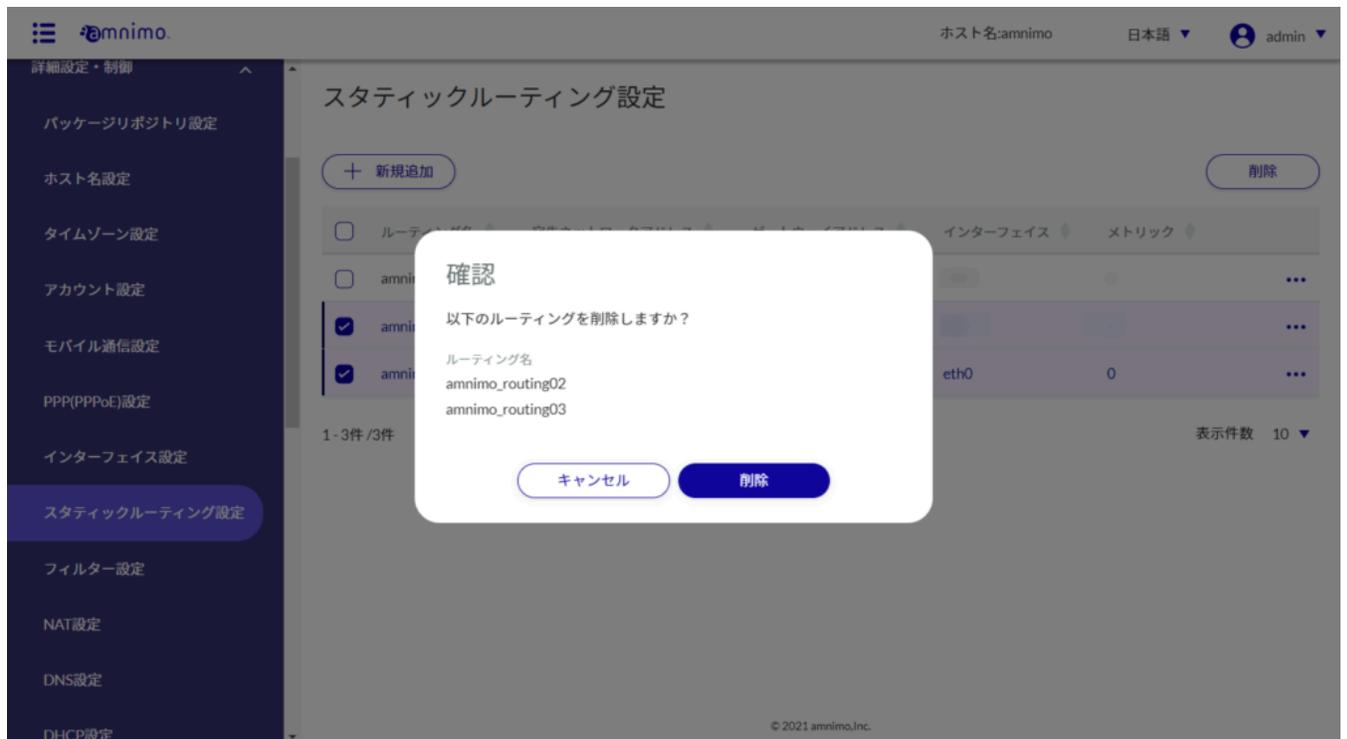
「スタティックルーティング設定」画面で、削除したいスタティックルーティング設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2

【削除】 ボタンをクリックします。



選択したスタティックルーティング設定が削除されます。

スタティックルーティング設定をする

2024年7月10日

本製品のスタティックルーティング設定をします。

スタティックルーティング設定の一覧を表示する

スタティックルーティング設定の一覧を表示します。

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「スタティックルーティング設定」をクリックします。

「スタティックルーティング設定」画面に、登録されているスタティックルーティング設定の一覧が表示されま

す。

amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

詳細設定・制御

パッケージリポジトリ設定

ホスト名設定

タイムゾーン設定

アカウント設定

モバイル通信設定

PPP(PPPoE)設定

インターフェイス設定

スタティックルーティング設定

フィルター設定

NAT設定

DNS設定

DHCP設定

スタティックルーティング設定

+ 新規追加 削除

<input type="checkbox"/>	ルーティング名	宛先ネットワークアドレス	ゲートウェイアドレス	インターフェイス	メトリック	
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing01					...
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing02					...

1 - 2件 / 2件 << < 1 > >> 表示件数 10

© 2021 amnimo, Inc.

NOTE

スタティックルーティング設定一覧の「ルーティング名」「宛先ネットワークアドレス」等のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順でスタティックルーティング設定を並び替えることができます。

<input type="checkbox"/>	ルーティング名	宛先ネットワークアドレス	ゲートウェイアドレス	インターフェイス	メトリック	
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing01					...
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing02					...

スタティックルーティング設定を追加する

スタティックルーティング設定を追加します。

- 1 「スタティックルーティング設定」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



「スタティックルーティング設定の追加」画面が表示されます。

- 2 スタティックルーティングの設定に必要な項目を入力します。



- 1 ルーティング名を入力します。
- 2 宛先ネットワークアドレスと、プレフィックス長を指定します。
- 3 ゲートウェイアドレスを指定します。

④ インターフェイスを選択します。

⑤ メトリックを設定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

スタティックルーティング設定が追加されます。

詳細設定・制御

パッケージリポジトリ設定

ホスト名設定

タイムゾーン設定

アカウント設定

モバイル通信設定

PPP(PPPoE)設定

インターフェイス設定

スタティックルーティング設定

フィルター設定

NAT設定

DNS設定

DHCP設定

ホスト名:amnimo 日本語 admin

スタティックルーティング設定

+ 新規追加 削除

<input type="checkbox"/>	ルーティング名	宛先ネットワークアドレス	ゲートウェイアドレス	インターフェイス	メトリック	
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing01					...
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing02					...
<input type="checkbox"/>	amnimo_routing03	172.16.1.0/24	192.168.0.10	eth0	0	...

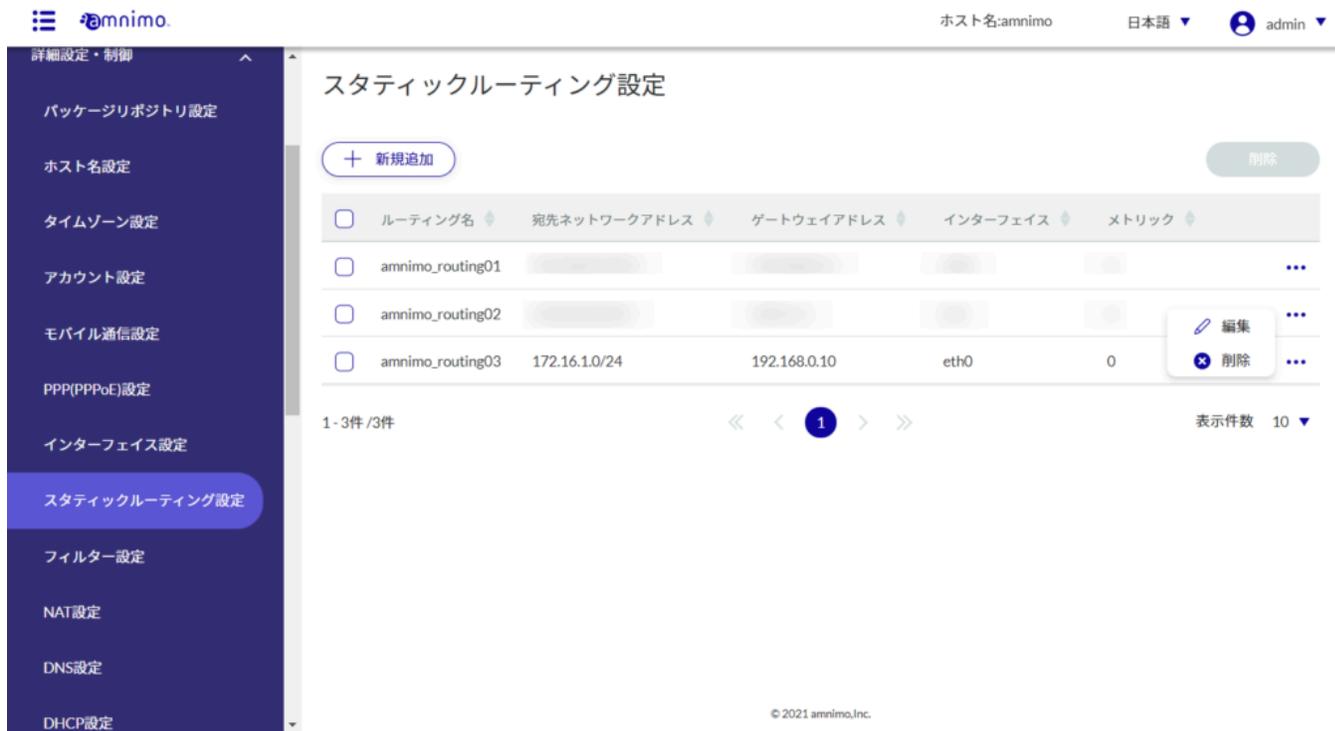
1-3件 / 3件 << < 1 > >> 表示件数 10

© 2021 amnimo, Inc.

スタティックルーティング設定を編集する

登録されているスタティックルーティング設定を編集します。

「スタティックルーティング設定」画面で、編集したいスタティックルーティング設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「スタティックルーティング設定の編集」画面が表示されます。

2

スタティックルーティング設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



スタティックルーティング設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

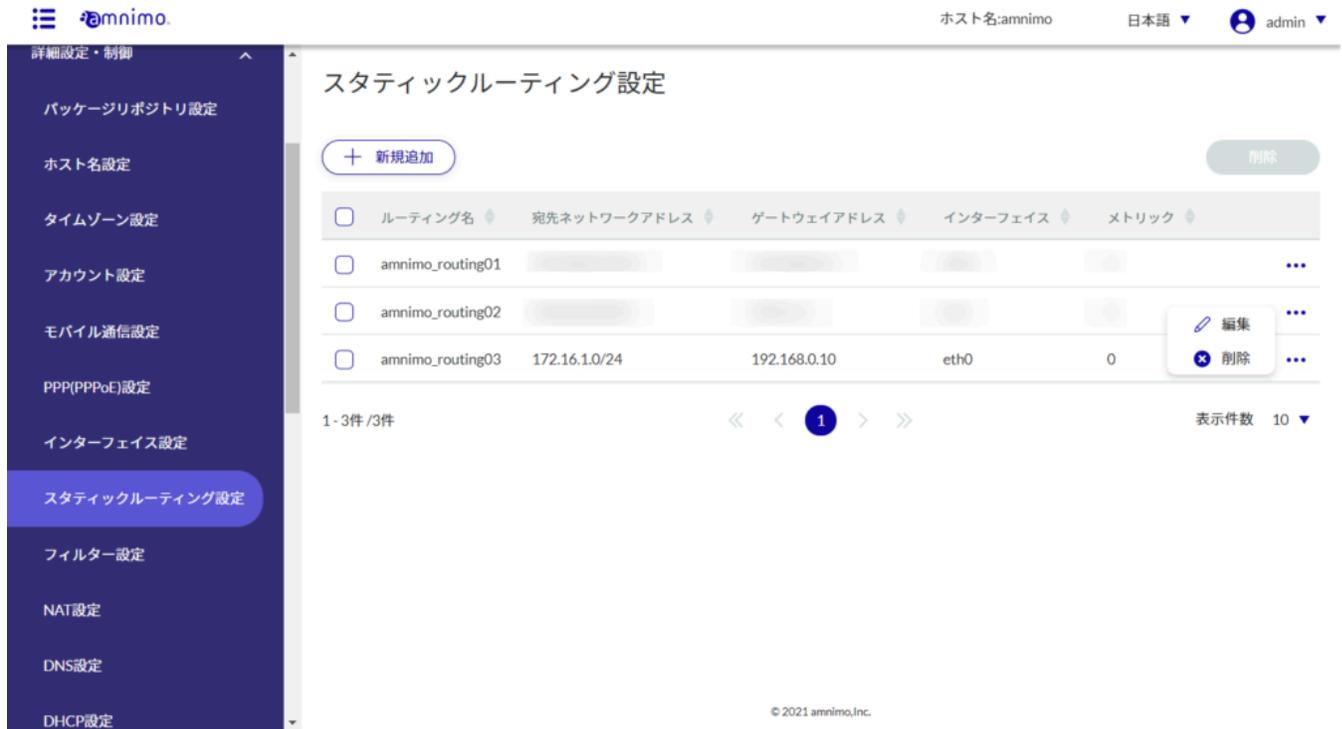
スタティックルーティング設定を削除する

登録されているスタティックルーティング設定の削除には、スタティックルーティング設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいスタティックルーティング設定をすべて選択してから削除する方法があります。

スタティックルーティング設定を個別に削除する

スタティックルーティング設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

「スタティックルーティング設定」画面で、削除したいスタティックルーティング設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

[削除] ボタンをクリックします。

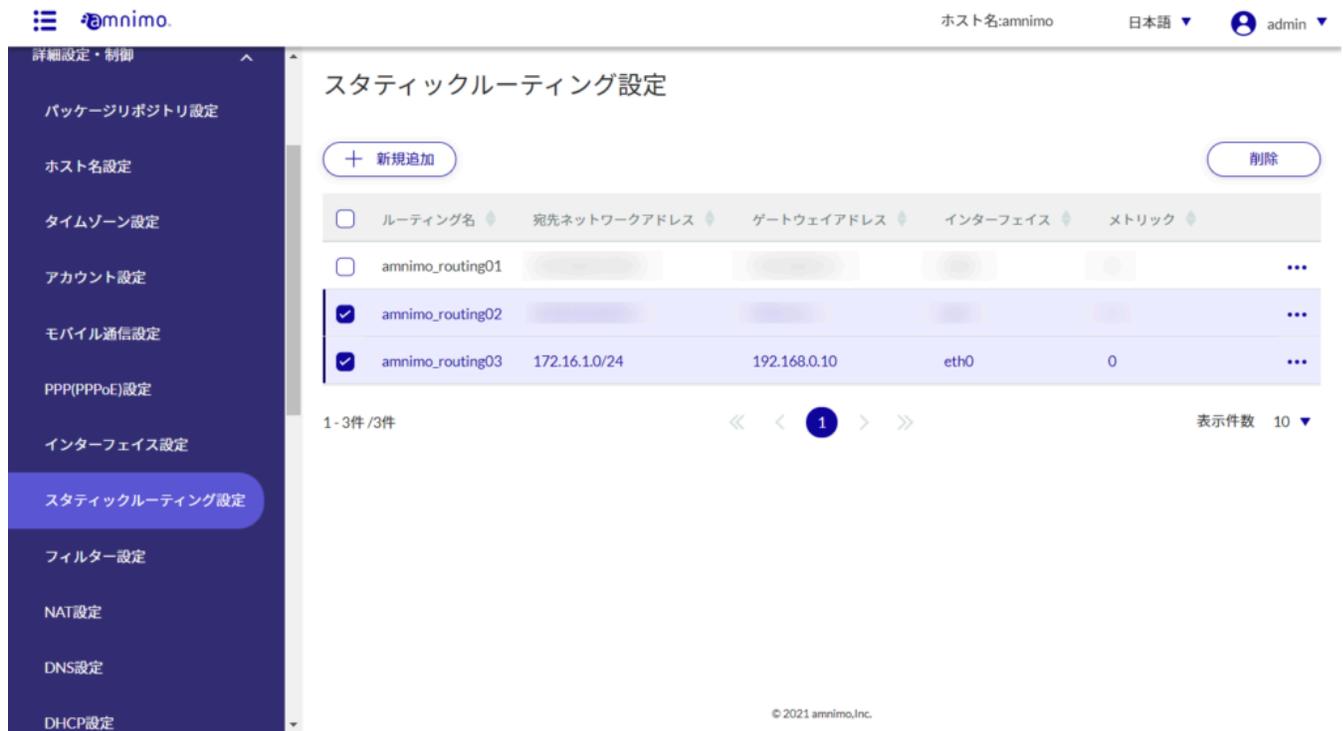


スタティックルーティング設定が削除されます。

スタティックルーティング設定を複数選択して削除する

削除したいスタティックルーティング設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のスタティックルーティング設定を一括で削除する際に便利です。スタティックルーティング設定を1つだけ選択して削除することもできます。

「スタティックルーティング設定」画面で、削除したいスタティックルーティング設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、**[削除]** ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

[削除] ボタンをクリックします。

フィルター設定をする

2024年7月10日

NOTE

グループ設定にて権限が付与されていないタブは表示されません。

本製品のフィルター設定をします。

ここでは、パケットの入力、出力、転送に対して、パケットの合致条件と、合致した場合にパケットをどのように扱うかをポリシーとして設定します。

合致条件およびポリシーの組み合わせのことをルールと呼びます。複数のルールを設定した場合、インデックスの小さい順に確認されます。あるルールが適用された場合、それ以降のインデックスのルールは確認されません。いずれのルールにも適用されなかった場合、デフォルトポリシーが適用されます。

フィルター設定の一覧を表示する

フィルター設定の一覧を表示します。

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「フィルター設定」をクリックします。

「フィルター設定」画面に、デフォルトポリシーの設定状況と、ルール一覧が表示されます。

画面上部の「入力設定一覧」「転送設定一覧」「出力設定一覧」タブで、各設定の画面に移動することが出来ます（下図は「入力設定一覧」画面です）。

インデックス番号	有効/無効	ポリシー	パケットの合致条件		
			送信元IPアドレス	送信先IPアドレス	入力インターフェイス
<input type="checkbox"/> 10	● 有効	許可			
<input type="checkbox"/> 20	● 有効	許可			lo
<input type="checkbox"/> 30	● 有効	破棄			
<input type="checkbox"/> 21	● 有効	許可			eth0
<input type="checkbox"/> 22	● 有効	許可			br0

NOTE

フィルター設定一覧の「インデックス番号」「有効/無効」等のタブをクリックすることで、各項目の降順/昇順でフィルター設定を並び替えることができます。

<input type="checkbox"/> インデックス番号	有効/無効	ポリシー	パケットの合致条件			
			送信元IPアドレス	送信先IPアドレス	入力インターフェイス	
<input type="checkbox"/> 21	● 有効	許可			eth0	...
<input type="checkbox"/> 22	● 有効	許可			br0	...

デフォルトポリシーを設定する

パケットフィルタリングのデフォルトポリシーを設定します。

入力、転送、出力のそれぞれに設定することが可能です。ここでは入力設定を例に説明しています。

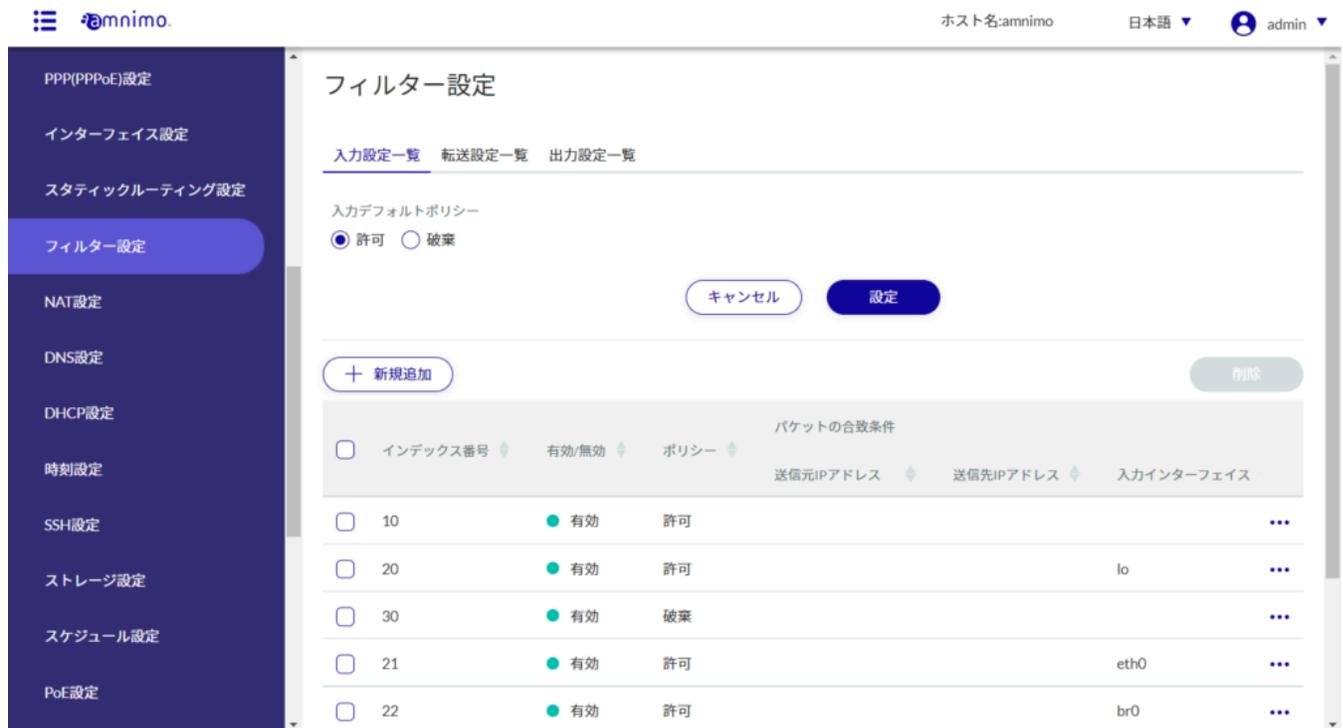
1 「フィルター設定」画面で、**「入力デフォルトポリシー」**の設定状況を確認します。

<input type="checkbox"/> インデックス番号	有効/無効	ポリシー	パケットの合致条件			
			送信元IPアドレス	送信先IPアドレス	入力インターフェイス	
<input type="checkbox"/> 10	● 有効	許可				...
<input type="checkbox"/> 20	● 有効	許可			lo	...
<input type="checkbox"/> 30	● 有効	破棄				...
<input type="checkbox"/> 21	● 有効	許可			eth0	...
<input type="checkbox"/> 22	● 有効	許可			br0	...

2 「許可」または「破棄」を選択し、**「設定」**をクリックします。

NOTE

入力設定、出力設定一覧でデフォルトポリシーを「破棄」に設定すると、HTTP/HTTPSの許可ルールが設定されていないとパケットが遮断されるため、設定が継続できない場合があります。

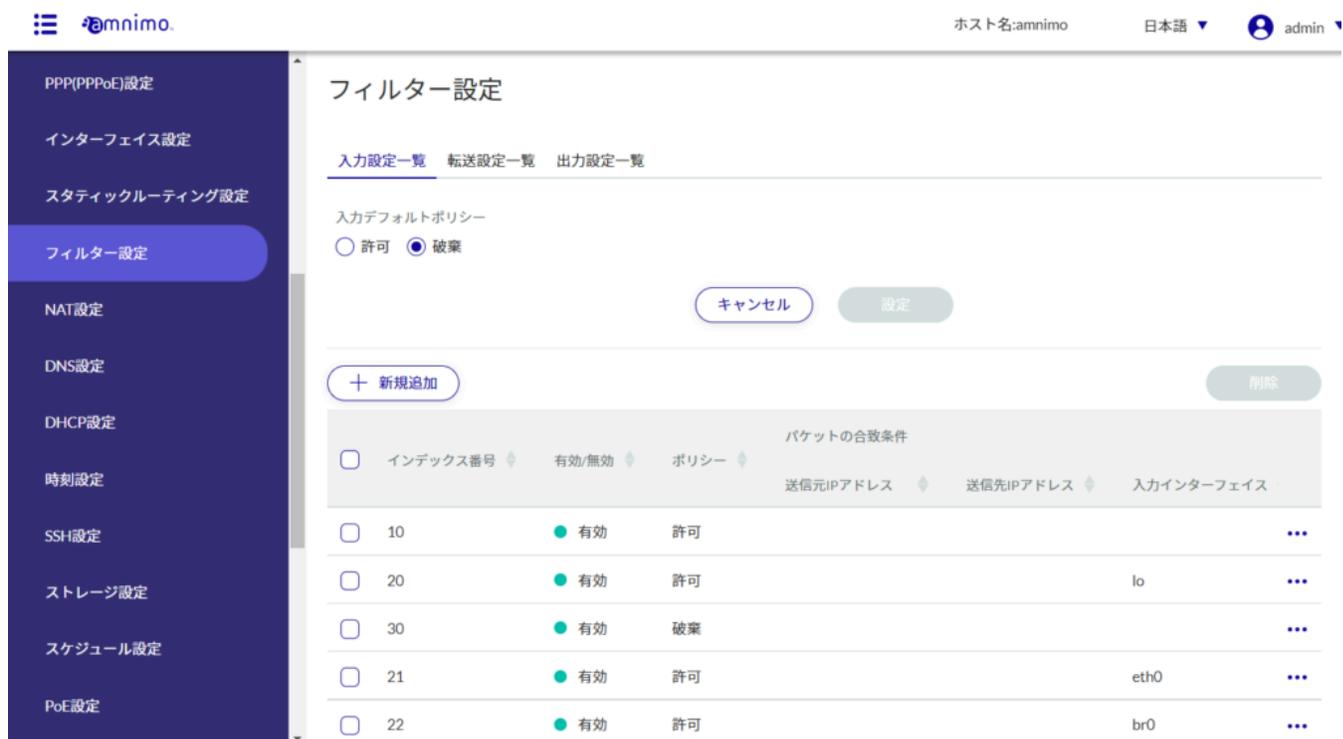


パケットフィルタリングのルールを追加する

パケットフィルタリングのルールを追加します。

入力、転送、出力のそれぞれに設定することが可能です。ここでは入力設定を例に説明しています。

1 「フィルター設定」画面で、**「新規追加」**をクリックします。



「入力設定の追加」画面で、ルールを設定します。

- 1 インデックス番号を指定します。

インデックス番号は1～1000の範囲で指定します。

- 2 トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- 3 パケットに対してのポリシーを設定します。

「拒否」を選択した場合はエラー応答するため、応答内容も選択します。



パケットの合致条件

送信元IPアドレス

一致しない

IPアドレス プレフィックス▼

送信先IPアドレス

一致しない

IPアドレス プレフィックス▼

入力インターフェイス

一致しない

インターフェイス ▼

プロトコル ▼

コントラック

書き換え前の送信元IPアドレス

一致しない

送信元IPアドレス プレフィックス▼

書き換え前の送信元ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

書き換え前の送信先IPアドレス

一致しない

送信先IPアドレス プレフィックス▼

書き換え前の送信先ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

応答の送信元IPアドレス

一致しない

送信元IPアドレス プレフィックス▼

応答の送信元ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

応答の送信先IPアドレス

一致しない

送信先IPアドレス プレフィックス▼

応答の送信先ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了



プロトコル

一致しない

プロトコル ▼

パケットの方向

指定なし 発信 応答

接続状態(state)

一致しない

ステート

invalid
 new
 established
 related
 untracked
 snat
 dnat

接続状況(status)

一致しない

ステータス

none
 expected
 seen_reply
 assured
 confirmed

値別制限(hashlimit)

動作設定

動作

指定なし
 単位時間当たりの平均以内の場合
 単位時間当たりの平均を超えた場合

パケットがマッチする回数のパケット最大初期値

モード

送信元IPアドレス
 送信先IPアドレス
 送信元ポート番号
 送信先ポート番号

全体制限(limit)

閾値

時間単位 ▼

スロット上限数

MACアドレス設定

一致しない

MACアドレス

パケットタイプ

一致しない

パケットタイプ ▼

- ④ パケットの合致条件を設定します。



⑤ ログ出力を設定します。

ログ出力レベルを選択し、ログの先頭に付加する文字列を指定します。

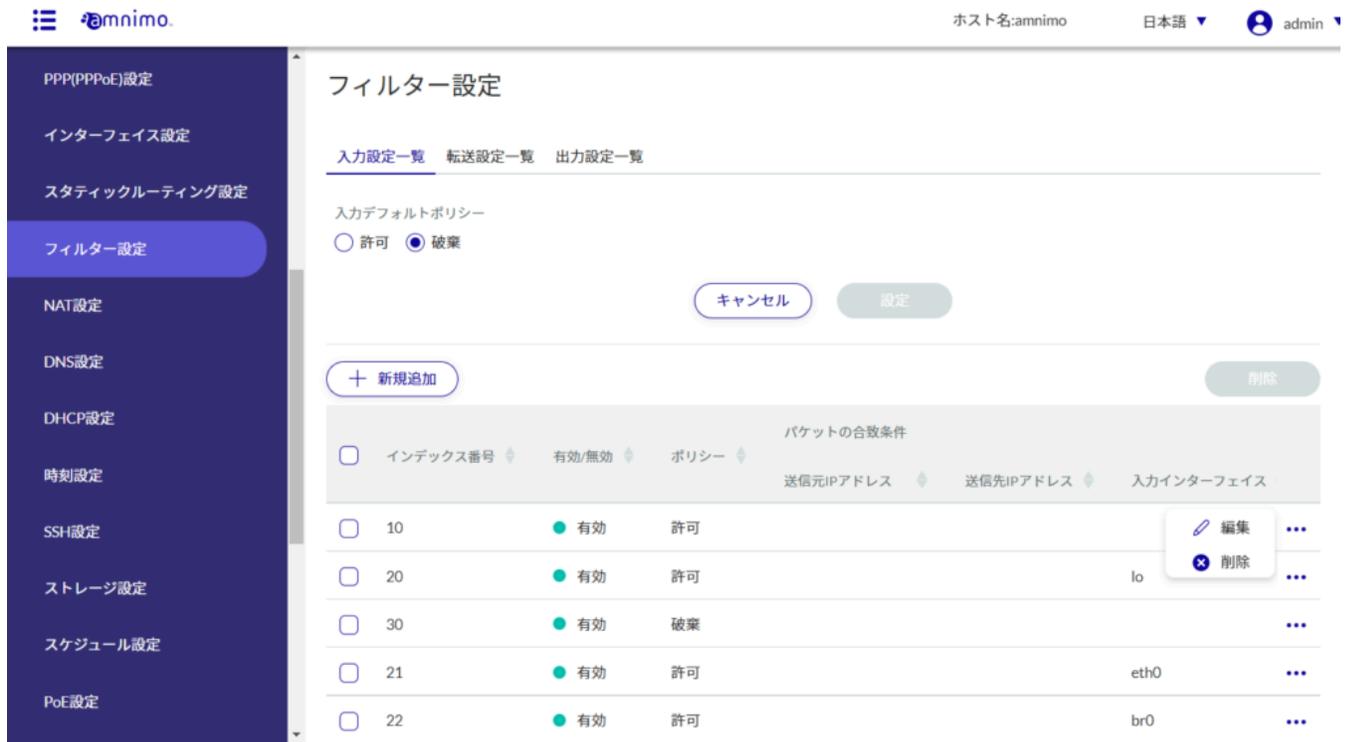
設定が完了したら [設定] をクリックします。

パケットフィルタリングのルールを編集する

パケットフィルタリングのルールを編集します。

入力、転送、出力のそれぞれで編集することが可能です。ここでは入力設定を例に説明しています。

「フィルター設定」画面で、編集したいルールの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「入力設定の編集」画面が表示されます。

2

ルールを編集して、**「設定」** ボタンをクリックします。



情報が更新され、一覧が表示されます。

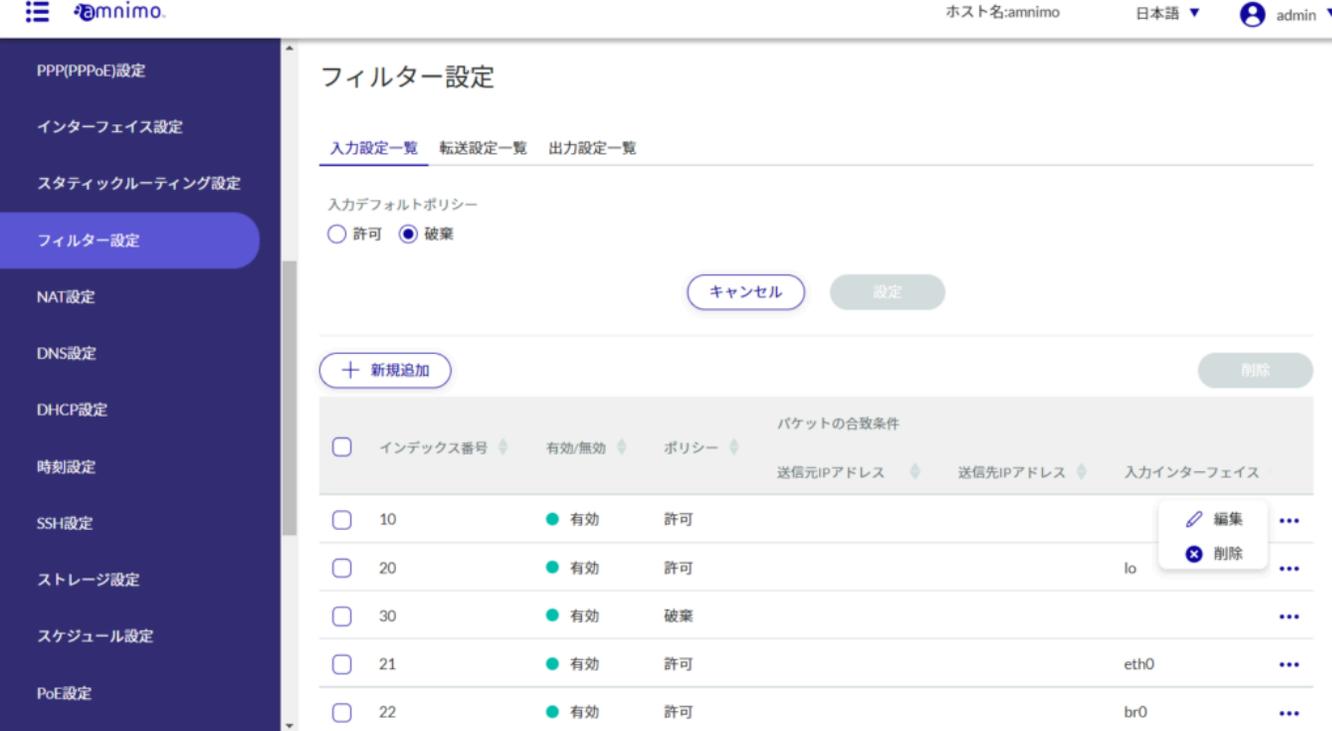
パケットフィルタリングのルールを削除する

登録されているルールの削除には、各ルールの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいルールをすべて選択してから削除する方法があります。

ルールを個別に削除する

各ルールの操作メニューから削除を選択する方法です。

「フィルター設定」画面で、削除したいルールの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



The screenshot shows the 'Filter Settings' page in the GUI. The page has a dark blue sidebar on the left with various settings categories. The main content area is titled 'フィルター設定' and includes a sub-header '入力設定一覧 転送設定一覧 出力設定一覧'. Below this, there is a section for '入力デフォルトポリシー' with radio buttons for '許可' and '破棄'. There are 'キャンセル' and '設定' buttons. A '+ 新規追加' button is at the top left of the table, and a '削除' button is at the top right. The table has columns for 'インデックス番号', '有効/無効', 'ポリシー', and 'パケットの合致条件' (with sub-columns for '送信元IPアドレス', '送信先IPアドレス', and '入力インターフェイス'). The table contains five rows of filter rules. A context menu is open over the second rule (index 20), showing '編集' and '削除' options.

インデックス番号	有効/無効	ポリシー	パケットの合致条件		
			送信元IPアドレス	送信先IPアドレス	入力インターフェイス
10	有効	許可			
20	有効	許可			lo
30	有効	破棄			
21	有効	許可			eth0
22	有効	許可			br0

「確認」画面が表示されます。

「削除」ボタンをクリックします。

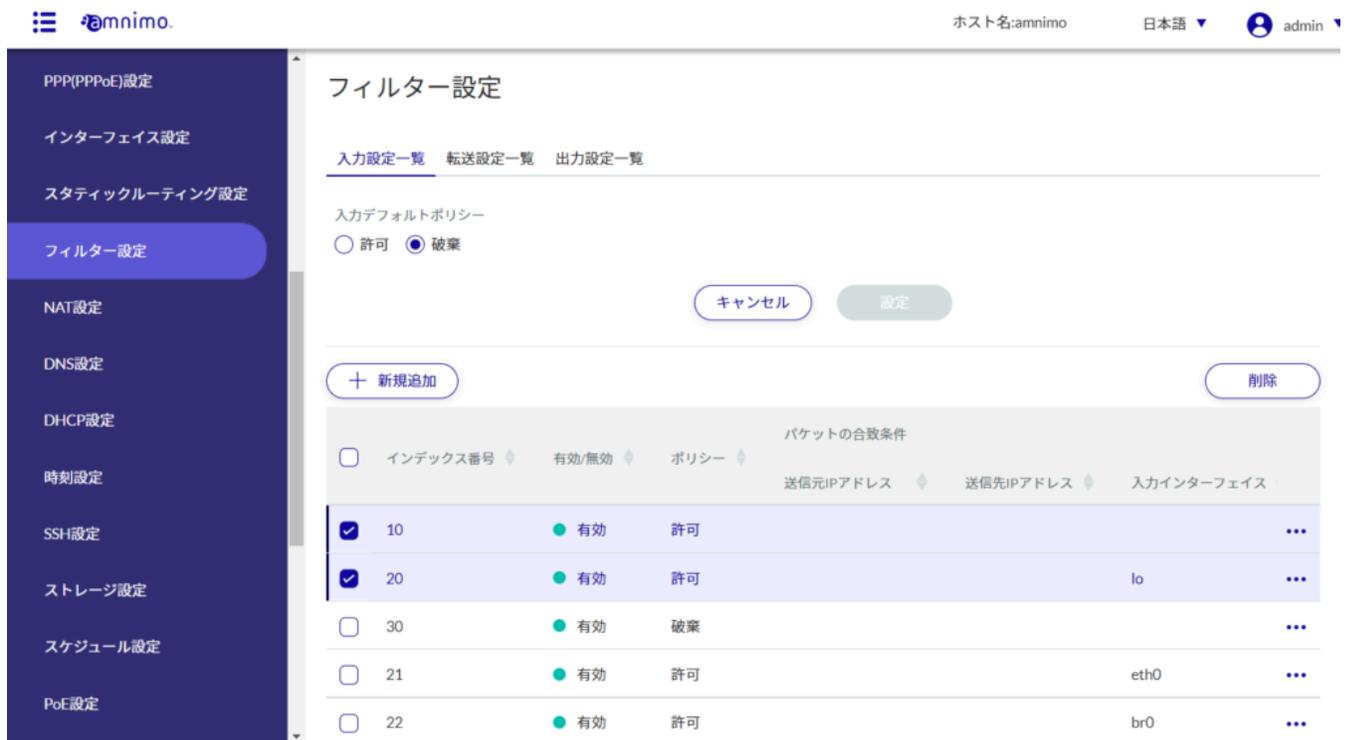


ルールが削除されます。

ルールを複数選択して削除する

削除したいルールにチェックを付けてから削除する方法です。複数のルールを一括で削除する際に便利です。ルール設定を1つだけ選択して削除することもできます。

「フィルター設定」画面で、削除したいルール設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、【削除】ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

NAT設定をする

2024年7月10日

NOTE

グループ設定にて権限が付与されていないタブは表示されません。

本製品のNAT設定をします。

ここでは、動的SNAT、静的SNAT、DNATの操作について説明します。

NAT設定の一覧を表示する

NAT設定の一覧を表示します。

1 サイドメニューの【詳細設定・制御】 - 【NAT設定】 をクリックします。

「NAT設定」画面に、登録されているNAT設定の一覧が表示されます。

画面上部の「動的SNAT」「静的SNAT」「DNAT」タブで、各設定の画面に移動することが出来ます（下図は「動的SNAT」画面です）。

The screenshot shows the NAT configuration page in the Amnimo GUI. The left sidebar contains a list of settings, with 'NAT設定' selected. The main area is titled 'NAT設定' and has three tabs: '動的SNAT', '静的SNAT', and 'DNAT'. The '動的SNAT' tab is active, showing a table of dynamic NAT rules. The table has columns for 'インデックス番号' (Index Number), '有効/無効' (Status), '出力インターフェイス' (Output Interface), '使用する送信元ポート番号または範囲' (Source Port Number or Range), 'パケットの合致条件' (Packet Match Condition), and '送信元IPアドレス' (Source IP Address). One rule is listed with index 100, status '有効' (Active), and interface 'eth0'. There are buttons for '+ 新規追加' (Add New) and '削除' (Delete). A pagination bar at the bottom indicates '1 - 1件 / 1件' and '表示件数 10'.

NOTE

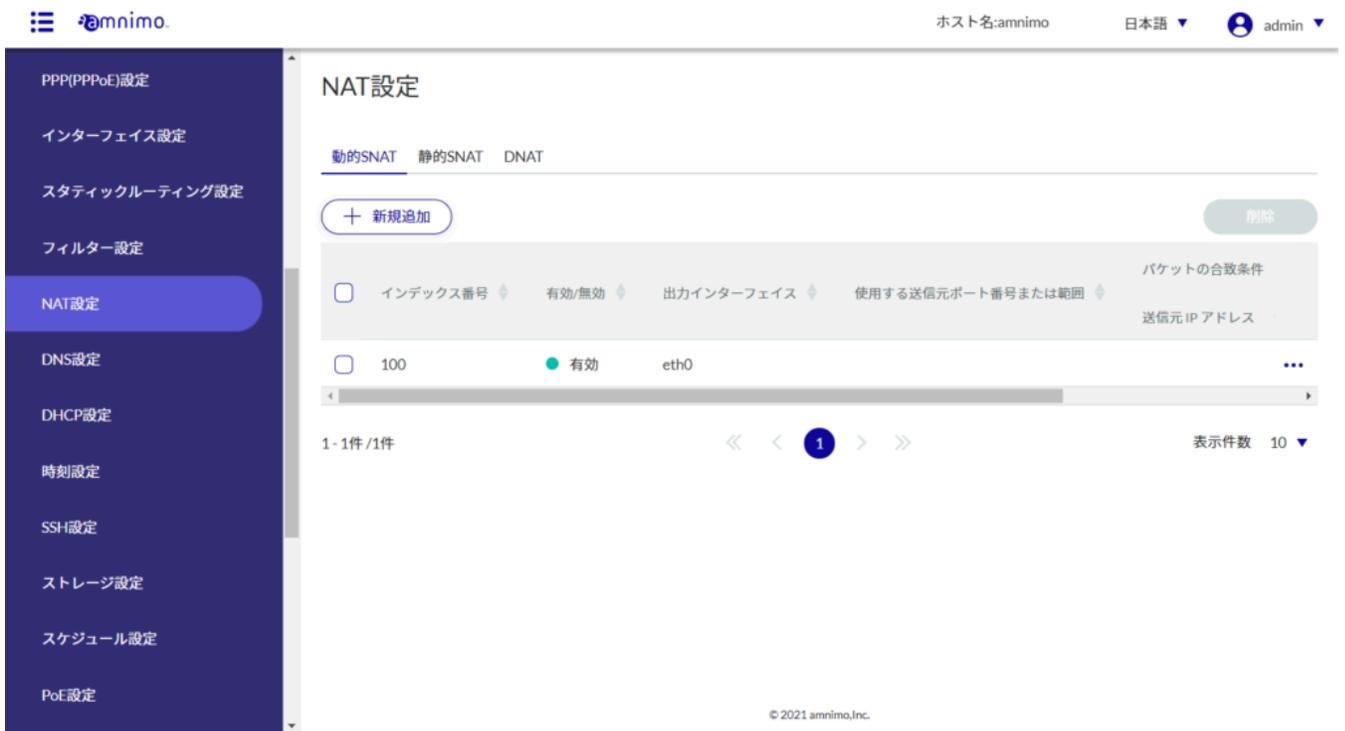
NAT設定一覧の「インデックス番号」「有効/無効」等のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順でNAT設定を並び替えることができます。



NAT設定を追加する

動的SNAT、静的SNAT、DNATを設定します。ここでは動的SNATを例に説明しています。

- 1 「NAT設定」画面で、「新規追加」をクリックします。



- 2 「入力設定の追加」画面で、ルールを設定します。



- ① インデックス番号を指定します。

インデックス番号は1～1000の範囲で指定します。

- ② トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- ③ 各NATを適用する送信元インターフェイスを設定します。
- ④ 各NATの送信元ポート番号を設定、またはIPアドレスで範囲を設定します。

スケジュール設定

パケットの合致条件

詳細設定

送信元IPアドレス

一致しない

IPアドレス プレフィックス長▼

送信先IPアドレス

一致しない

IPアドレス プレフィックス長▼

出力インターフェイス

一致しない

インターフェイス ▼

プロトコル ▼

コントラック

書き換え前の送信元IPアドレス

一致しない

送信元IPアドレス プレフィックス長▼

書き換え前の送信元ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

書き換え前の送信先IPアドレス

一致しない

送信先IPアドレス プレフィックス長▼

書き換え前の送信先ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

応答の送信元IPアドレス

一致しない

送信元IPアドレス プレフィックス長▼

応答の送信元ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

応答の送信先IPアドレス

一致しない

送信先IPアドレス プレフィックス長▼

応答の送信先ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

プロトコル

一致しない

プロトコル ▼

パケットの方向

指定なし 発信 応答

接続状態(state)

一致しない

ステート

invalid

new

established

related

untracked

snat

dnat

閾値

時間単位 ▼

スロット上限数

MACアドレス設定

一致しない

MACアドレス

バケットタイプ

一致しない

バケットタイプ ▼

- ⑤ パケットの合致条件を設定します。

上図の例は [詳細設定] にチェックを入れています。

ログ出力

ログ出力レベル ▼

無効

出力時の付加文字列

キャンセル 設定

- ⑥ ログ出力を設定します。

ログ出力レベルを選択し、ログの先頭に付加する文字列を指定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

NAT設定を編集する

NAT設定を編集します。

動的SNAT、静的SNAT、DNATのそれぞれで編集することが可能です。ここでは動的SNATを例に説明しています。

「NAT」画面で、編集したいルールの上に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。

The screenshot displays the NAT configuration interface. On the left, a dark blue sidebar contains a menu with 'NAT設定' highlighted. The main content area is titled 'NAT設定' and has tabs for '動的SNAT', '静的SNAT', and 'DNAT'. A '+ 新規追加' button is at the top left, and a '削除' button is at the top right. Below these is a table of dynamic SNAT rules:

<input type="checkbox"/>	インデックス番号	有効/無効	出力インターフェイス	使用する送信元ポート番号または範囲	パケットの合致条件
<input type="checkbox"/>	100	有効	eth0		送信元 IP アドレス
<input type="checkbox"/>	101	有効	lan0		

At the bottom of the table, there are pagination controls showing '1 - 2件 / 2件' and a '表示件数 10' dropdown. A copyright notice '© 2021 amnimo, Inc.' is at the bottom center.

「動的SNAT設定の編集」画面が表示されます。

NAT設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



情報が更新され、一覧が表示されます。

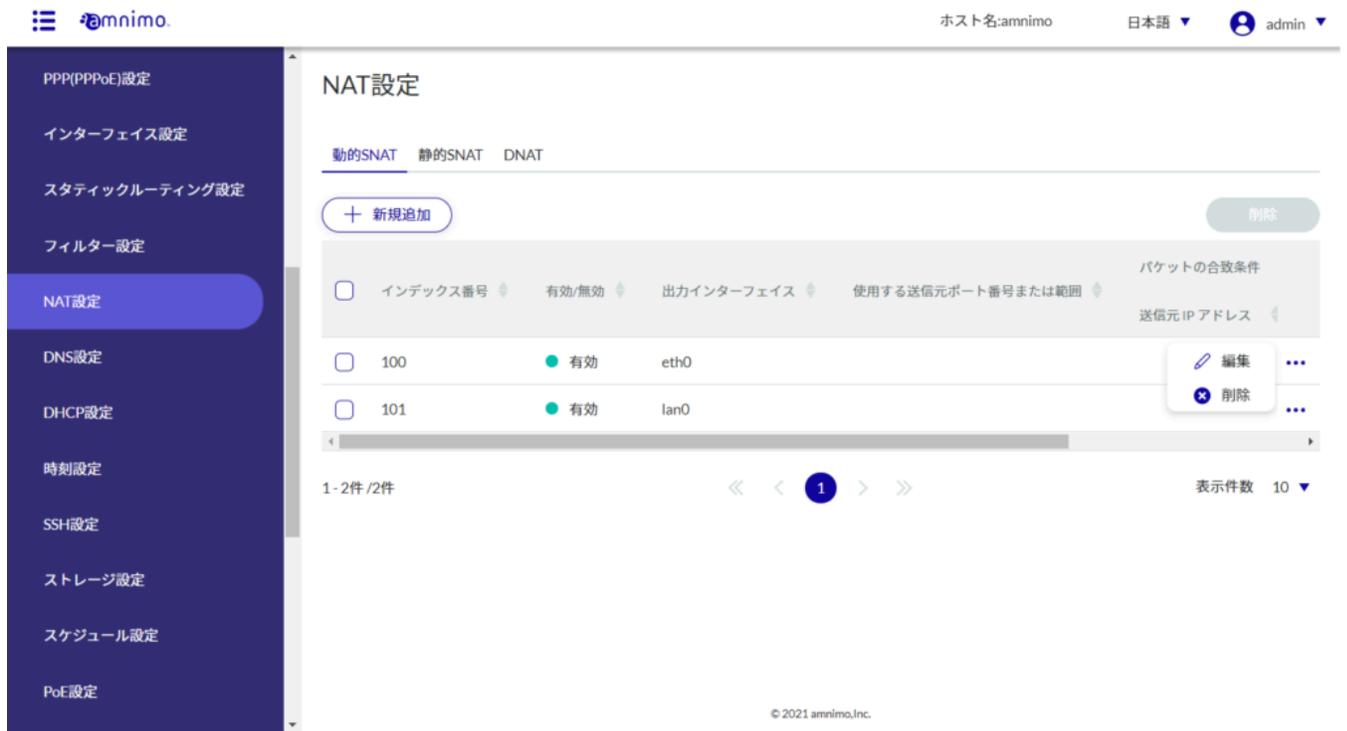
NAT設定を削除する

登録されているNAT設定の削除には、各NAT設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいNAT設定をすべて選択してから削除する方法があります。

NAT設定を個別に削除する

各NAT設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

「NAT設定」画面で、削除したいNAT設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



「確認」画面が表示されます。

2

【削除】 ボタンをクリックします。



NAT設定が削除されます。

NAT設定を複数選択して削除する

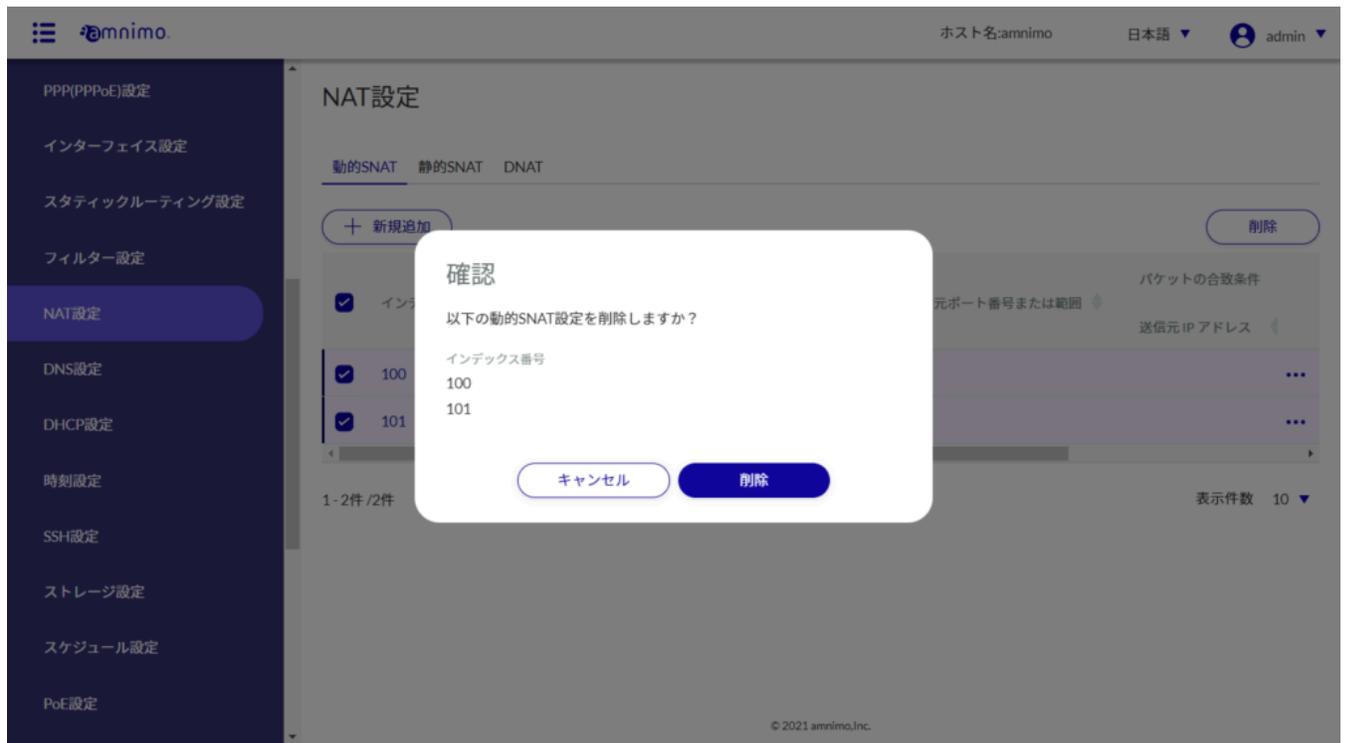
削除したいNAT設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のNAT設定を一括で削除する際に便利です。NAT設定を1つだけ選択して削除することもできます。

「フィルター設定」画面で、削除したいNAT設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、【削除】ボタンをクリックします。

The screenshot shows the NAT settings page in the amnimo GUI. The page title is "NAT設定". The left sidebar contains a menu with "NAT設定" selected. The main content area shows a table of NAT rules under the "動的SNAT" tab. The table has columns for "インデックス番号" (Index Number), "有効/無効" (Active/Inactive), "出力インターフェイス" (Output Interface), "使用する送信元ポート番号または範囲" (Source Port Number or Range to Use), and "送信元IPアドレス" (Source IP Address). Two rules are listed: index 100 on eth0 and index 101 on lan0. Both have checkboxes checked and are marked as "有効". A "削除" (Delete) button is visible in the top right corner of the table area. The page footer shows "© 2021 amnimo, Inc."

「確認」画面が表示されます。

【削除】ボタンをクリックします。選択したNAT設定が削除されます。



IPsec設定をする

2024年7月10日

IPsec設定の追加、編集、削除の操作について説明します。

IPsec設定の一覧を表示する

IPsec設定の一覧を表示します。

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「IPsec設定」をクリックします。

「IPsec設定」画面に、本製品に登録されているIPsec設定の一覧が表示されます。



IPsec設定を追加する

IPsec設定を追加します。

1 「IPsec設定」画面で、IKEかSAいずれか追加するタブを選択し「新規追加」ボタンをクリックします。

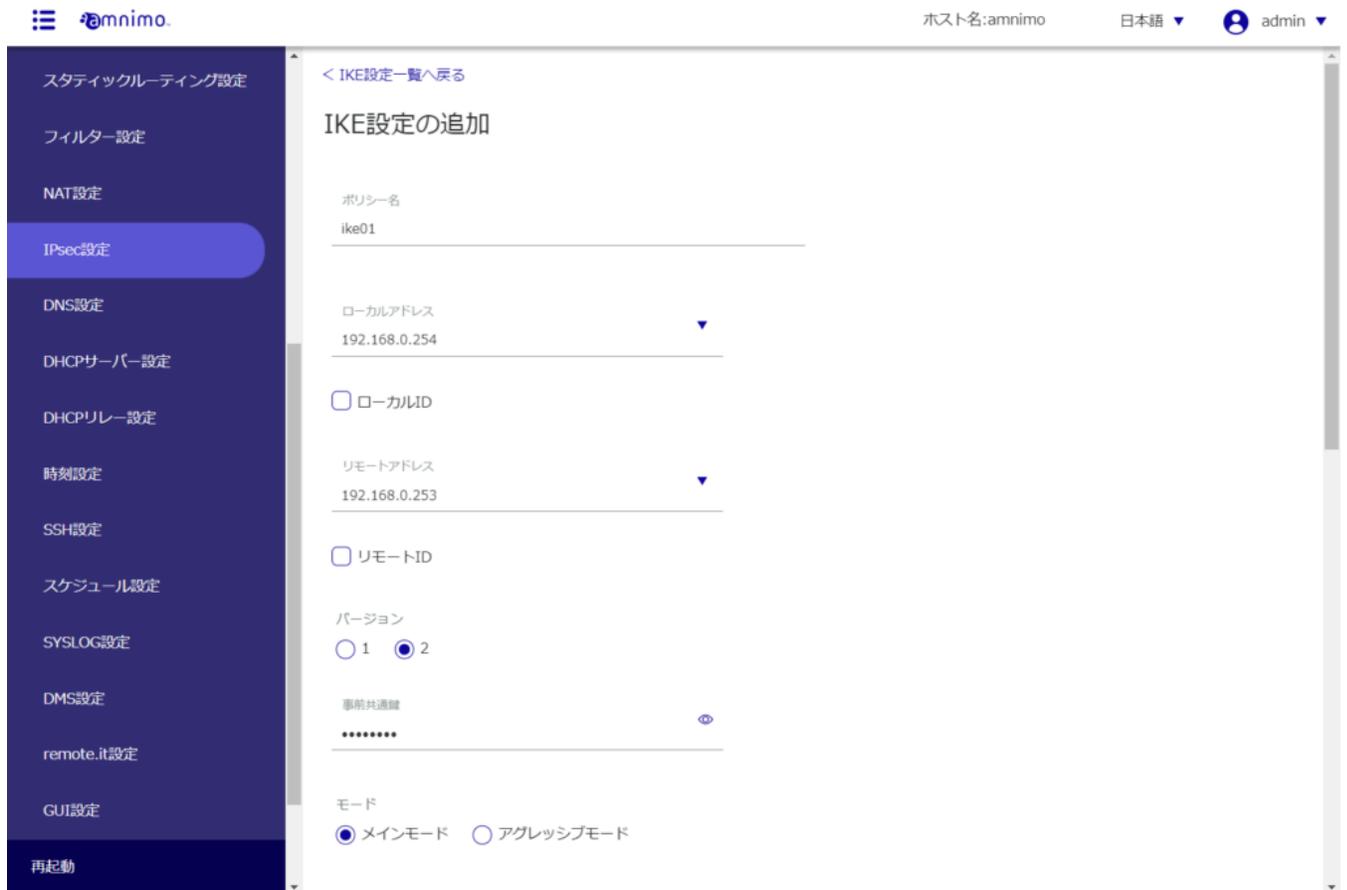


「IKE設定の追加」または「SA設定の追加」画面が表示されます。

IKE設定の追加

IKEのタブを選択した場合の設定方法です。

1 各項目を設定します。



- ① 任意のポリシー名を入力します。
- ② ローカル側のアドレスを入力します。

全アドレスを許可する場合は [全て] を選択します。

ローカルIDにチェックを入れることで、タイプの選択やIDを入力することも出来ます。

- ③ リモート側（接続先）のアドレスを入力します。

全アドレスを許可する場合は [全て] を選択します。

リモートIDにチェックを入れることで、タイプの選択やIDを入力することも出来ます。

- ④ IKEのバージョンを選択します。
- ⑤ 事前共通鍵（PSK）を設定します。
- ⑥ IKEモードを指定します。このモードは、④でバージョン1を選択した場合のみ有効です。



- ⑦ リトライ回数を、1～255 の範囲で設定します。

リトライ回数の上限なしの場合、「上限なし」を選択します。

- ⑧ IKEのライフタイムを設定します。秒、分、時間で指定することが出来ます。

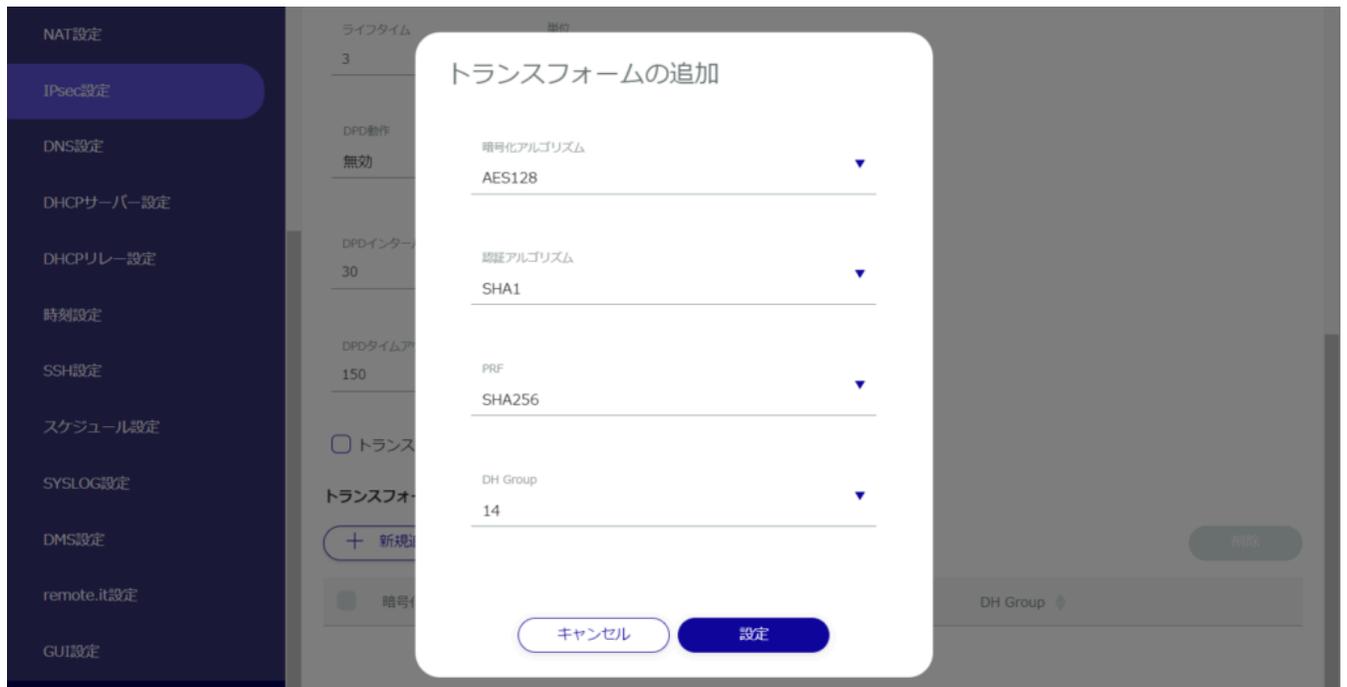
- ⑨ DPD（Dead Peer Detection）で切断されたときの動作を指定します。
- ⑩ DPDのインターバルを設定します。秒、分、時間で指定することが出来ます。
- ⑪ DPDのタイムアウトを設定します。秒、分、時間で指定することが出来ます。
- ⑫ [トランスフォーム設定] にチェックを入れると、指定のトランスフォームのみに限定する動作を有効にすることが出来ます。

2 トランスフォーム一覧にて [新規追加] をクリックし、トランスフォーム設定をします。



- ① 暗号化アルゴリズムを選択します。
- ② 認証アルゴリズムを選択します。
- ③ PRF（Pseudo-Random Functions）を指定します。これはIKEv2 の場合にのみ有効です。
- ④ Diffie Hellman Groupsを選択します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



3 設定が完了したら、**【設定】** をクリックします。



SA設定の追加

SAのタブを選択した場合の設定方法です。

1 各項目を設定します。

グループ設定
モバイル通信設定
インターフェイス設定
スタティックルーティング設定
フィルター設定
NAT設定
IPsec設定
DNS設定
DHCPサーバー設定
DHCPリレー設定
プロキシサーバー設定
時刻設定

< SA設定一覧へ戻る

SA設定の追加

ポリシー名
sa01

有効

使用するIKEポリシー
ike01

接続動作
 イニシエート オンデマンド ホールド

再接続

プロトコルタイプ
 ESP AH

通信モード
 トンネルモード トランスポートモード パススルーモード

- ① 任意のポリシー名を入力します。
- ② トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- ③ 鍵交換で使用する IKE 名を指定します。
- ④ IPsecの接続動作を選択します。

NOTE

IPsec接続は、以下の順で動作します。initiate動作を行うルートを追加する（通信によってinitiate動作を行う）SA設定のみを行う（initiate動作は行わない）なお、すべての設定で相手からのinitiate通信を受けた場合、可能であればresponder側として動作します。

- ⑤ [再接続] にチェックを入れると再接続が有効になります。
- ⑥ プロトコルタイプを選択します。
- ⑦ 通信モードを選択します。

NOTE

パススルーモードを選択した場合は、後述のローカルサブネットとリモートサブネットが必須になります。



- ⑧ SAのライフタイムを設定します。秒、分、時間で指定することができます。
- ⑨ ローカル側のサブネットを設定します。
- ⑩ リモート側のサブネットを設定します。
- ⑪ [トランスフォーム設定] にチェックを入れると、指定のトランスフォームのみに限定する動作を有効にすることが出来ます。

2

トランスフォーム一覧にて[新規追加]をクリックし、トランスフォーム設定をします。

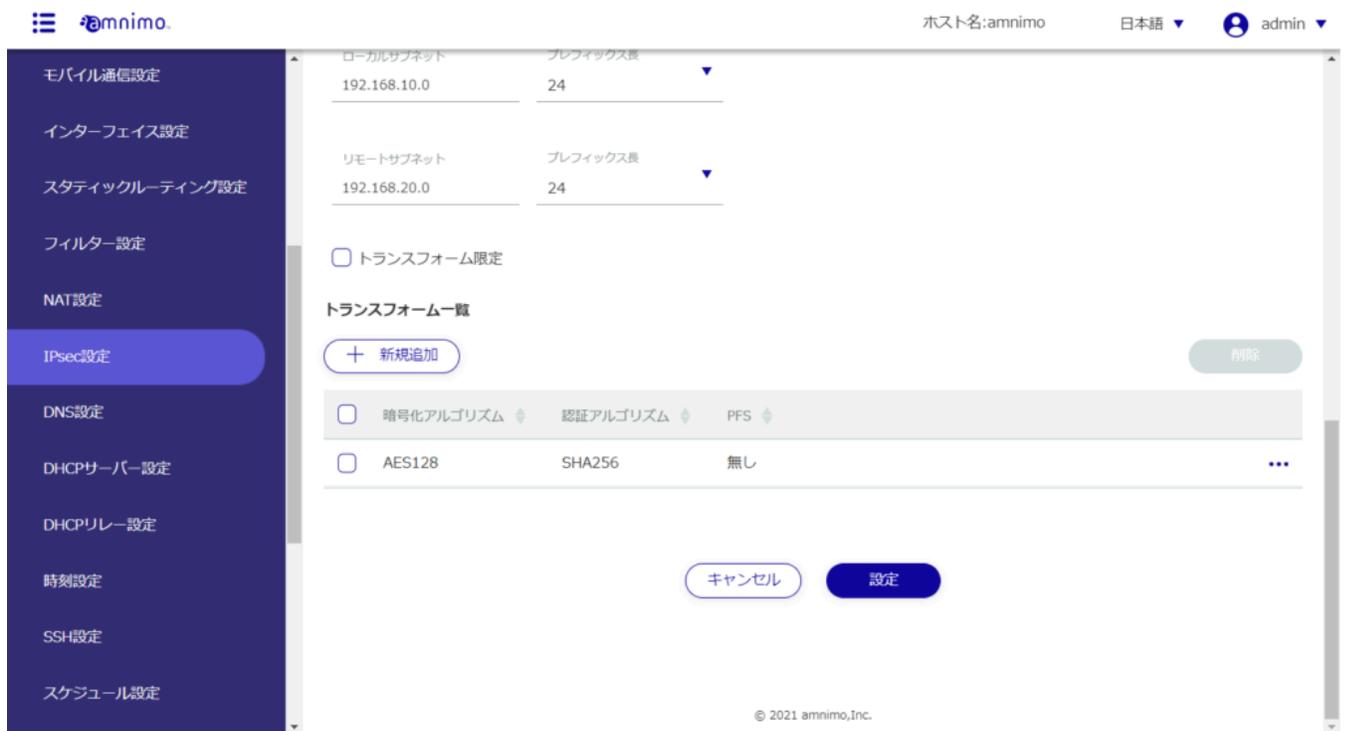


- ① 暗号化アルゴリズムを選択します。
- ② 認証アルゴリズムを選択します。
- ③ PFS（Perfect Forward Secrecy）を指定します。

設定が完了したら[設定]をクリックします。



3 設定が完了したら、[設定] をクリックします。



IPsec設定を編集する

登録されているIPsec設定を編集します。

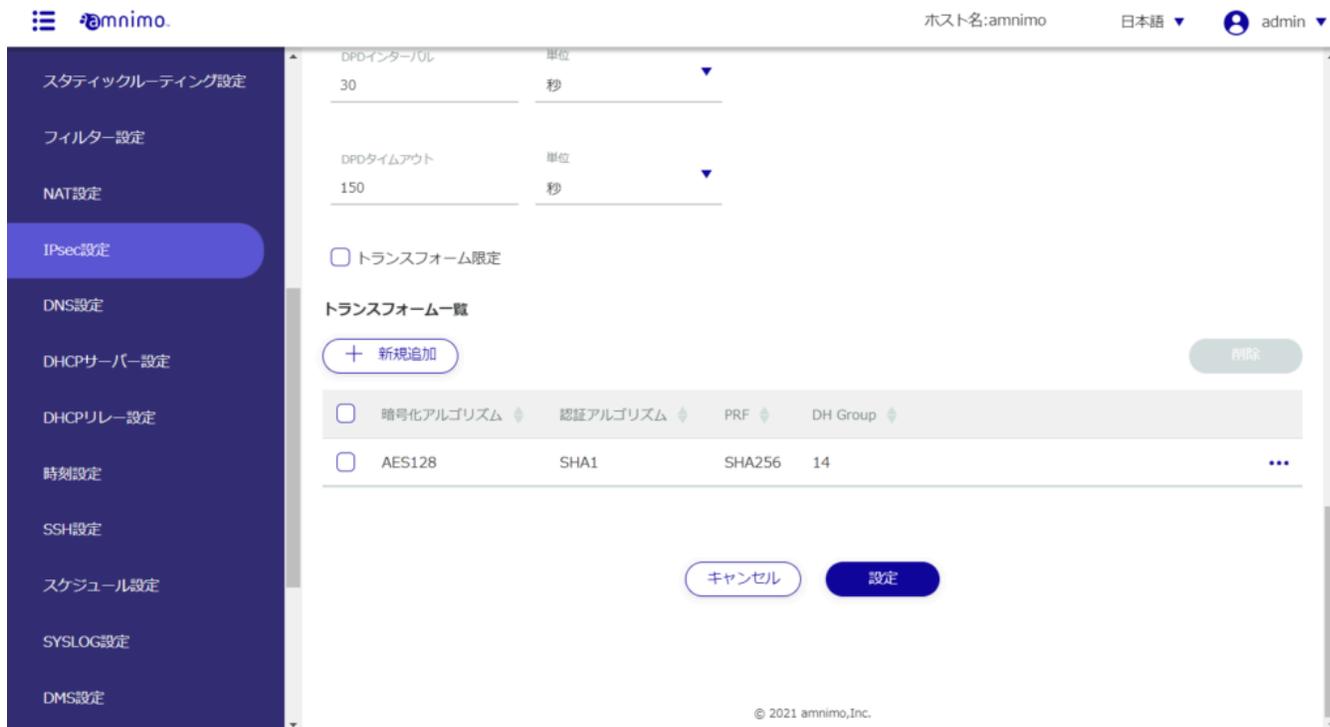
1 「IPsec設定」画面で、編集したいIPsec設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから[編集]を選択します。



「IKE設定の編集」または「SA設定の編集」画面が表示されます。

2

設定内容を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



変更したIKE設定またはSA設定の情報が更新されます。

IPsec設定を削除する

登録されているIPsec設定の削除には、IPsecの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいIPsec設定をすべて選択してから削除する方法があります。

IPsec設定を個別に削除する

IPsec設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

1 「IPsec設定」画面で、削除したいIPsec設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



「確認」画面が表示されます。

2 「削除」ボタンをクリックします。



IPsec設定が削除されます。

IPsec設定を複数選択して削除する

削除したいIPsec設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のIPsec設定を一括で削除する際に便利です。IPsec設定を1つだけ選択して削除することもできます。

「IPsec設定」画面で、削除したいIPsec設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、【削除】ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2 **【削除】 ボタンをクリックします。**

選択したIPsec設定が削除されます。

DNS設定をする

2024年7月10日

本製品のDNS設定をします。

ここでは、DNS設定の有効化やポート番号の指定、問い合わせ先サーバーの追加等の操作について説明します。

DNS設定を表示する

DNS設定を表示します。

1 サイドメニューの【詳細設定・制御】 - 【DNS設定】をクリックします。

「DNS設定」画面に、登録されているDNS設定が表示されます。

The screenshot shows the 'DNS設定' (DNS Settings) page in the amnimo GUI. The left sidebar contains a menu with 'DNS設定' highlighted. The main content area displays the following settings:

- 有効 (On) - Toggle switch
- ポート番号: 53
- ルートをサーバーへの問い合わせを有効にする

Buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '設定' (Apply) are visible. Below the settings are tabs for '問い合わせ先サーバー', 'ローカルアドレス', 'ローカルゾーン', and '別名定義'. The '問い合わせ先サーバー' tab is active, showing a table with one entry:

アドレス	優先度	
8.8.8.8	10	...

At the bottom of the table, there is a pagination indicator '1' circled in blue, and a '表示件数 10' (Display 10 items) dropdown.

NOTE

DNS設定の問合せ先サーバー、ローカルアドレスは「アドレス」「優先度」のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順でDNS設定を並び替えることができます。

アドレス	優先度	
8.8.8.8	10	...

DNS設定をする

DNSの設定をします。

「DNS設定」画面にて、以下のことが出来ます。



- 1 トグルをクリックすることで、DNSを有効または無効に設定します。
- 2 ポート番号を指定します。
- 3 ルートサーバーへの問い合わせを有効にするかどうかの選択が出来ます。

変更後は「設定」ボタンをクリックすることで適用されます。

問い合わせ先サーバーの設定をする

「問い合わせ先サーバー」のタブを選択し、「新規追加」をクリックします。



「問い合わせ先サーバーの追加」画面が表示されます。



- 1 問い合わせ先の上位DNSサーバーを指定します。
- 2 優先度を0～99の数値で指定します。0が最高優先度です。

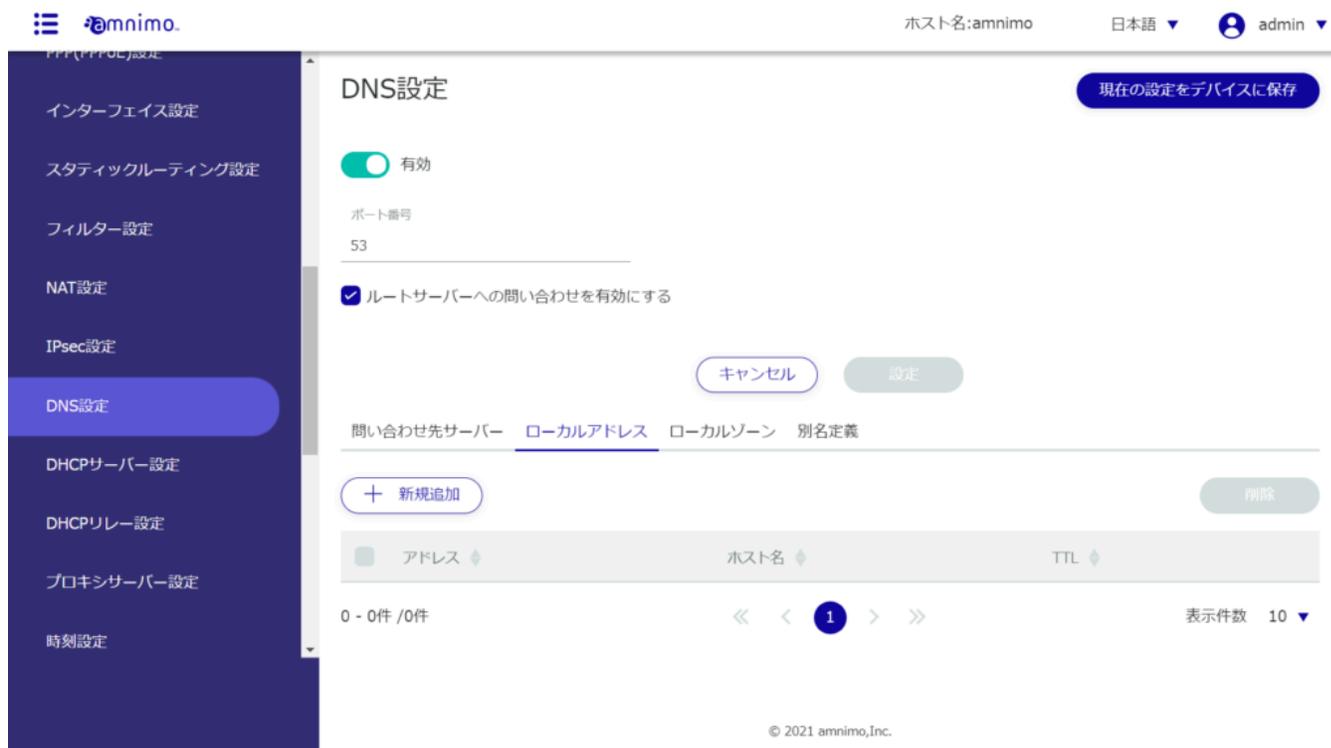
設定が完了したら [設定] をクリックします。

DNS設定画面から、設定した問い合わせ先サーバーの編集や削除をすることができます。

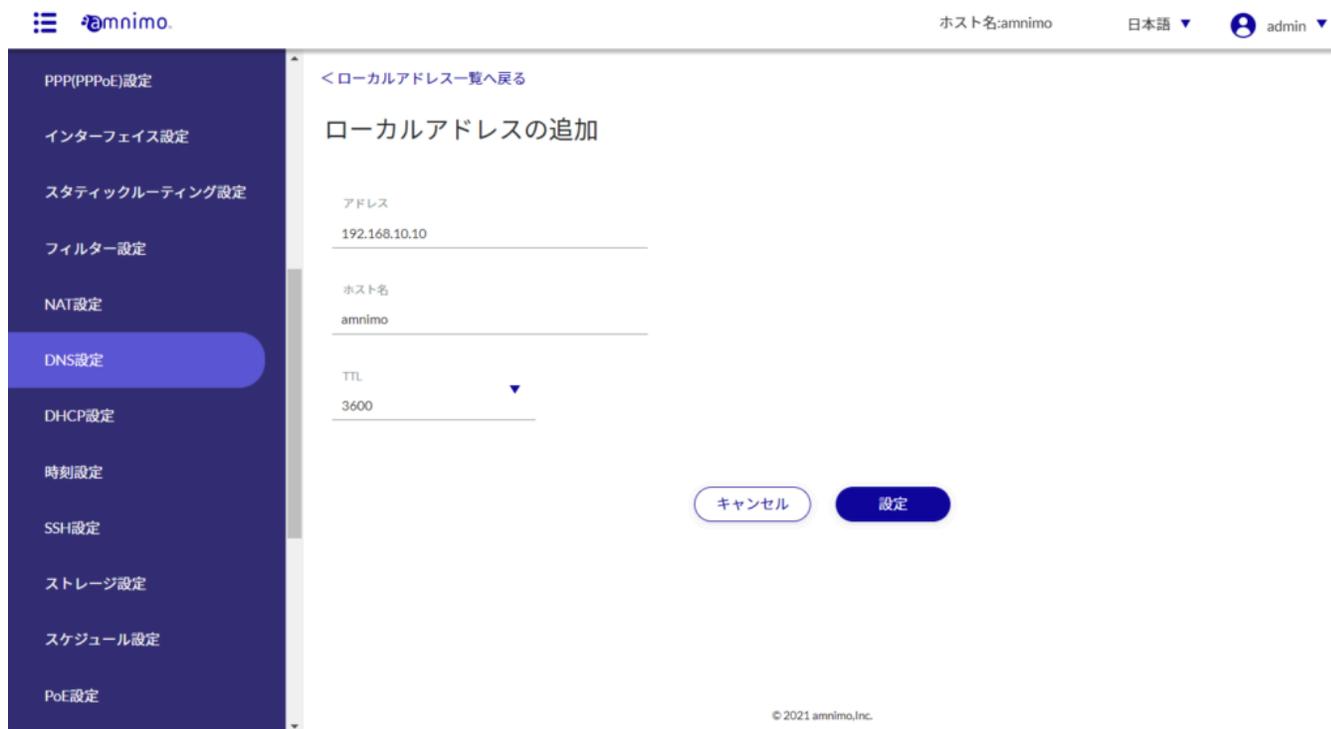


ローカルアドレスの設定をする

- 1 「ローカルアドレス」のタブを選択し、「新規追加」をクリックします。



- 2 「ローカルアドレスの追加」画面が表示されます。



- 1 応答するアドレスを指定します。

- ② 応答するホスト名を指定します。
- ③ 応答時に返すTTL値を、10~2419200の数値で設定します。

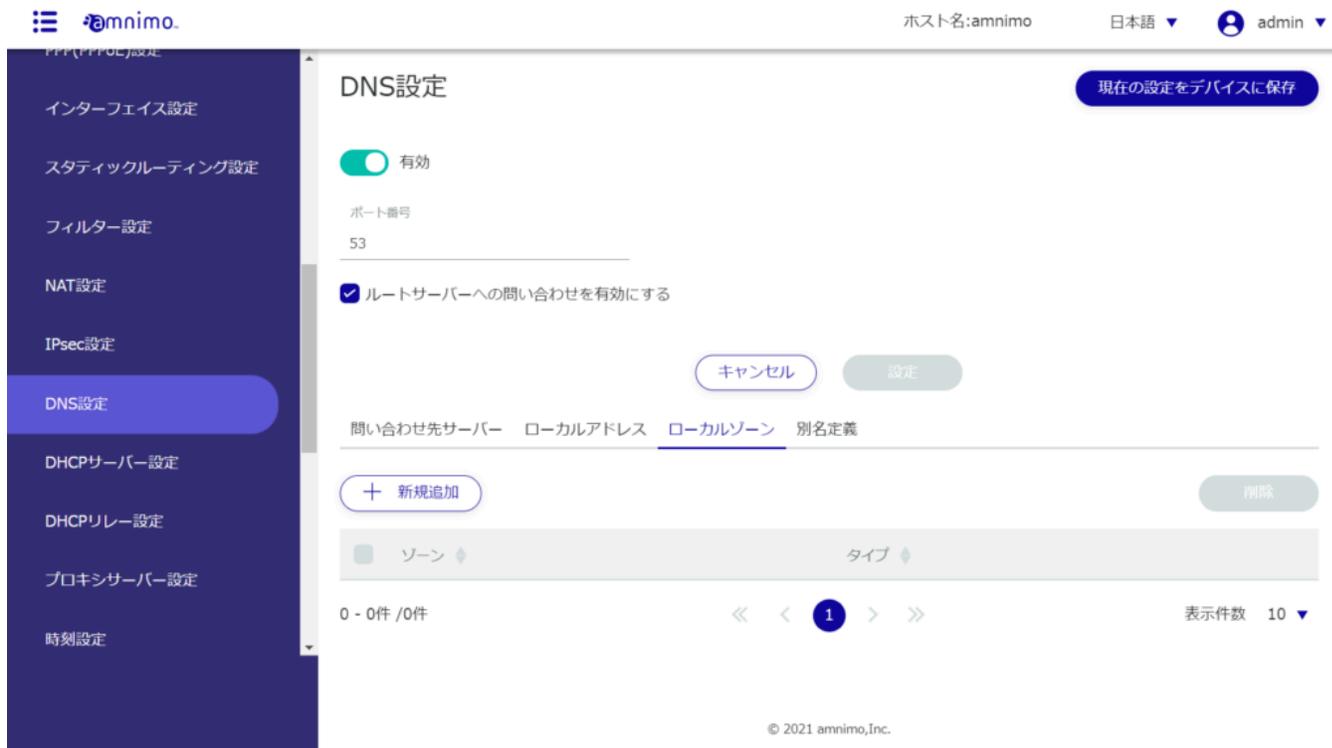
設定が完了したら [設定] をクリックします。

DNS設定画面から、設定したローカルアドレスの編集や削除をすることができます。

The screenshot displays the 'DNS設定' (DNS Settings) interface. On the left is a navigation menu with options like 'インターネット設定', 'スタティックルーティング設定', and 'DNS設定'. The main area shows the 'DNS設定' page with a toggle for '有効' (Enabled) and a port number of 53. Below, there are tabs for '問い合わせ先サーバー', 'ローカルアドレス', 'ローカルゾーン', and '別名定義'. The 'ローカルアドレス' tab is active, showing a table with one entry: '192.168.10.10' for 'amnimo' with a TTL of 3600. There are buttons for '新規追加' (Add New), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). The page also includes a '現在の設定をデバイスに保存' (Save current settings to device) button and a footer with '© 2021 amnimo, Inc.'

ローカルゾーンの設定をする

- 1 「ローカルゾーン」のタブを選択し、「新規追加」をクリックします。



2 「ローカルゾーンの追加」画面が表示されます。

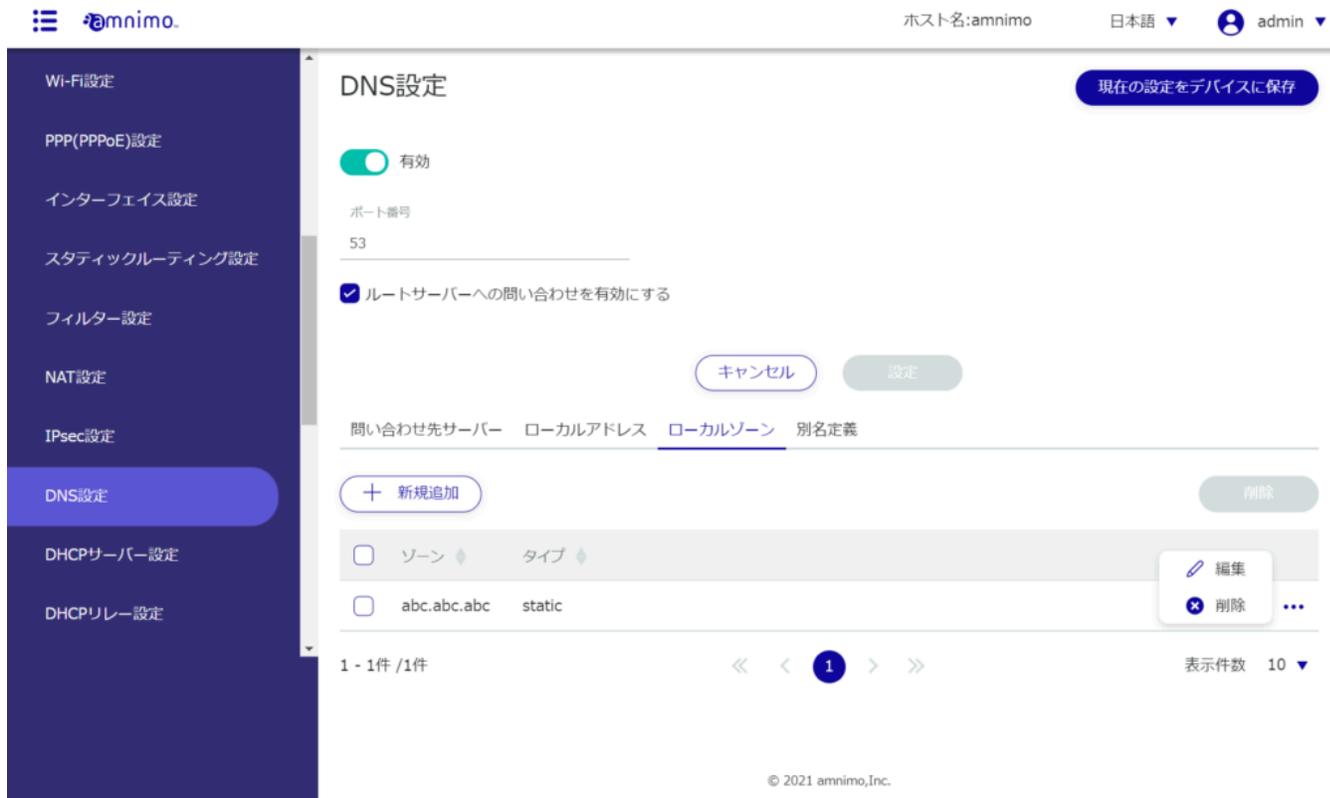


① 任意のゾーン名を入力します。

② タイプを指定します。

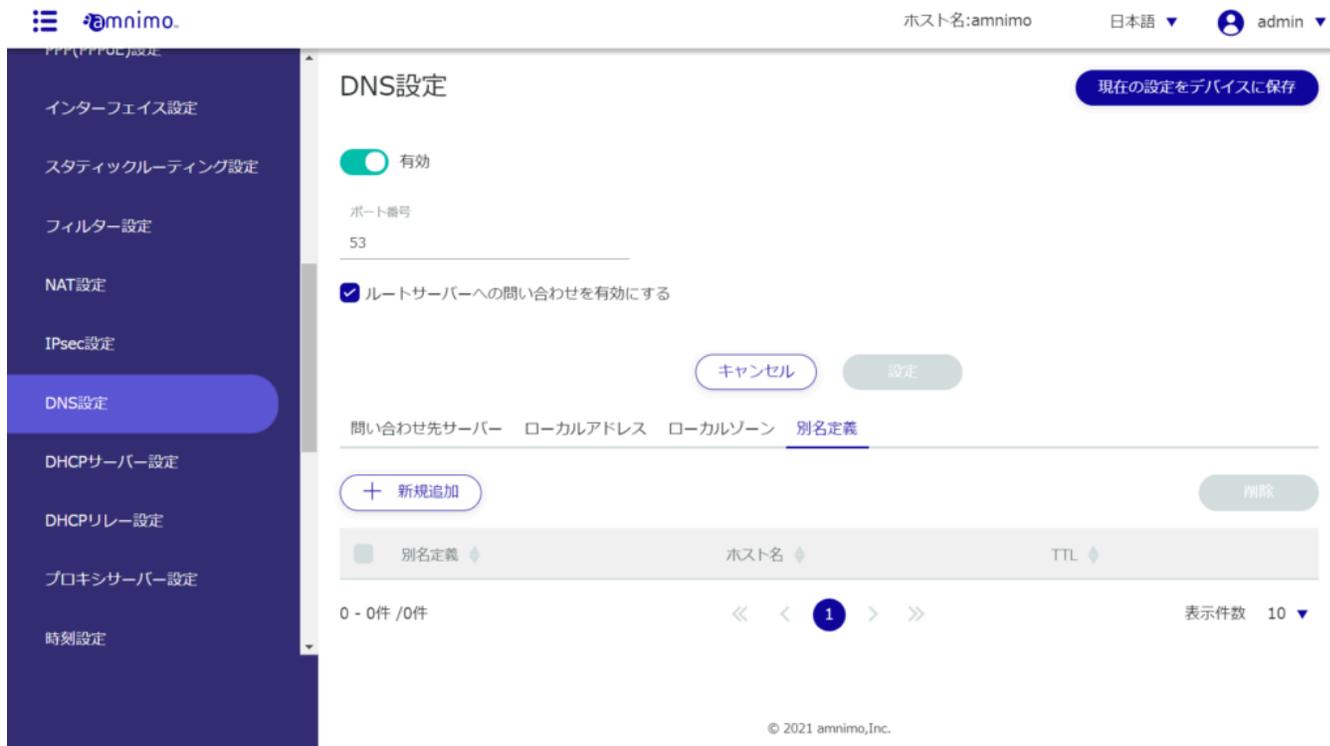
設定が完了したら「設定」をクリックします。

DNS設定画面から、設定したローカルゾーンの編集や削除をすることができます。



別名定義の設定をする

- 1 「別名定義」のタブを選択し、「新規追加」をクリックします。



- 2 「別名定義の追加」画面が表示されます。



- ① 任意のドメイン名を入力します。
- ② ホスト名を指定します。
- ③ 応答時に返すTTL値を、10～2419200の数値で設定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

DNS設定画面から、設定した別名定義の編集や削除をすることができます。

amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

現在の設定をデバイスに保存

DNS設定

有効

ポート番号
53

ルートサーバーへの問い合わせを有効にする

キャンセル 設定

問い合わせ先サーバー ローカルアドレス ローカルゾーン 別名定義

+ 新規追加 削除

<input type="checkbox"/>	別名定義	ホスト名	TTL	編集	削除	...
<input type="checkbox"/>	example.com	google.com	3600			

1 - 1件 /1件 << < 1 > >> 表示件数 10

© 2021 amnimo,Inc.

DHCPサーバー設定をする

2024年7月10日

DHCPサーバー設定の追加、編集、削除の操作について説明します。

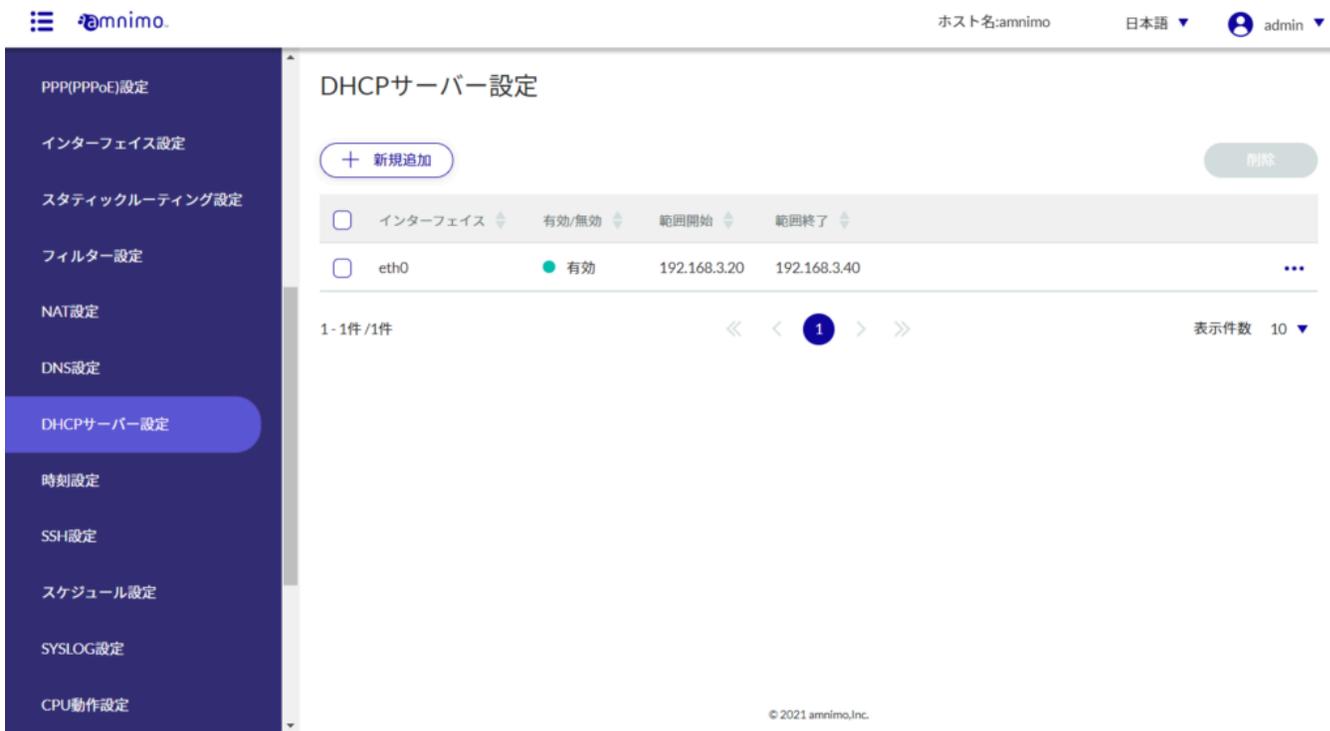
NOTE

DHCPリレー設定が有効の場合、DHCPサーバーを有効にすることは出来ませんのでご注意ください。

DHCPサーバー設定の一覧を表示する

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「DHCPサーバー設定」をクリックします。

「DHCPサーバー設定」画面に、本製品に登録されているDHCPサーバー設定の一覧が表示されます。



The screenshot displays the 'DHCPサーバー設定' (DHCP Server Settings) page. On the left is a dark blue sidebar menu with 'DHCPサーバー設定' highlighted. The main content area has a title 'DHCPサーバー設定' and a '+ 新規追加' (Add New) button. Below is a table with columns: 'インターフェイス' (Interface), '有効/無効' (Status), '範囲開始' (Start Range), and '範囲終了' (End Range). One entry is shown: 'eth0' with status '有効' (Active) and IP range '192.168.3.20' to '192.168.3.40'. A '削除' (Delete) button is visible in the top right. At the bottom, it shows '1 - 1件 / 1件' and '表示件数 10'.

インターフェイス	有効/無効	範囲開始	範囲終了
eth0	有効	192.168.3.20	192.168.3.40

NOTE

DHCPサーバー設定一覧の「インターフェイス」や「有効/無効」等のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順でDHCPサーバー設定を並び替えることができます。



インターフェイス	有効/無効	範囲開始	範囲終了
eth0	有効	192.168.3.20	192.168.3.40

DHCPサーバー設定を追加する

1 「DHCPサーバー設定」画面で、【新規追加】ボタンをクリックします。



「DHCPサーバー設定の追加」画面が表示されます。

2 DHCPサーバー設定をします。



① インターフェイスを選択します。設定可能なインターフェイス名は製品によって異なります。

AIエッジゲートウェイ：wan0、br0～br9

エッジゲートウェイ：eth0、br0～br9

IoTルーター：eth0～eth1、br0～br9

コンパクトルーター：eth0

無線LAN搭載コンパクトルーター：br0、wlan0～wlan1

- ② トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- ③ クライアントに対して動的IPアドレスを自動で割り振る範囲を設定します。

サブネットマスクの範囲内で設定し、範囲内でも256件を超える範囲は設定できません。

- ④ サブネットマスクを指定します。デフォルト値は255.255.255.0です。



- ⑤ DHCP クライアント側へ通知するゲートウェイアドレスを指定します。
「自動」を選択すると、選択されているインターフェイスのIPアドレスが使用されます。
- ⑥ DHCP クライアントに通知する DNS サーバーのIP アドレス (IPv4) を指定します。
「自動」を選択すると、選択されているインターフェイスのIPアドレスが使用されます。
- ⑦ DHCP クライアントに通知する DNS ドメイン名を指定します。

ドメイン名は253文字以内で指定する必要があります。ドメイン名の先頭および末尾は半角英数字で、それ以外は半角英数字または「-」（ハイフン）と「.」（ピリオド）で構成する必要があります。

- ⑧ DHCP クライアントに通知する NTP サーバーの IP アドレス (IPv4) を指定します。
「自動」を選択すると、選択されているインターフェイスの IP アドレスが使用されます。
- ⑨ IP アドレスをリースする有効時間を設定します。

設定範囲は、1～86400（秒）で、デフォルト値は60～86400（秒）です。

設定が完了したら「設定」をクリックします。

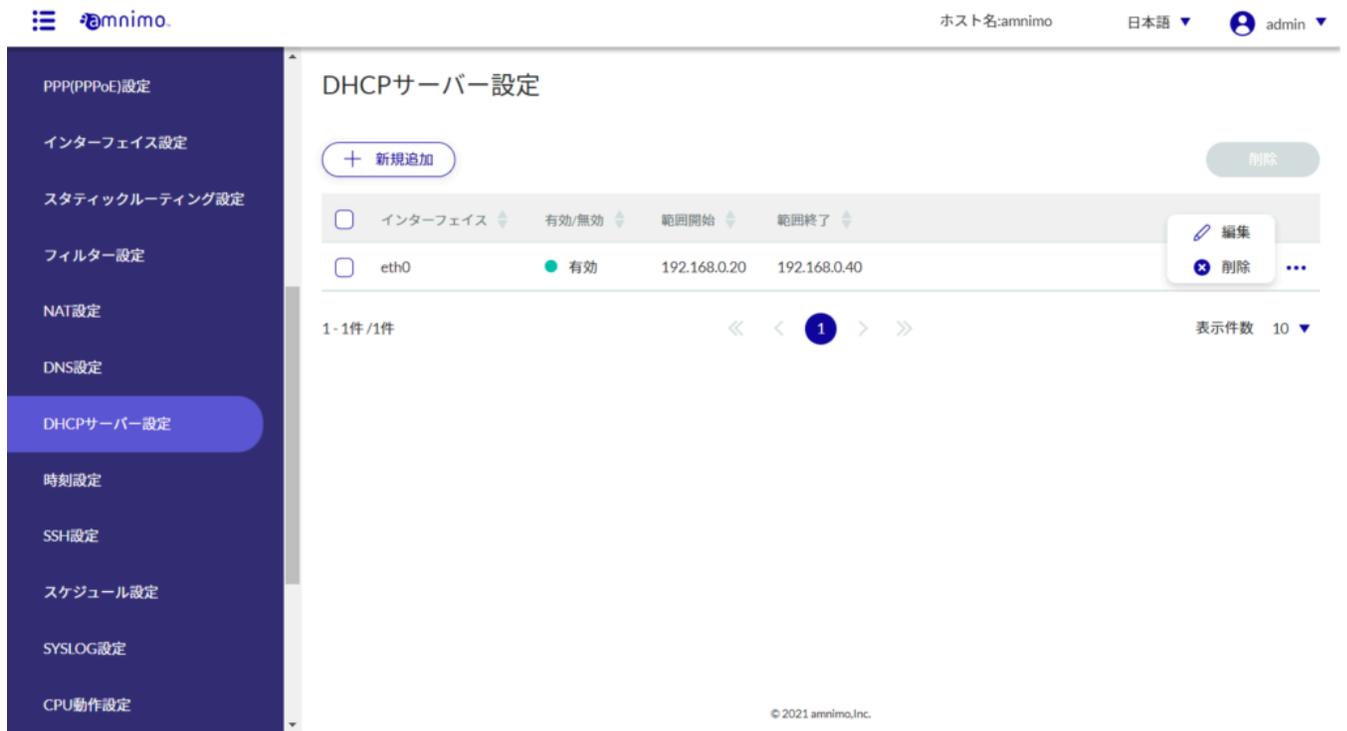


DHCPサーバー設定が追加されます。

DHCPサーバー設定を編集する

登録されているDHCPサーバー設定を編集します。

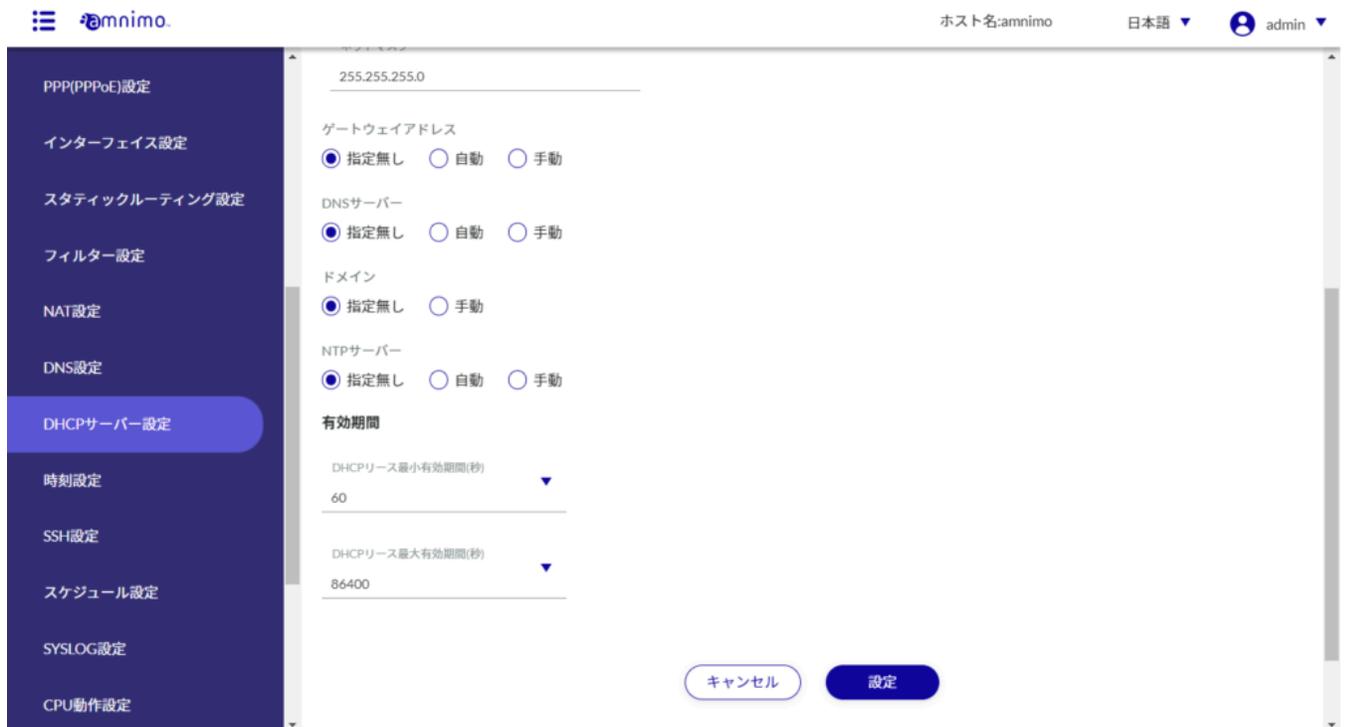
「DHCPサーバー設定」画面で、編集したいDHCPサーバー設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「編集」を選択します。



「DHCPサーバー設定の編集」画面が表示されます。

2

DHCPサーバー設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



DHCPサーバー設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

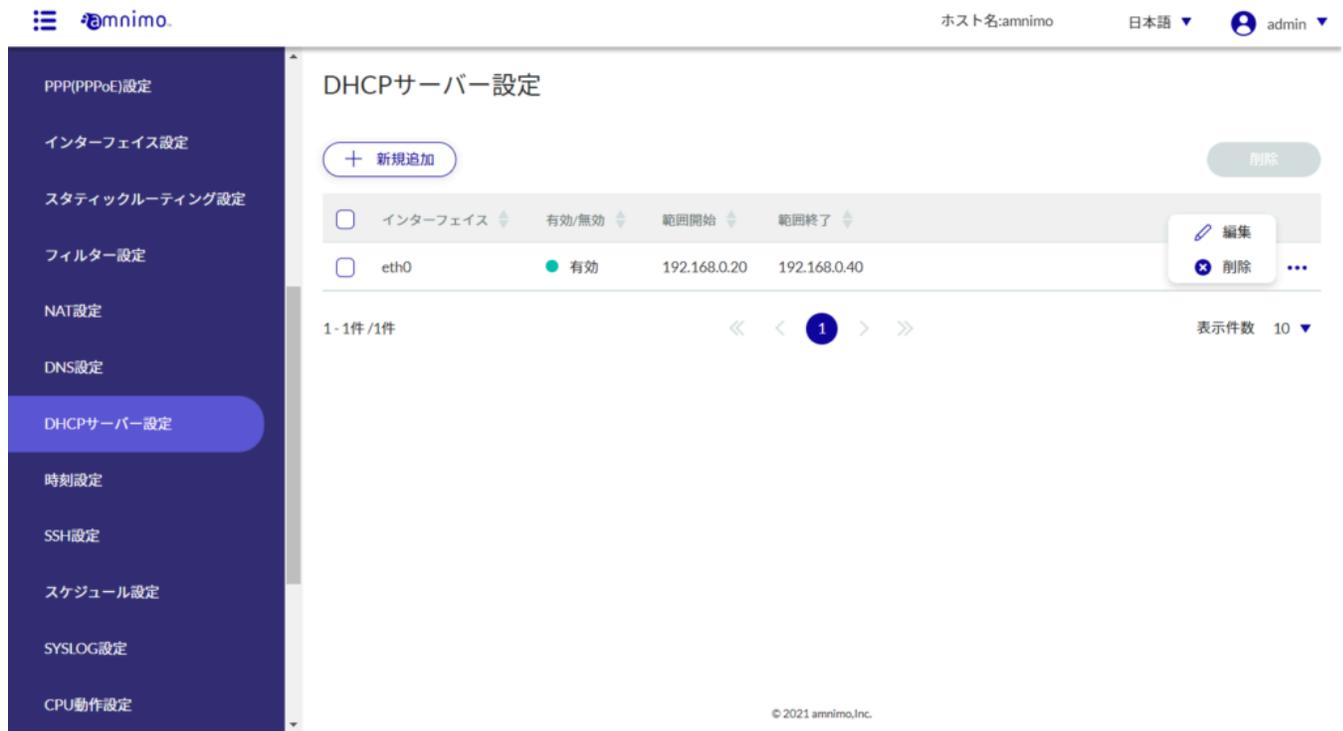
DHCPサーバー設定を削除する

登録されているDHCPサーバー設定の削除には、DHCPサーバー設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいDHCPサーバー設定をすべて選択してから削除する方法があります。

DHCPサーバー設定を個別に削除する

DHCPサーバー設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

1 「DHCPサーバー設定」画面で、削除したいDHCPサーバー設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



「確認」画面が表示されます。

2 「削除」 ボタンをクリックします。



DHCPサーバー設定が削除されます。

DHCPサーバー設定を複数選択して削除する

削除したいDHCPサーバー設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のDHCPサーバー設定を一括で削除する際に便利です。DHCPサーバー設定を1つだけ選択して削除することもできます。

「DHCPサーバー設定」画面で、削除したいDHCPサーバー設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2 **[削除]** ボタンをクリックします。



選択したDHCPサーバー設定が削除されます。

DHCPリレー設定をする

2024年7月10日

DHCPリレー設定の追加、編集、削除の操作について説明します。

NOTE

DHCPリレー設定が有効の場合、DHCPサーバーを有効にすることは出来ませんのでご注意ください。

DHCPリレー設定の一覧を表示する

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「DHCPリレー設定」をクリックします。

The screenshot shows the DHCP Relay Settings page. The sidebar menu on the left has 'DHCPリレー設定' selected. The main content area displays a table of settings:

グループ名	有効/無効	DHCPサーバー	受信インターフェイス
test1	有効	10.10.10.1	eth0

At the bottom of the table, it shows '1 - 1件 / 1件' and '表示件数 10'.

「DHCPリレー設定」画面に、本製品に登録されているDHCPリレー設定の一覧が表示されます。

NOTE

DHCPリレー設定一覧の「インターフェイス」や「有効/無効」等のタブをクリックすることで、各項目の降順/昇順でDHCPリレー設定を並び替えることができます。

グループ名	有効/無効	DHCPサーバー	受信インターフェイス
test1	有効	10.10.10.1	eth0

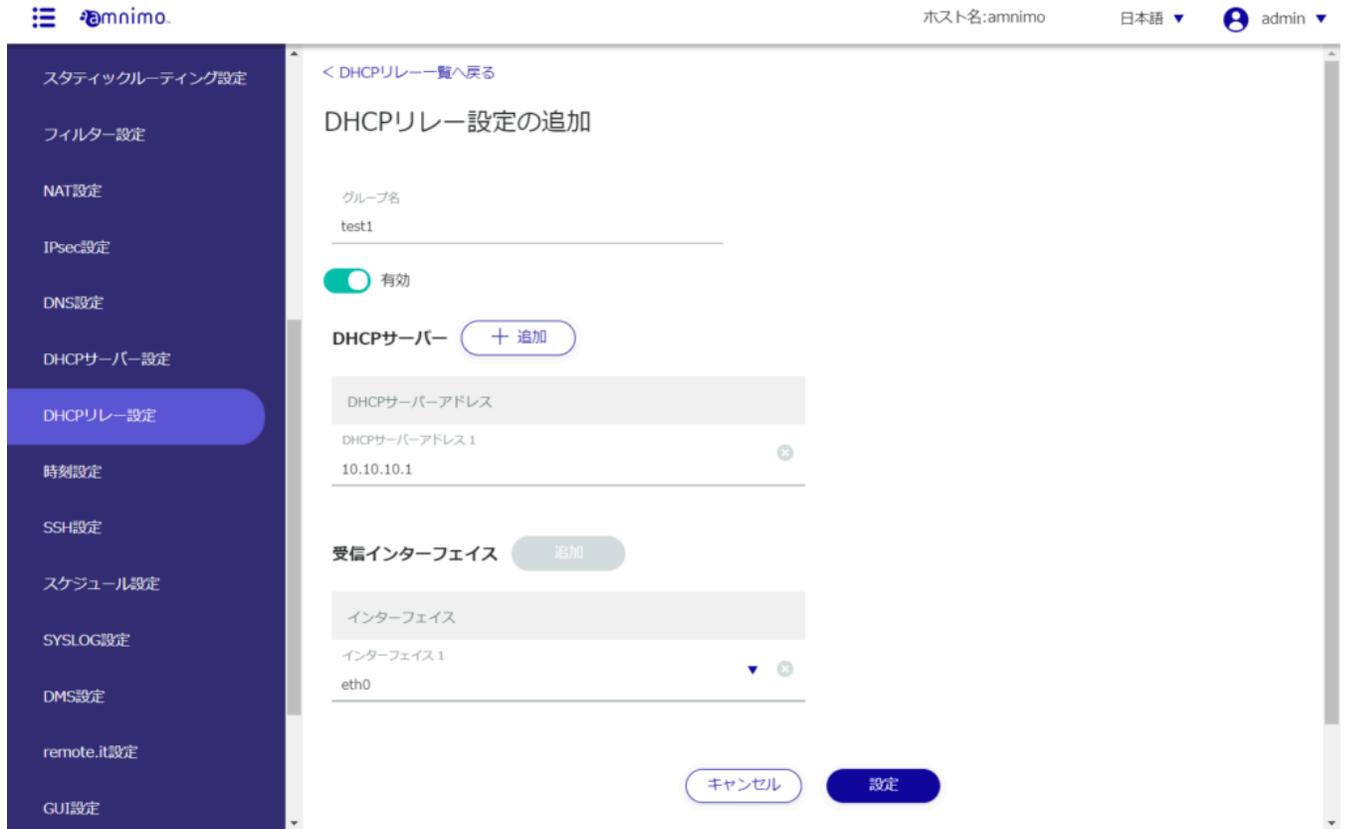
DHCPリレー設定を追加する

1 「DHCPリレー設定」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



「DHCPリレー設定の追加」画面が表示されます。

2 DHCPリレー設定をします。



- ① 識別しやすいよう、グループ名を指定します。
- ② トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- ③ DHCPサーバーのIPアドレスを入力します。 [+追加] ボタンをクリックすることで、最大4件まで指定が可能です。
- ④ 受信インターフェイスを選択します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

DHCPリレー設定が追加されます。



DHCPリレー設定を編集する

登録されているDHCPリレー設定を編集します。

「DHCPリレー設定」画面で、編集したいDHCPリレー設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。

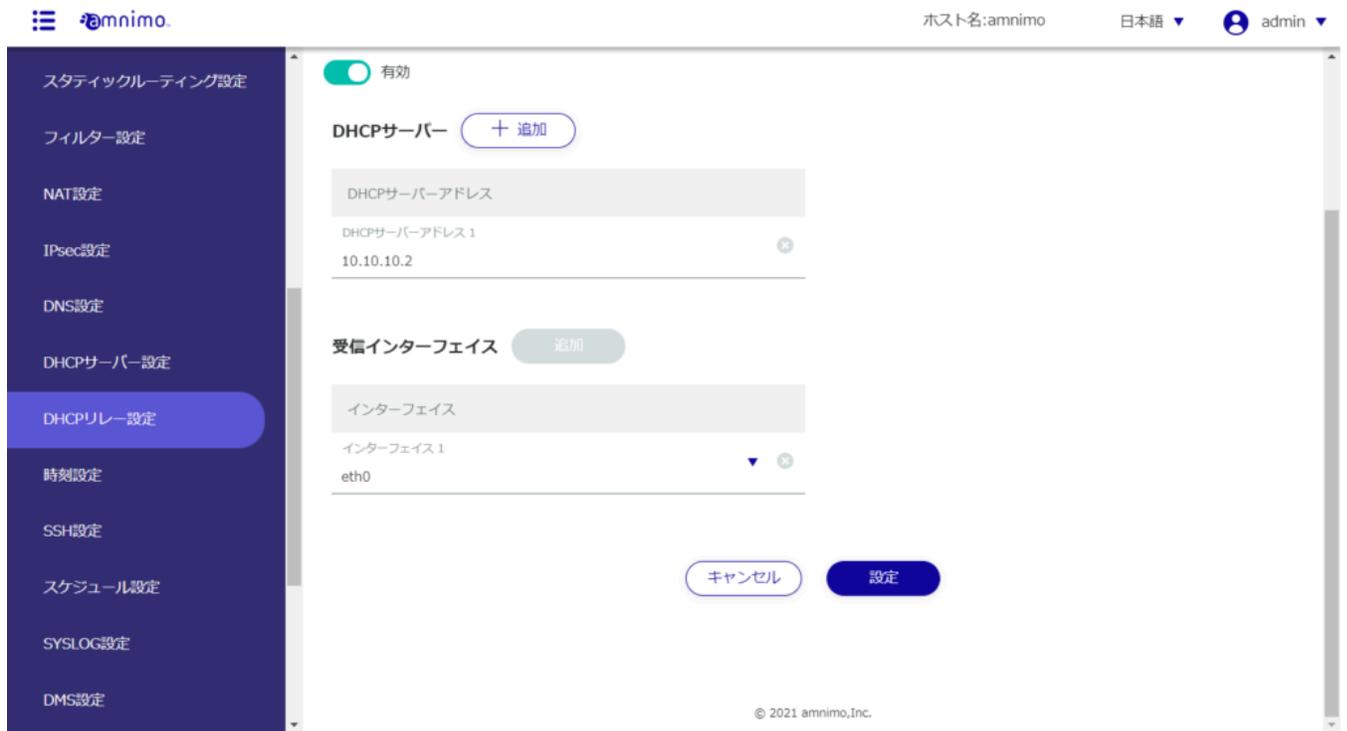
The screenshot displays the 'DHCPリレー設定' (DHCP Relay Settings) page. The left sidebar lists various settings categories, with 'DHCPリレー設定' highlighted. The main content area shows a table with the following data:

グループ名	有効/無効	DHCPサーバー	受信インターフェイス	操作
test1	有効	10.10.10.1	eth0	編集 削除

The table indicates 1 item out of 1 item is displayed. The page footer shows the copyright notice: © 2021 amnimo, Inc.

「DHCPリレー設定の編集」画面が表示されます。

DHCPリレー設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



DHCPリレー設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

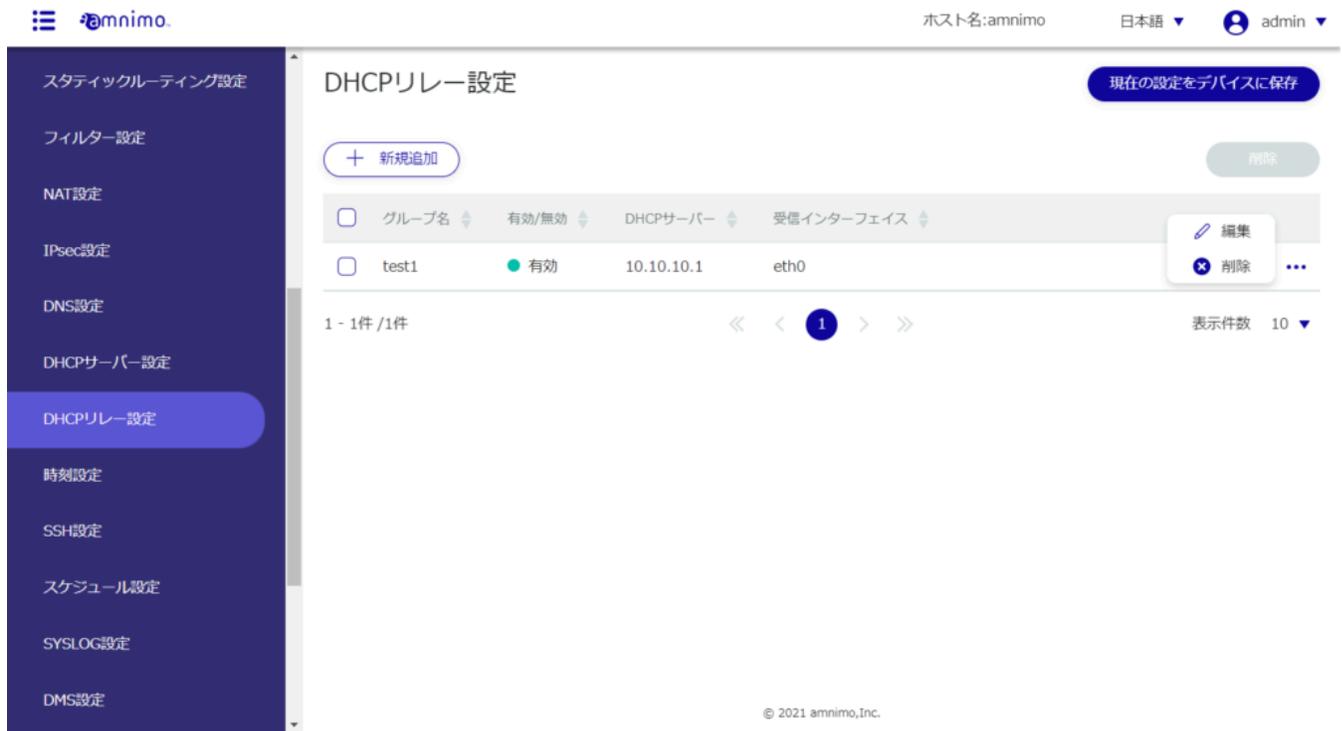
DHCPリレー設定を削除する

登録されているDHCPリレー設定の削除には、DHCPリレー設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいDHCPリレー設定をすべて選択してから削除する方法があります。

DHCPリレー設定を個別に削除する

DHCPリレー設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

「DHCPリレー設定」画面で、削除したいDHCPリレー設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから【削除】を選択します。



「確認」画面が表示されます。

2

【削除】 ボタンをクリックします。



DHCPリレー設定が削除されます。

DHCPリレー設定を複数選択して削除する

削除したいDHCPリレー設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のDHCPリレー設定を一括で削除する際に便利です。DHCPリレー設定を1つだけ選択して削除することもできます。

「DHCPリレー設定」画面で、削除したいDHCPリレー設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



The screenshot displays the 'DHCPリレー設定' (DHCP Relay Settings) page. On the left is a navigation menu with 'DHCPリレー設定' selected. The main content area shows a table with the following data:

<input checked="" type="checkbox"/>	グループ名	有効/無効	DHCPサーバー	受信インターフェイス	
<input checked="" type="checkbox"/>	test1	有効	10.10.10.1	eth0	...

At the top right, there is a '現在の設定をデバイスに保存' (Save current settings to device) button and a '削除' (Delete) button. The table has a pagination indicator '1 - 1件 / 1件' and a '表示件数 10' (Display count 10) dropdown.

「確認」画面が表示されます。

[削除] ボタンをクリックします。



選択したDHCPリレー設定が削除されます。

プロキシサーバー設定をする

2024年7月10日

プロキシサーバー設定について説明します。

NOTE

グループ設定において、「待ち受けポート」のみに制限した権限付与も可能です。

1 サイドメニューの【詳細設定・制御】 - 【プロキシサーバー設定】をクリックします。

「プロキシサーバー設定」画面が表示されます。



2 プロキシサーバーの設定をします。

amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

現在の設定をデバイスに保存

プロキシサーバー設定

有効

待ち受けポート番号
8080

接続許可アドレス

接続先ポート番号

ポート番号

ポート番号 1

SSL/TLS 接続先ポート番号

ポート番号

ポート番号 1

アクセス制御
 拒否 許可

FQDNホワイトリスト
 FQDNブラックリスト
 URLホワイトリスト
 URLブラックリスト
 ユーザー認証
 アクセスログ

© 2021 amnimo, Inc.

- 1 トグルをスライドし、プロキシサーバーを有効にします。
- 2 待ち受けポート番号を入力します。デフォルト値は8080です。
- 3 接続許可アドレスが必要な場合はチェックを付け、送信元アドレスを入力します。
- 4 接続先ポート番号、SSL/TLS接続先ポート番号を設定します。
- 5 アクセス制御の拒否・許可を選択します。

- ⑥ 接続先ポート番号、SSL/TLS接続先ポート番号を設定します。
- ⑦ 特定のFQDNやURLに対して、ホワイトリスト/ブラックリスト登録をします。
- ⑧ ユーザー認証やアクセスログの設定をします。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

時刻を設定する

2024年7月10日

NOTE

グループ設定にて権限が付与されていないタブは表示されません。

時刻の設定には、手動で時刻を設定する方法と、NTPサーバーを利用して時刻をあわせる方法があります。

時刻の設定画面を表示する

時刻を手動で設定するための「時刻設定」画面を表示します。

1 サイドメニューの【詳細設定・制御】 - 【時刻設定】をクリックします。

「時刻設定」画面が表示されます。



手動で時刻を設定する

手動での時刻設定は、「時刻設定」画面の【手動設定】タブで行うことができます。アクセス元のPCの時刻と同期する方法、手動で外部のNTPサーバーに問い合わせる時刻をあわせる方法、手動で時刻を入力する方法を選択することができます。

PCの時刻と同期する

1 「時刻設定」画面で、【手動設定】タブをクリックします。



2 「PC同期」を選択します。

3 [設定] をクリックします。

時刻が設定されます。

手動でNTPサーバーと同期する

1 「時刻設定」画面の[手動設定]タブで、「NTP同期」を選択します。

NOTE

エッジゲートウェイ（AG10、AG20）、無線LAN搭載コンパクトルーター（AC15、AC25）は「NTP同期（一度だけ同期）」という表記です。



2 同期するNTPサーバーのホスト名（FQDN）またはIPアドレスを入力します。



3 **【設定】をクリックします。**

NTPサーバーへ問い合わせが行われ、時刻が設定されます。

手動で時刻を入力する

1 「時刻設定」画面の【手動設定】タブで、「時刻入力」を選択します。



2 **日付と時刻を入力します。**

時刻設定

手動設定 NTP設定

PC同期 NTP同期 時刻入力

2021-08-20 00:00:00

キャンセル 設定

NOTE

カレンダーアイコンをクリックし、表示されたカレンダーで日付をクリックして設定することができます。

手動設定 NTP設定

PC同期 NTP同期 時刻入力

Feb 2021

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13

select time

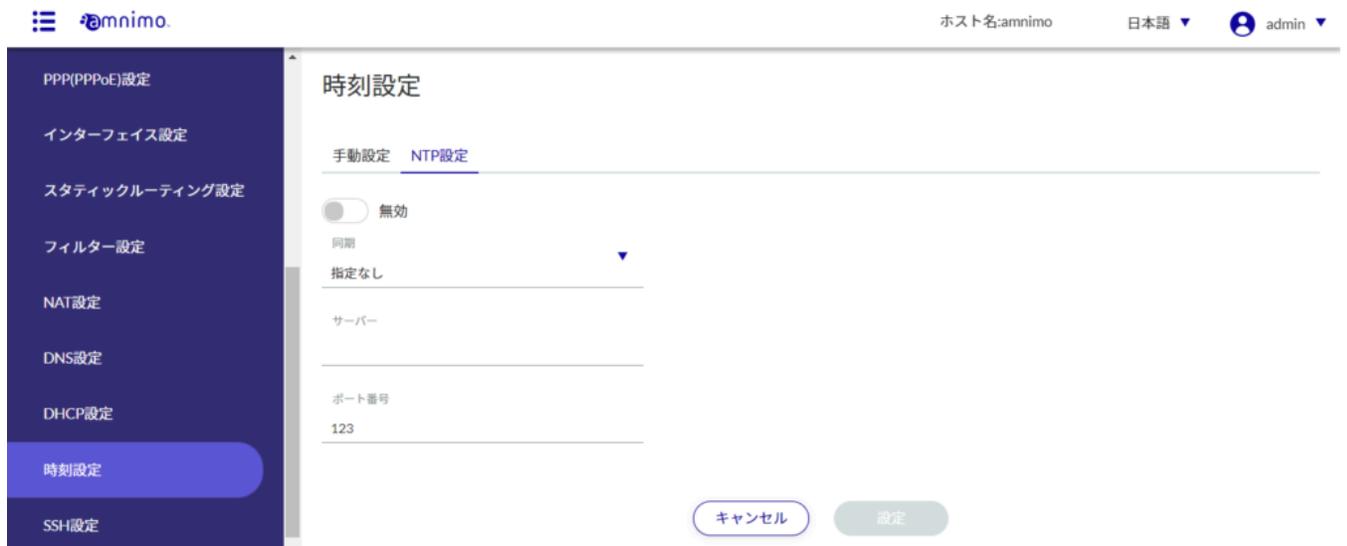
3 **【設定】** をクリックします。

時刻が設定されます。

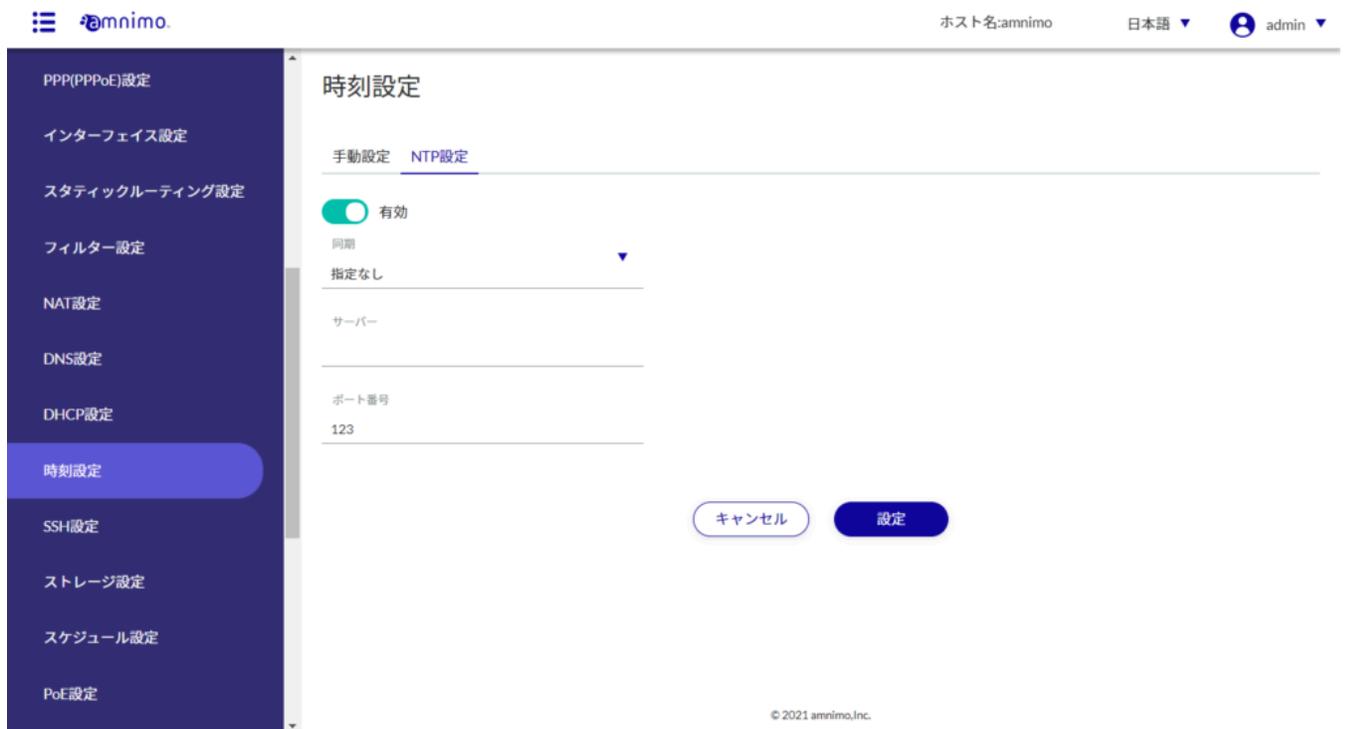
NTPサーバーと定期的に同期する

NTPサーバーから定期的に時刻情報を取得して本製品の時刻をあわせる方法について説明します。
手動での時刻設定は、「時刻設定」画面の「NTP設定」タブで行うことができます。

- 1 「時刻設定」画面で、「NTP設定」タブをクリックします。



- 2 トグルをスライドし、NTPサーバーによる時刻同期を有効に設定します。



- 3 NTPサーバーと同期させるインターフェイスを入力します。

 NOTE

- 直接入力するか、インターフェイスをクリックしてドロップダウンリストから選択することができます。



- 複数のインターフェイスを指定することはできません。
- 使用している機種によって、指定できるインターフェイスは異なります。

AIエッジゲートウェイ :

wan0、lan0～lan3、br0～9、ecm0～ecm9、ppp0～ppp9、tun0～tun9、tap0～tap9

エッジゲートウェイ :

eth0、lan0～lan3、br0～9、ecm0～ecm9、ppp0～ppp9、tun0～tun9、tap0～tap9

IoTルーター :

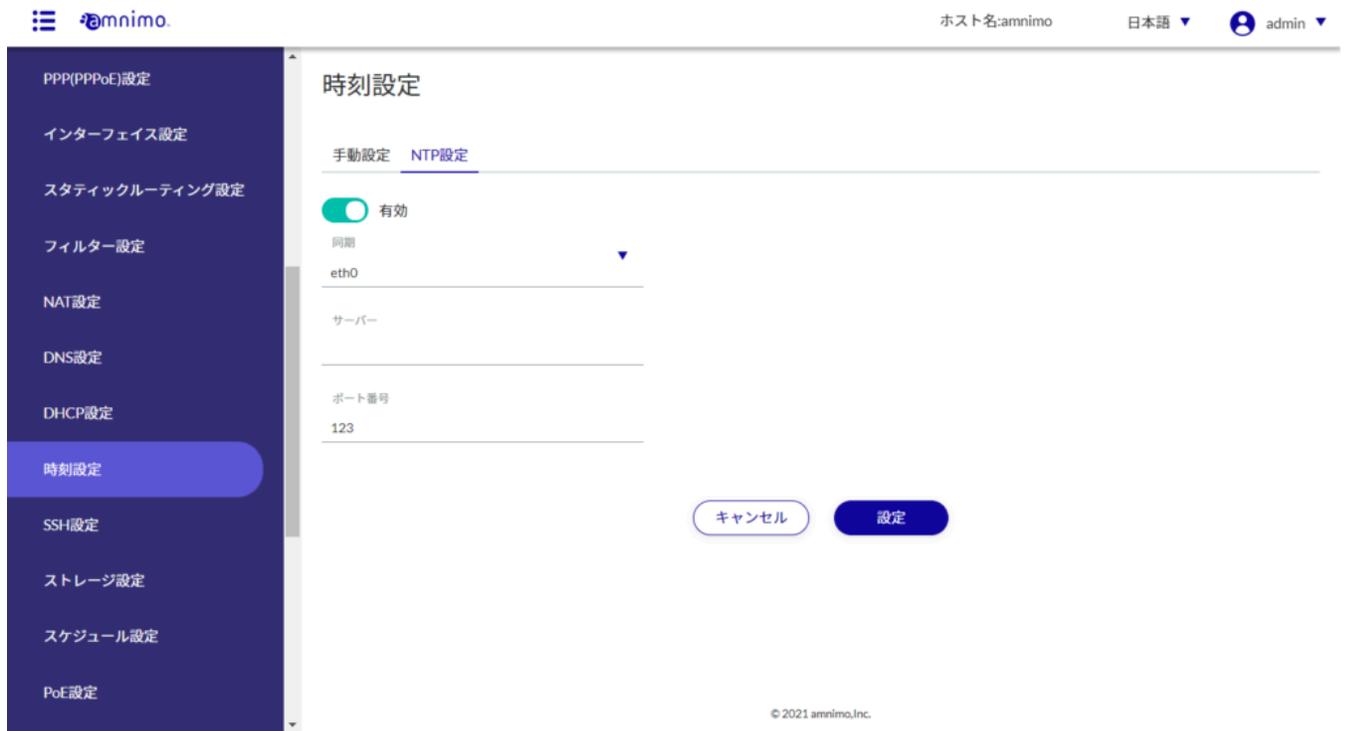
eth0～eth1、br0～br9、ecm0～ecm9、ppp0～ppp9、tun0～tun9、tap0～tap9

コンパクトルーター :

eth0、rmnet_data0

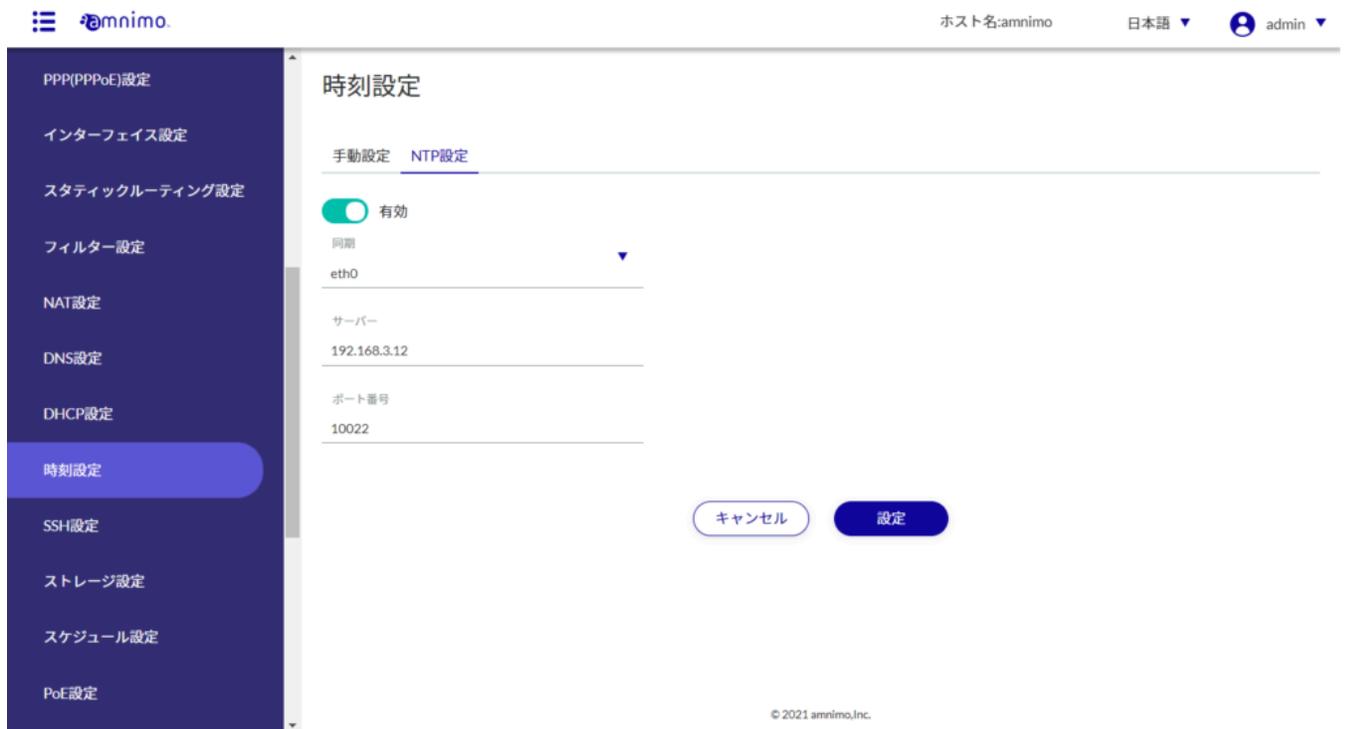
無線LAN搭載コンパクトルーター :

lan0～lan1、br0、rmnet_data0、ppp0、wlan0～wlan1



4

NTPサーバーの設定をします。



- ① NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名（FQDN）を入力します。
- ② NTPサーバーのポート番号を入力します。

5 **【設定】をクリックします。**

NTPによる時刻同期の設定が行われます。

SSHの設定をする

2024年7月10日

本製品にSSHで接続するための設定をします。

ターミナルエミュレーターなどを使用して本製品に接続する場合、SSHを有効にする必要があります。

1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [SSH設定] をクリックします。

「SSH設定」画面が表示されます。

2 トグルをスライドし、SSHを有効に設定します。



3 ポートの設定をします。



❶ 必要に応じて、ポート番号を変更します。

 NOTE

- ポート番号は、1～65535の範囲で設定することができます。
- SSHでは標準で22番ポートを使用します。
ポート番号を変更した場合、クライアントはそのポート番号を指定して接続する必要があるため、注意が必要です。

② 「キープアライブを有効にする」にチェックを付けることで、定期的にkeepaliveパケットを送信して、SSH接続がタイムアウトするのを防ぐことが可能です。

暗号化方式の設定をします。



① 使用する暗号化方式として、「推奨設定」または「個別選択」を選択します。

→ 「推奨設定」を選択した場合は、手順5に進んでください。

② 「個別選択」を選択した場合は、使用する暗号化方式にチェックを付けます。

[設定] ボタンをクリックします。

amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

SSH設定

有効

ポート番号
10022

キーアライブを有効にする

暗号化方式
 推奨設定 個別選択

キャンセル 設定

© 2021 amnimo, Inc.

SSHの設定が行われます。

ストレージ設定をする

2024年7月10日

NOTE

IoTルーター（amnimo Rシリーズ）、コンパクトルーター（amnimo Cシリーズ）には、この機能はありません。

ストレージのパーティションのマウント状態を設定したり、ストレージのチェック設定をします。

ストレージの一覧を表示する

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「ストレージ設定」をクリックします。

「ストレージ設定」画面に、本製品に登録されているストレージ設定の一覧が表示されます。

The screenshot shows the Amnimo GUI interface. On the left is a dark blue sidebar with a menu. The 'ストレージ設定' (Storage Settings) option is highlighted. The main content area is titled 'ストレージ設定' (Storage Settings). At the top right of this area are 'ホスト名:amnimo', '日本語', and 'admin'. Below the title are two buttons: '+ 新規追加' (Add New) and '削除' (Delete). A table with three columns is displayed: 'パーティション' (Partition), 'ファイルシステム' (File System), and 'マウントポイント' (Mount Point). The table contains one row: 'sda1', 'ext4', and '/media/ssd'. Below the table is a pagination control showing '1-1件 / 1件' and '表示件数 10'. At the bottom right of the page is the copyright notice '© 2021 amnimo, Inc.'.

NOTE

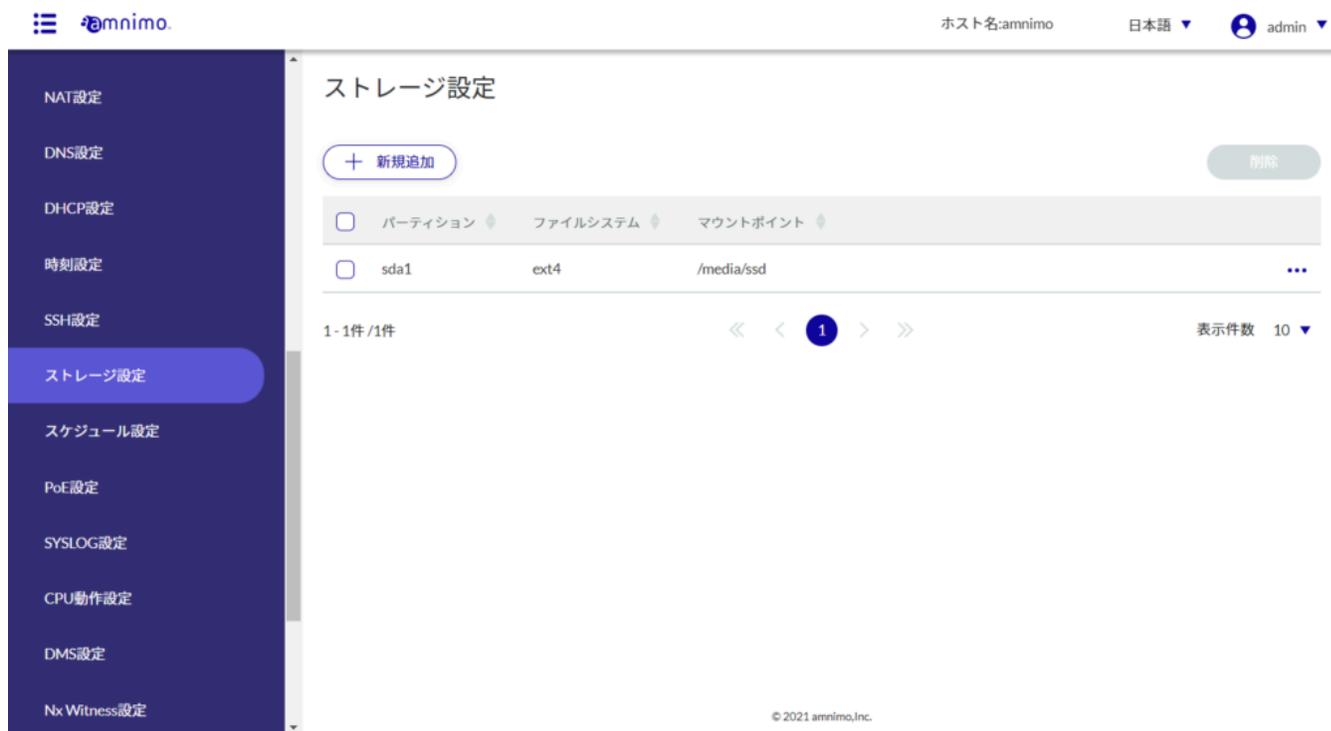
ストレージ設定一覧の「パーティション」や「ファイルシステム」等のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順でストレージ設定を並び替えることができます。

<input type="checkbox"/>	パーティション	ファイルシステム	マウントポイント	
<input type="checkbox"/>	sda1	ext4	/media/ssd	...

ストレージ設定を追加する

ストレージ設定を追加します。

- 1 「ストレージ設定」画面で、「新規追加」をクリックします。



- 2 「ストレージ設定の追加」画面で、必要な項目を設定します。



- 1 パーティションを選択します。

[運用情報] - [ストレージ] にて作成されたパーティションを選択することができます。

- ② 最大32文字の英数字でマウントポイント名を指定します。
- ③ ファイルシステムを選択します。
- ④ マウントオプションを選択します。



- ⑤ 暗号化にチェックを入れた場合はパスワードを設定します。
- ⑥ FSCK処理を選択します。

「確認」を選択すると不良セクターのチェックのみ行います。
「自動修復」を選択すると軽微なエラーを修復します。

- ⑦ 監視処理を設定します。
- ⑧ フェイルセーフを設定します。

fsck/mount処理が失敗した時のリトライ回数、間隔、再起動回数を設定します。

設定が完了したら「設定」をクリックします。



ストレージ設定を編集する

登録されているストレージ設定を編集します。

「ストレージ設定」画面で、編集したいパーティションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「ストレージ設定の編集」画面が表示されます。

設定を編集して、[設定] をクリックします。



情報が更新され、一覧が表示されます。

ストレージ設定を削除する

登録されているストレージ設定の削除には、各パーティションの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいストレージ設定をすべて選択してから削除する方法があります。

ストレージ設定を個別に削除する

各パーティションの操作メニューから削除を選択する方法です。

「ストレージ設定」画面で、削除したいストレージ設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



「確認」画面が表示されます。

2 「削除」ボタンをクリックします。



ストレージ設定が削除されます。

ストレージ設定を複数選択して削除する

削除したいストレージ設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のストレージ設定を一括で削除する際に便利です。ストレージ設定を1つだけ選択して削除することもできます。

1 「ストレージ設定」画面で、削除したいストレージ設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、「削除」ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2 **[削除]** ボタンをクリックします。



選択したストレージ設定が削除されます。

スケジュールを設定する

2024年7月10日

NOTE

グループ設定にて権限が付与されていないタブは表示されません。

スケジュールは、「一般」、「キープアライブ」、「ユーザー定義」というスケジュールタイプに分類されます。

スケジュールの一覧を表示する

スケジュールを設定するための「スケジュール設定」画面を表示します。

- 1 サイドメニューの【詳細設定・制御】から【スケジュール設定】をクリックします。

「スケジュール設定」画面が表示されます。

- 2 【一般】タブ、【キープアライブ】タブまたは【ユーザー定義】タブをクリックします。

The screenshot displays the 'スケジュール設定' (Schedule Settings) interface. On the left, a dark sidebar menu lists various system settings, with 'スケジュール設定' (Schedule Settings) selected and highlighted in blue. The main content area features three tabs: '一般' (General), 'キープアライブ' (Keep Alive), and 'ユーザー定義' (User Defined). The '一般' tab is active. Below the tabs, there is a '+ 新規追加' (Add New) button and a '削除' (Delete) button. A table with four columns is shown: 'タスク名' (Task Name), '有効/無効' (Enabled/Disabled), '時刻' (Time), and 'アクション' (Action). The table is currently empty, displaying '0 - 0件 / 0件' (0 items / 0 items). At the bottom right of the table, there is a pagination control showing '表示件数 10' (Display 10 items). The top right of the page shows the host name 'ホスト名:amnimo', the language '日本語', and the user 'admin'.

NOTE

スケジュール一覧の「タスク名」「有効/無効」「時刻」「アクション（【ユーザー定義】タブの場合はコマンド）」をクリックすることで、それぞれの降順／昇順でスケジュールを並び替えることができます。

<input type="checkbox"/>	タスク名	有効/無効	時刻	アクション
<input type="checkbox"/>	task1	● 有効	*月 29日 (*) 0時 *分	PPP回線接続
<input type="checkbox"/>	task2	● 有効	*月 *日 (*) 0時 *分	PoE reset
<input type="checkbox"/>	task3	● 有効	*月 *日 (月) *時 *分	Software reboot

スケジュールを追加する

新規でスケジュールを追加します。

NOTE

以下の手順では、「キープアライブ設定の追加」画面を使用して説明しています。

1 「スケジュール設定」画面で、追加するスケジュールタイプに応じて [一般] タブ、[キープアライブ] タブまたは「ユーザー定義」タブをクリックします。

2 [新規追加] ボタンをクリックします。

スケジュールタイプに応じて、「スケジュール設定の追加」画面、「キープアライブ設定の追加」画面または「ユーザー定義設定の追加」画面が表示されます。

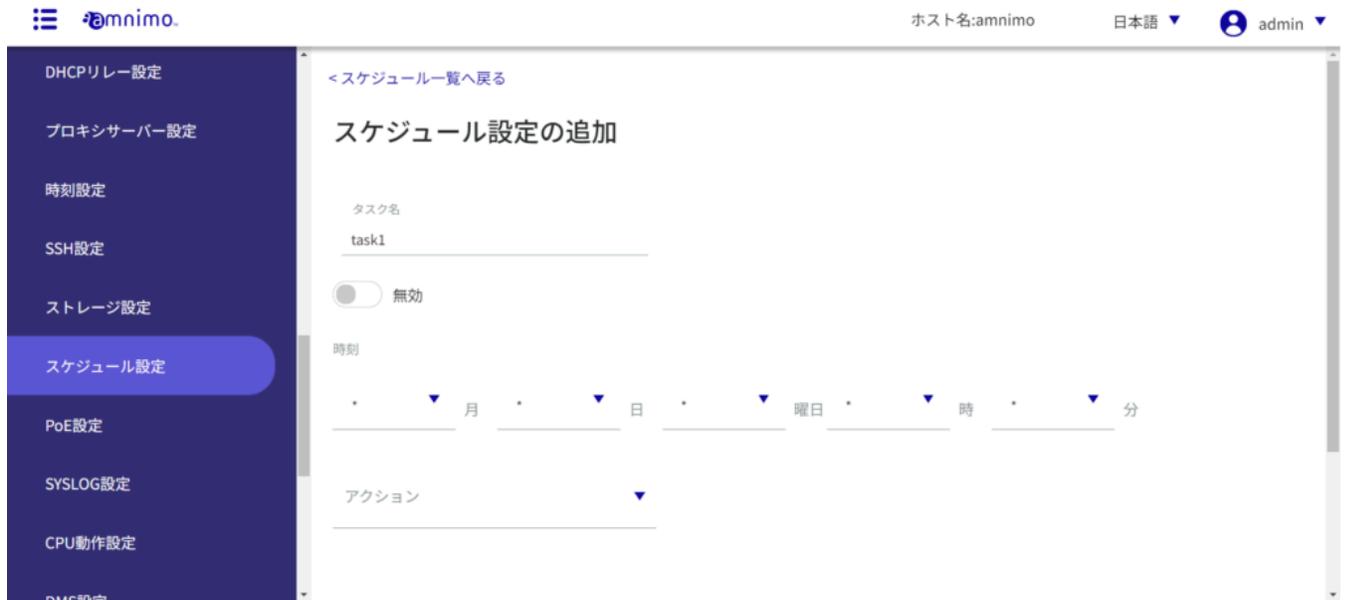


The screenshot shows the 'スケジュール設定' (Schedule Settings) page. The sidebar on the left contains various configuration options, with 'スケジュール設定' highlighted. The main content area has three tabs: '一般', 'キープアライブ', and 'ユーザー定義'. A '+ 新規追加' (Add New) button is located below the tabs. Below this is a table with the following structure:

<input type="checkbox"/>	タスク名	有効/無効	時刻	アクション
0 - 0件 / 0件				

At the bottom right of the page, there is a copyright notice: © 2021 amnimo, Inc.

3 タスク名を入力します。



4 トグルをスライドし、スケジュールを有効に設定します。



5 タスクを実行する時刻を設定します。



6 アクションの設定をします。



① アクションを選択します。

NOTE

スケジュールタイプによって選択可能なアクションは異なります。

→ アクションの設定項目については、『[スケジュールの設定項目](#)』を参照してください。

「ユーザー定義設定の追加」画面では、実行したいコマンドを入力します。

② ①で選択したアクションに応じた設定をします。

7

キープaliveタイプのスケジュールの場合、「ping制御」の設定をします。

→ ping制御の設定項目については、『[スケジュールの設定項目](#)』を参照してください。

amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

< キーペアライブ一覧へ戻る

キーペアライブ設定の追加

タスク名

有効

時刻

* 月 * 日 * 曜日 * 時 * 分

アクション

PPP回線切断

インターフェイス

ping制御 [+ 追加](#)

宛先

宛先 1

送信元IPアドレス

送信元インターフェイス

送信間隔 3 秒

送信回数 3

最大実行時間 秒

タイムアウト 10 秒

実行前ランダム待ち時間 0 秒

宛先切替後ランダム待ち時間 3 秒

[キャンセル](#) [設定](#)

© 2021 amnimo, Inc.

amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

192.168.3.10

送信間隔 3 秒

送信回数 3

最大実行時間 秒

タイムアウト 10 秒

実行後ランダム待ち時間 0 秒

宛先切替後ランダム待ち時間 3 秒

キャンセル 設定

© 2021 amnimo, Inc.

スケジュール設定

スケジュールが追加されます。

スケジュールの設定項目

項目	内容
タスク名	タスク名を入力します。タスク名は 32 文字以内の英数字で設定可能です。
有効/無効	トグルを左右にスライドして、タスクの有効化と無効化を切り替えます。
時刻	タスク実行の日時を指定します。
アクション	実行するタスクの内容を選択します。
Software reboot	<p>ソフトウェアリブートを実行します。 追加で以下の設定をする必要があります。</p> <p>再起動モード 再起動モードを選択する必要があります。 normal：タスク実行日時にソフトウェアリブートを実行 uptime：タスク実行日時にソフトウェアリブートを実行 ※直近の起動から、設定した起動経過時間を経過している必要があります（経過するまではソフトウェアリブートは実行されません）。 random：タスク実行日時から、設定したランダム実行時間が経過した時点でソフトウェアリブートを実行 ※ここでの待ち時間は、0～ランダム実行時間の間のランダムな秒数（86400を設定した場合0～86399秒の範囲）です。</p> <p>起動経過時間（秒）、ランダム実行時間（秒） 再起動モード（uptime / random）を選択した場合、任意の時間を設定します。 起動経過時間：3600～604800 ランダム実行時間：60～86400</p> <p>フェイルセーフ 使用する場合はチェックを付けます。</p> <p>再起動 フェイルセーフで再起動する最大回数を指定します。再起動モードは、スケジュールタイプが「一般」の場合にのみ選択できます。</p> <p>再起動モードのrandom, uptimeのオプションは、V1.11.0以降のファームウェアで対応しています。</p>
Hardware reboot	<p>ハードウェアリブートを実行します。 追加で以下の設定をする必要があります。</p> <p>再起動モード 再起動モードを選択する必要があります。 normal：タスク実行日時にハードウェアリブートを実行 uptime：タスク実行日時にハードウェアリブートを実行 ※直近の起動から、設定した起動経過時間を経過している必要があります（経過するまではハードウェアリブートは実行されません）。 random：タスク実行日時から、設定したランダム実行時間が経過した時点でハードウェアリブートを実行</p>

項目	内容
	<p>※ここでの待ち時間は、0～ランダム実行時間の間のランダムな秒数（86400を設定した場合0～86399秒の範囲）です。</p> <p>起動経過時間（秒）、ランダム実行時間（秒） 再起動モード（uptime / random）を選択した場合、任意の時間を設定します。起動経過時間 : 3600～604800 ランダム実行時間 : 60～ 86400</p> <p>フェイルセーフ 使用する場合はチェックを付けます。</p> <p>再起動 フェイルセーフで再起動する最大回数を指定します。 再起動モードは、スケジュールタイプが「一般」の場合にのみ選択できます。 再起動モードのrandom, uptimeのオプションは、V1.11.0以降のファームウェアで対応しています。</p>
PoE reset	<p>PoE給電リセットを実行します。追加で以下の設定をする必要があります。</p> <p>インターフェイス PoEインターフェイス名を指定します。</p> <p>ダウンタイム PoE給電停止時間を入力します。</p> <p>IoTルーター屋内タイプ（AR10）、コンパクトルーター屋内タイプ（AC10）、無線LAN搭載コンパクトルーター屋内タイプ（AC15）はPoEに対応していないため、PoE resetは表示されません。</p>
PPP回線接続	<p>PPP回線を接続します。 PPPのインターフェイスを選択する必要があります。 スケジュールタイプが「一般」の場合にのみ選択できます。</p>
PPP回線切断	<p>PPP回線を切断します。</p>
モバイル回線接続	<p>モバイル回線を接続します。 モバイルのインターフェイスを選択する必要があります。 スケジュールタイプが「一般」の場合にのみ選択できます。 通信モジュールが無い機器では、設定しても利用できません。</p>
モバイル回線切断	<p>モバイル回線を切断します。 モバイルのインターフェイスを選択する必要があります。 「電源制御」にチェックを付けると、モバイル回線が切断されたときに、通信モジュールがリセットされます。 通信モジュールが無い機器では、設定しても利用できません。</p>
無線LANリセット	<p>無線LANリセットをします。</p> <p>リセットモード</p>

項目	内容
	<p>リセットモードを選択する必要があります。</p> <p>normal：タスク実行日時に無線LANリセットを実行 uptime：タスク実行日時に無線LANリセットを実行 ※直近の起動から、設定した起動経過時間を経過している必要があります（経過するまでは無線LANリセットは実行されません）。</p> <p>random：タスク実行日時から、設定したランダム実行時間が経過した時点で無線LANリセットを実行 ※ここでの待ち時間は、0～ランダム実行時間の間のランダムな秒数（86400を設定した場合0～86399秒の範囲）です。</p> <p>起動経過時間（秒）、ランダム実行時間（秒） 再起動モード（uptime / random）を選択した場合、任意の時間を設定します。起動経過時間：3600～604800 ランダム実行時間：60～86400</p> <p>スケジュールタイプが「キープアライブ」の場合は、リセットモードの選択ができません。 無線LAN搭載コンパクトルーターにのみ表示されます。</p>
IPsec切断	<p>IPSecを切断します。IPSecの設定名を入力する必要があります。スケジュールタイプが「キープアライブ」かつ編集時にのみ選択できます。</p>
コマンド	<p>設定した任意のコマンドを実行します。</p> <p>スケジュールタイプが「ユーザー定義」の場合にのみ設定します。 エッジゲートウェイ、AIエッジゲートウェイ、IoTルーターにのみ表示されます。</p>
ping制御	<p>pingリクエストの設定をします。</p> <p>スケジュールタイプが「キープアライブ」の場合にのみ設定します。</p>
宛先	<p>pingリクエストの送信先ホストを入力します。 pingの入力はカンマ区切りで複数設定可能です。</p> <p>複数の宛先を設定した場合、全ての宛先においてping失敗が発生した場合にアクションが実行されます。 エッジゲートウェイ（AG10、AG20）、無線LAN搭載コンパクトルーター（AC15、AC25）は、「追加」ボタンをクリックすることで複数の宛先が設定できます。</p>
送信元IPアドレス	<p>pingリクエストの送信元のIPアドレスを入力します。</p>
送信元インターフェイス	<p>pingリクエストの送信元のインターフェイスを指定します。</p>
送信間隔	<p>pingリクエストを送信する間隔を指定します。</p>
送信回数	<p>送信するpingリクエストの最大数を指定します。</p>
最大実行時間	<p>ping最大実行時間を指定します。</p>

項目	内容
タイムアウト	pingリクエストのタイムアウト時間を設定します。
実行前ランダム待ち時間	ping送信実行前のランダム待ち時間を設定します。
宛先切替後ランダム待ち時間	ping送信先切替時のランダム待ち時間を設定します。
フェイルセーフ	チェックを入れることでフェイルセーフが有効になります。
再起動	フェイルセーフで再起動する回数を指定します。
リトライ	フェイルセーフでリトライする回数を指定します。

スケジュールを編集する

登録されているスケジュールを編集します。

1 「スケジュール設定」画面で、[一般] タブ、[キープアライブ] タブまたは [ユーザー定義] タブをクリックします。

2 編集したいスケジュールの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「スケジュール設定の編集」画面が表示されます。

スケジュール情報を編集して、**【設定】** をクリックします。

→ 設定項目の詳細については、『[スケジュールの設定項目](#)』を参照してください。

スケジュールが更新され、スケジュールの一覧が表示されます。



スケジュールを削除する

登録されているスケジュールの削除には、スケジュールの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいスケジュールをすべて選択してから削除する方法があります。

スケジュールを個別に削除する

スケジュールの操作メニューから削除を選択する方法です。

「スケジュール設定」画面で、[一般] タブ、[キープアライブ] タブまたは [ユーザー定義] タブをクリックします。

現在の設定をデバイスに保存

スケジュール設定

一般 キープアライブ ユーザー定義

+ 新規追加 削除

タスク名	有効/無効	時刻	アクション	
task	無効	1月 1日 (日) 0時 0分	Software reboot	...

1 - 1件 / 1件 << < 1 > >> 表示件数 10 ▼

© 2021 amnimo, Inc.

削除したいスケジュールの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。

現在の設定をデバイスに保存

スケジュール設定

一般 キープアライブ ユーザー定義

+ 新規追加 削除

タスク名	有効/無効	時刻	アクション	
task	無効	1月 1日 (日) 0時 0分	Software reboot	編集 削除

1 - 1件 / 1件 << < 1 > >> 表示件数 10 ▼

© 2021 amnimo, Inc.

「確認」画面が表示されます。

3

【削除】 ボタンをクリックします。



スケジュールが削除されます。

スケジュールを複数選択して削除する

削除したいスケジュールにチェックを付けてから削除する方法です。複数のスケジュールを一括で削除する際に便利です。スケジュールを1つだけ選択して削除することもできます。

「スケジュール設定」画面で、[一般] タブ、[キープアライブ] タブまたは [ユーザー定義] タブをクリックします。



削除したいスケジュールの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、【削除】 ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

3 [削除] ボタンをクリックします。



選択したスケジュールが削除されます。

PoE 設定をする

2024年7月10日

NOTE

IoTルーター屋内タイプ（AR10）、コンパクトルーター屋内タイプ（AC10）、無線LAN搭載コンパクトルーター屋内タイプ（AC15）には、この機能はありません。表示されるインターフェイスは以下の通りです。

- AIエッジゲートウェイ：lan0～lan3
- エッジゲートウェイ：lan0～lan3
- IoTルーター屋外タイプ（AR20）：eth0, eth1
- 無線LAN搭載コンパクトルーター屋外タイプ（AC25）：lan1

本製品のPoE設定をします。

ここでは、各インターフェイスにおけるPoE設定状況の確認、編集、初期化の操作について説明します。

PoE設定の一覧を表示する

PoE設定の一覧を表示します。

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「PoE設定」をクリックします。

「PoE設定」画面に、各インターフェイスのPoE設定状況が表示されます。

The screenshot displays the PoE configuration interface. On the left, a dark blue sidebar menu lists various settings, with 'PoE設定' (PoE Settings) highlighted in a lighter blue. The main content area is titled 'PoE設定' and features a table of interfaces. At the top right of this area is a '初期化' (Reset) button. The table has columns for 'インターフェイス' (Interface), '有効/無効' (Status), and a three-dot menu icon. The data rows are as follows:

インターフェイス	有効/無効	
lan0	有効	...
lan1	有効	...
lan2	有効	...
lan3	有効	...

Below the table, it shows '1-4件 / 4件' (1-4 items / 4 items) and a pagination control with a '1' in a blue circle. On the right, it says '表示件数 10' (Number of items to display 10). The footer of the page contains '© 2021 amnimo, Inc.'

 NOTE

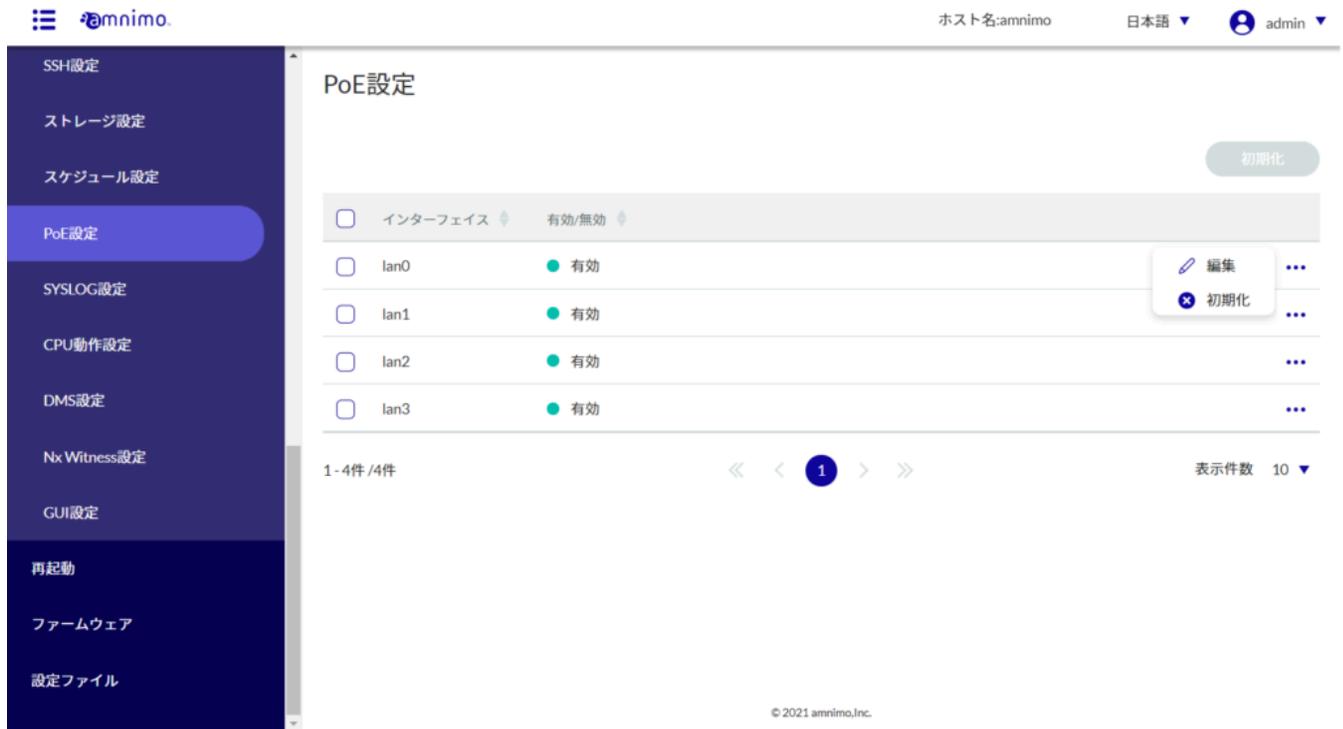
PoE一覧の「インターフェイス」と「有効/無効」をクリックすることで、インターフェイスまたは有効/無効の降順/昇順でPoE設定を並び替えることができます。。

<input type="checkbox"/>	インターフェイス	有効/無効	
<input type="checkbox"/>	lan0	● 有効	...
<input type="checkbox"/>	lan1	● 有効	...
<input type="checkbox"/>	lan2	● 有効	...
<input type="checkbox"/>	lan3	● 有効	...

PoE設定を編集する

登録されているPoE設定を編集します。

1 「PoE設定」画面で、編集したいPoE設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



The screenshot displays the 'PoE設定' (PoE Settings) page. On the left is a dark sidebar with navigation items: SSH設定, ストレージ設定, スケジュール設定, PoE設定 (highlighted), SYSLOG設定, CPU動作設定, DMS設定, Nx Witness設定, GUI設定, 再起動, ファームウェア, and 設定ファイル. The top right shows 'ホスト名:amnimo', '日本語', and 'admin'. The main content area shows a table with columns for 'インターフェイス' and '有効/無効'. Below the table are pagination controls showing '1-4件 / 4件' and '表示件数 10'. A context menu is open over the 'lan0' row, with '編集' (Edit) and '初期化' (Reset) options.

2 「PoE設定の編集」画面で、必要な項目を設定します。



- ① トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- ② 起動時の遅延時間（秒）を、0～3600で指定します。
- ③ PoE ポートの電流制限値を設定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

PoE設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

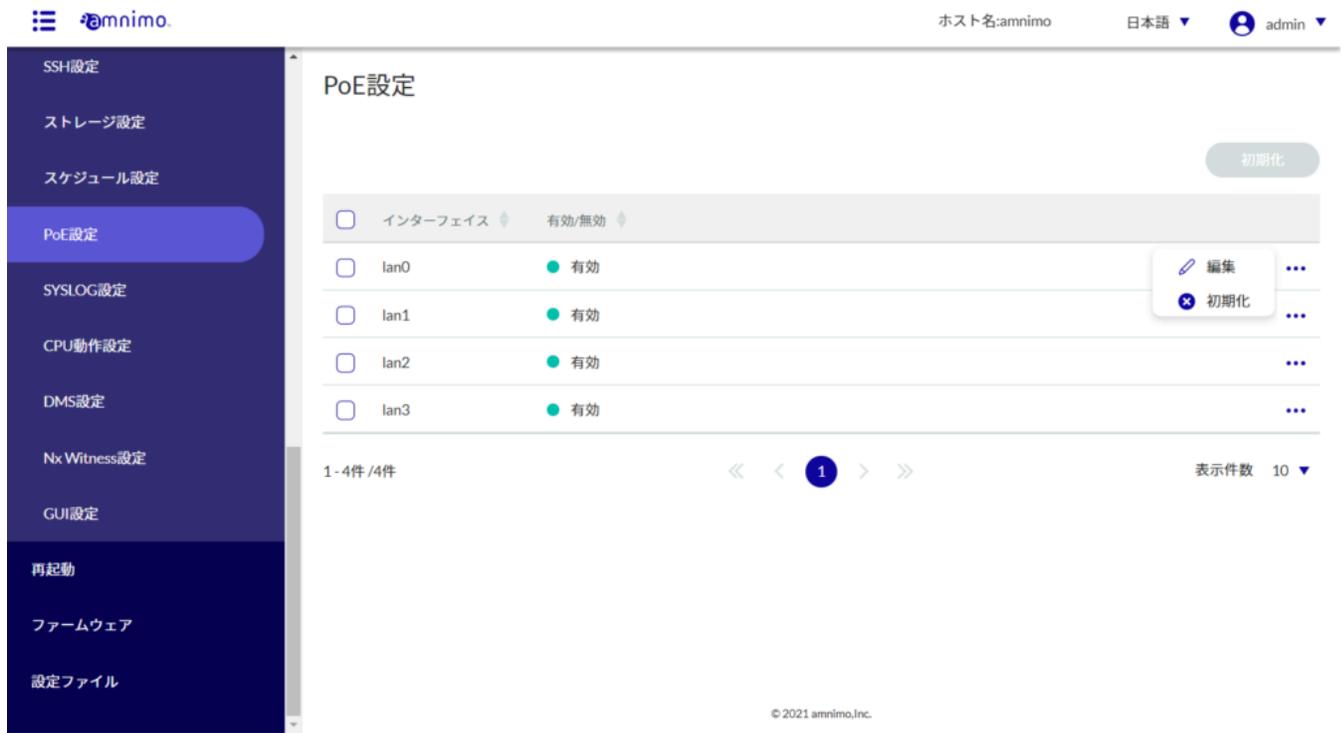
PoE設定を初期化する

PoE設定の初期化には、PoE設定の操作メニューから個別に初期化する方法と、初期化したいPoE設定をすべて選択してから初期化する方法があります。

PoE設定を個別に初期化する

PoE設定のメニューから初期化を選択する方法です。

「PoE設定」画面で、初期化したいPoE設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [初期化] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

2

【初期化】 ボタンをクリックします。

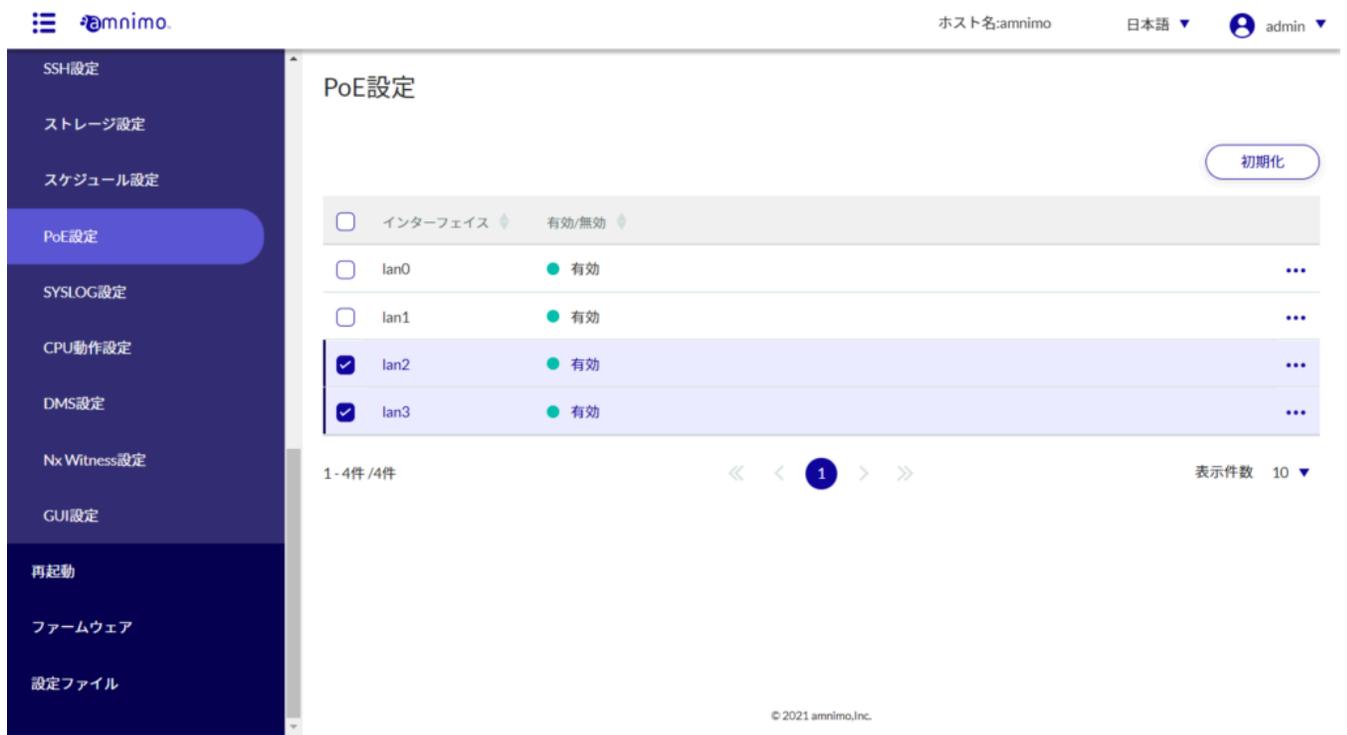


PoE設定が初期化されます。

PoE設定を複数選択して初期化する

初期化したいPoE設定にチェックを付けてから初期化する方法です。複数のPoE設定を一括で初期化する際に便利です。PoE設定を1つだけ選択して初期化することもできます。

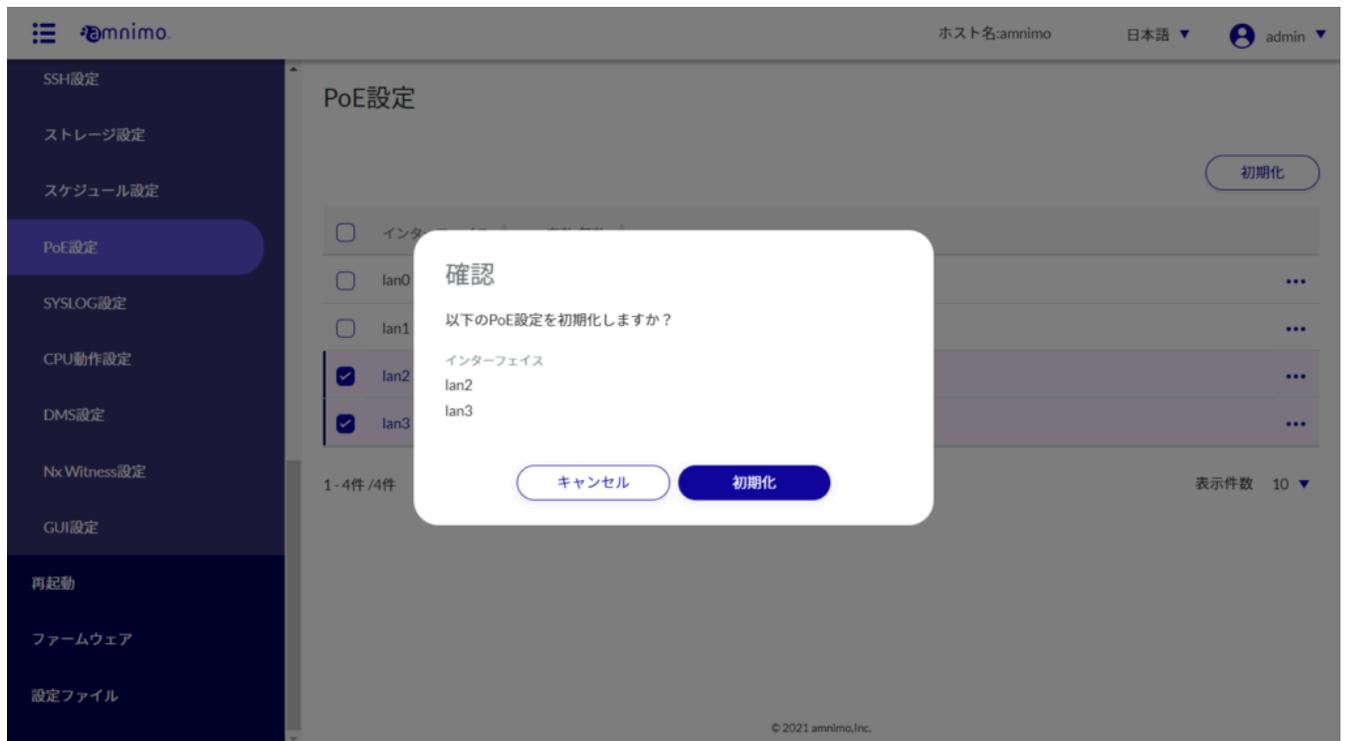
「PoE設定」画面で、初期化したいPoE設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、【初期化】 ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2

[初期化] ボタンをクリックします。



選択したPoE設定が初期化されます。

CPU 動作設定をする

2024年7月10日

NOTE

AI エッジゲートウェイ（amnimo X シリーズ）、コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません。

CPU 動作設定を表示する

CPU動作設定を表示します。

- 1 サイドメニューの【詳細設定・制御】 - 【CPU動作設定】をクリックします。



「CPU動作設定」画面に、設定されているCPU動作周波数が表示されます。

CPU 動作設定をする

- 1 「CPU動作設定」画面で、【動作】ボタンをクリックします。

設定したいCPU動作周波数を選択し、【設定】をクリックします。



CPU動作設定の情報が更新されます。

SYSLOG の設定をする

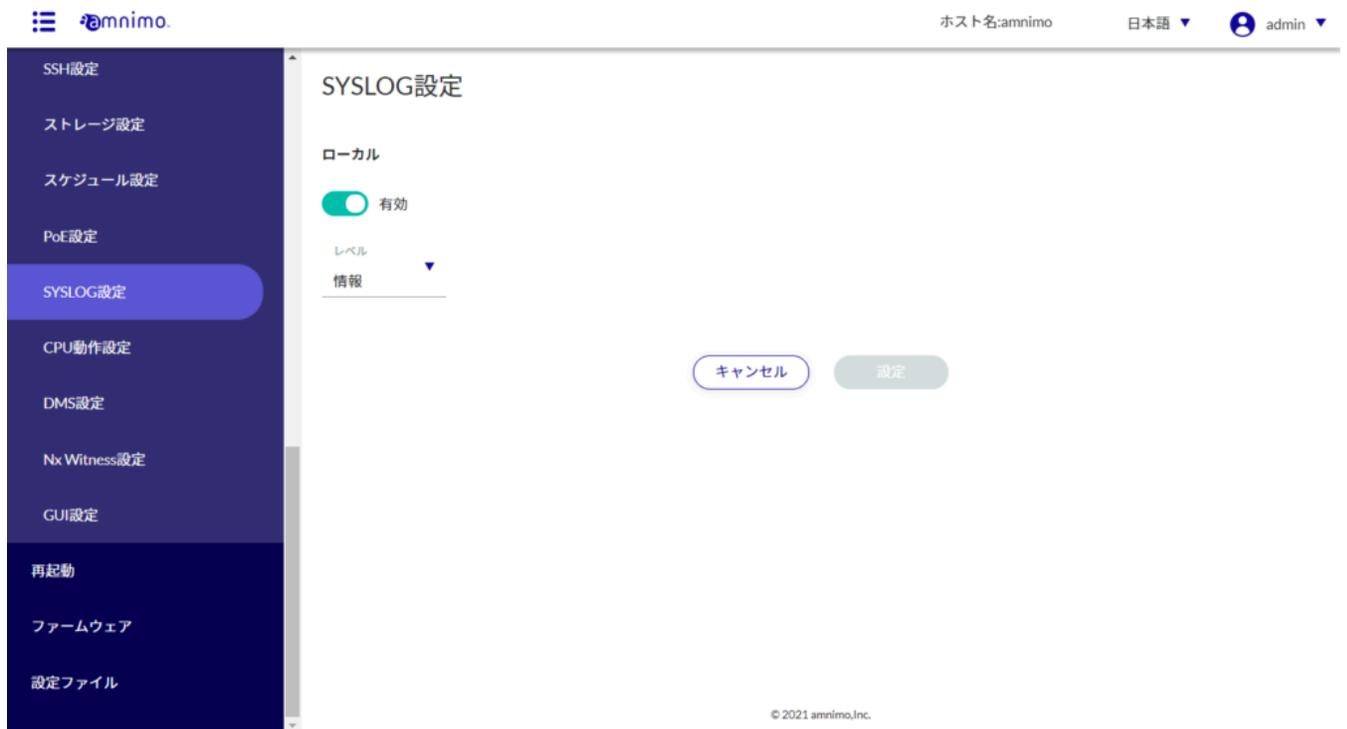
2024年7月10日

本製品の SYSLOG を保存するための設定をします。

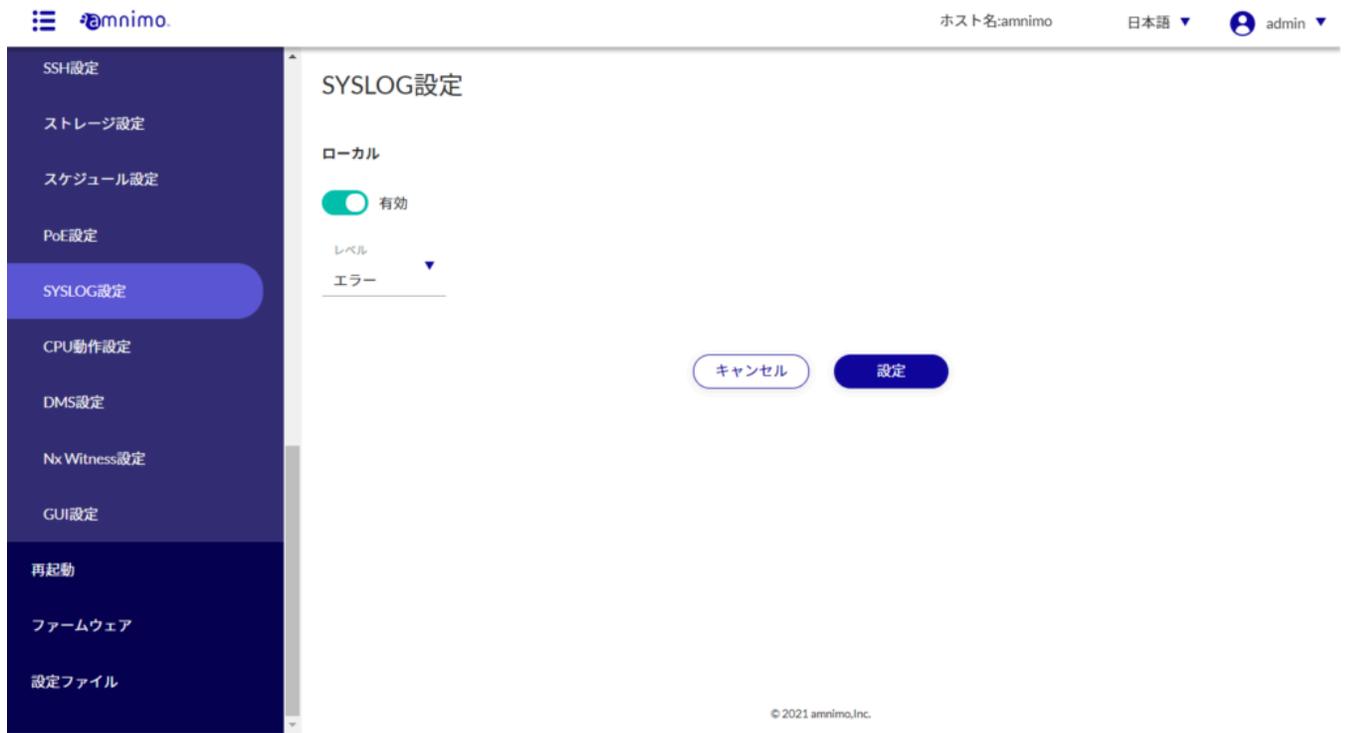
1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [SYSLOG設定] をクリックします。

「SYSLOG設定」画面が表示されます。

2 トグルをスライドし、SYSLOGを有効に設定します。



3 出力するログのレベルを選択します。



4

[設定] ボタンをクリックします。

SYSLOGの設定が行われます。

DMS 設定をする

2024年7月10日

デバイス管理システムを使用するための設定をします。

! ALERT

円滑なデバイス管理を可能にするため、工場出荷時にはデバイス側のDMSの設定が”有効”になっています。本サービスご利用の有無に関わらず、DMSの設定が有効になっている場合は、インターネット通信を実施します。モバイル機能を利用している場合は通信コストが発生するため、本サービスを利用しない場合はDMSの設定を”無効”にしてください。

DMS設定を表示する

DMS設定を表示します。

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [DMS設定] をクリックします。



「DMS設定」画面に、現在のDMS設定状況が表示されます。

DMS設定を有効化/無効化する

DMS設定を有効化/無効化します。

- 1 「DMS設定」画面で、トグルをクリックし[有効]または[無効]に変更し、「設定」ボタンをクリックします。

Nx Witness 設定をする

2024年7月10日

NOTE

IoTルーター（amnimo Rシリーズ）、コンパクトルーター（amnimo Cシリーズ）には、この機能はありません。

本製品のNx Witness設定をします。

ここでは、Nx Witness設定の変更、保存、復帰の操作について説明します。

Nx Witness設定を表示する

1 サイドメニューの【詳細設定・制御】 - 【Nx Witness設定】をクリックします。

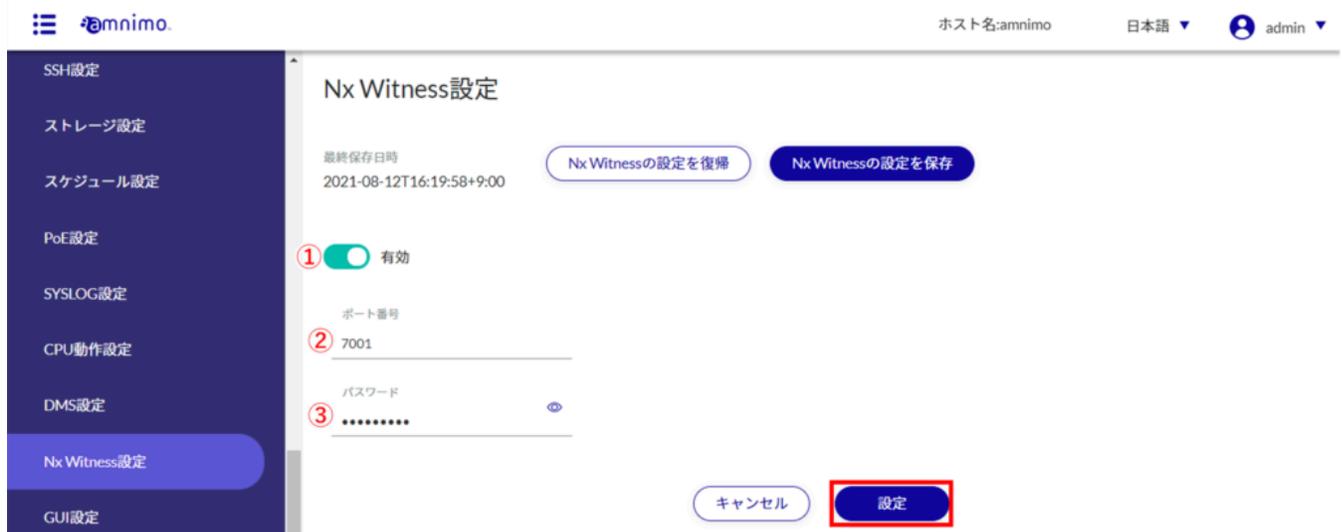


「Nx Witness設定」画面に、現在のNx Witness設定状況が表示されます。

Nx Witness設定を変更する

1 「Nx Witness設定」画面で下記の①～③を編集し、【設定】をクリックします。

- ① トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- ② ポート番号を指定します。デフォルト値は7001が設定されています。
- ③ Nx Witnessに設定したadminのパスワードを入力します。



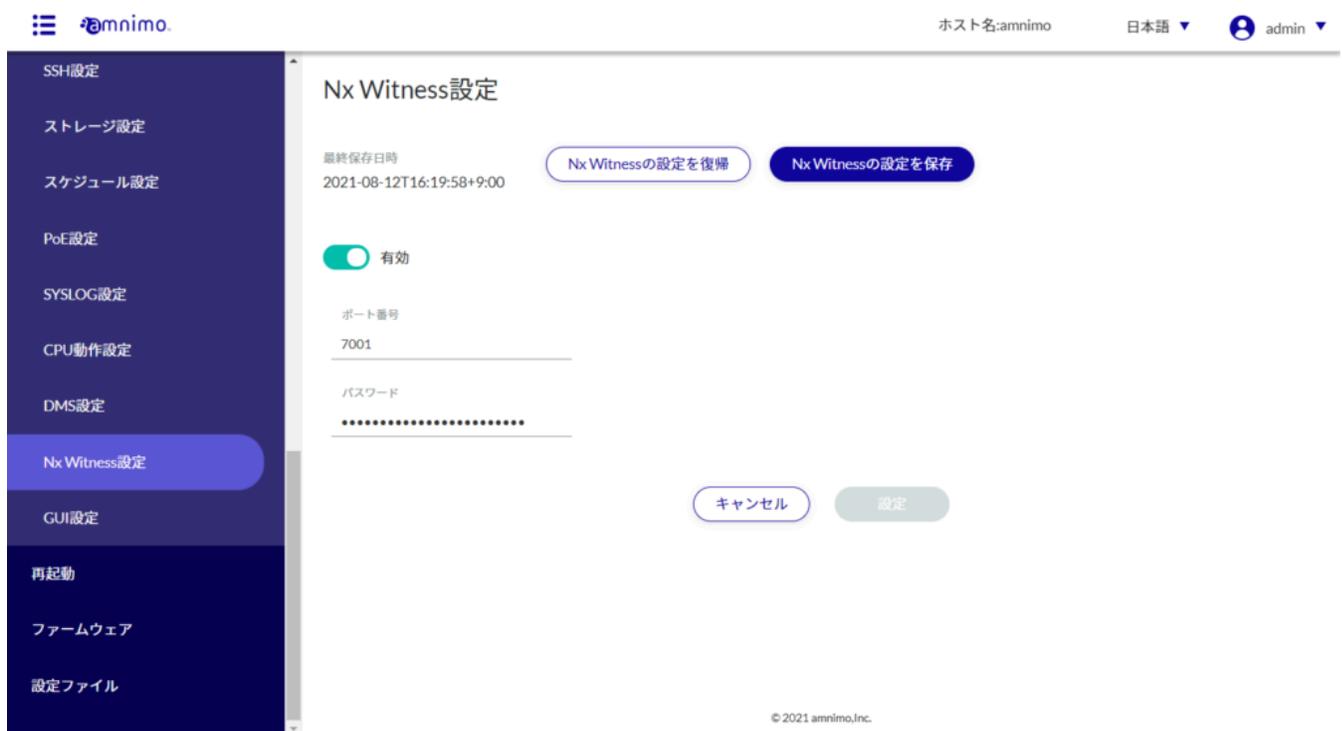
- 2 Nx Witness設定の情報が更新されます。

Nx Witness設定を保存する

NOTE

この機能を利用するには、あらかじめNxWitnessのパスワードが正しく設定されている必要があります。パスワードが正しく設定されていない状態で実施するとエラーメッセージが表示されますのでご注意ください。

- 1 「Nx Witness設定」画面で、[Nx Witnessの設定を保存]をクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2 「保存する」ボタンをクリックします。



Nx Witness設定が保存され、画面左上の最終保存日時が更新されます。

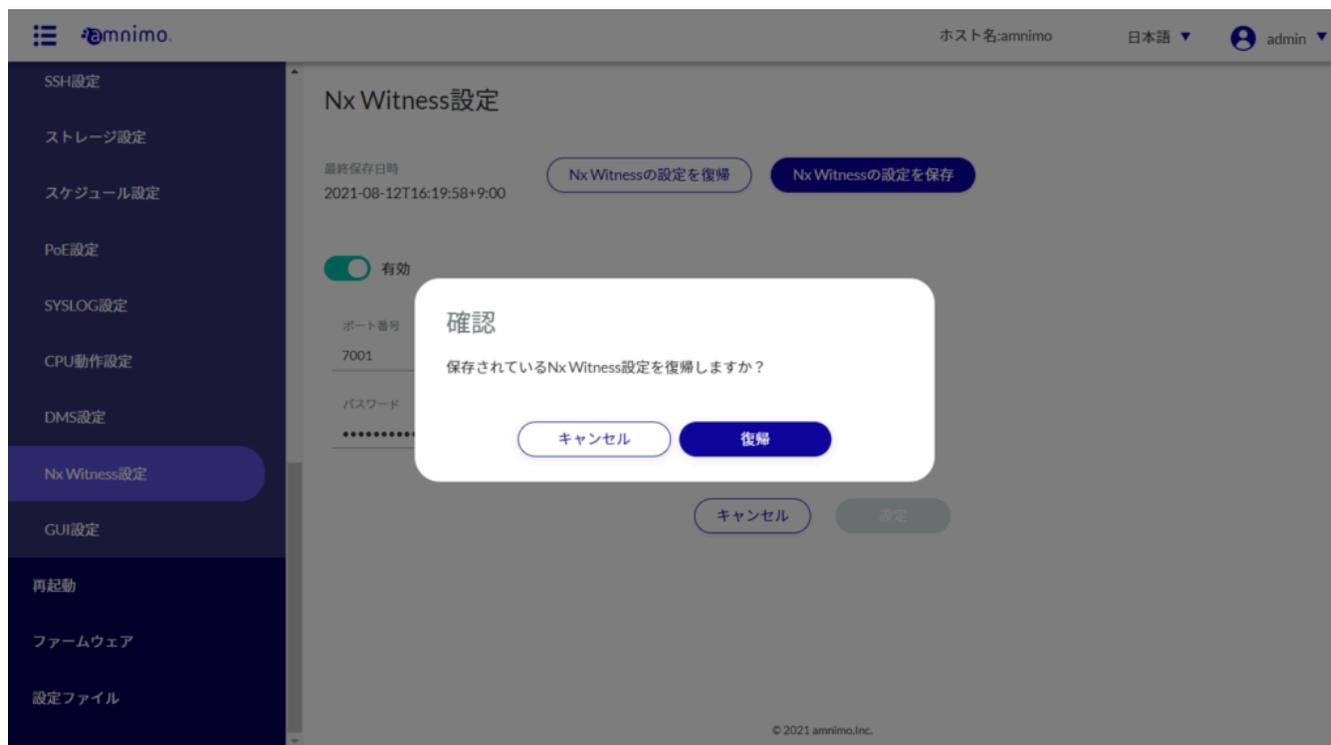
Nx Witness設定を読み込む

保存されているNx Witness設定を読み込みます。

1 「Nx Witness設定」画面で、「Nx Witnessの設定を復帰」をクリックします。



「確認」画面が表示されます。

2 **【保存】 ボタンをクリックします。**

保存されているNx Witness設定が読み込まれます。

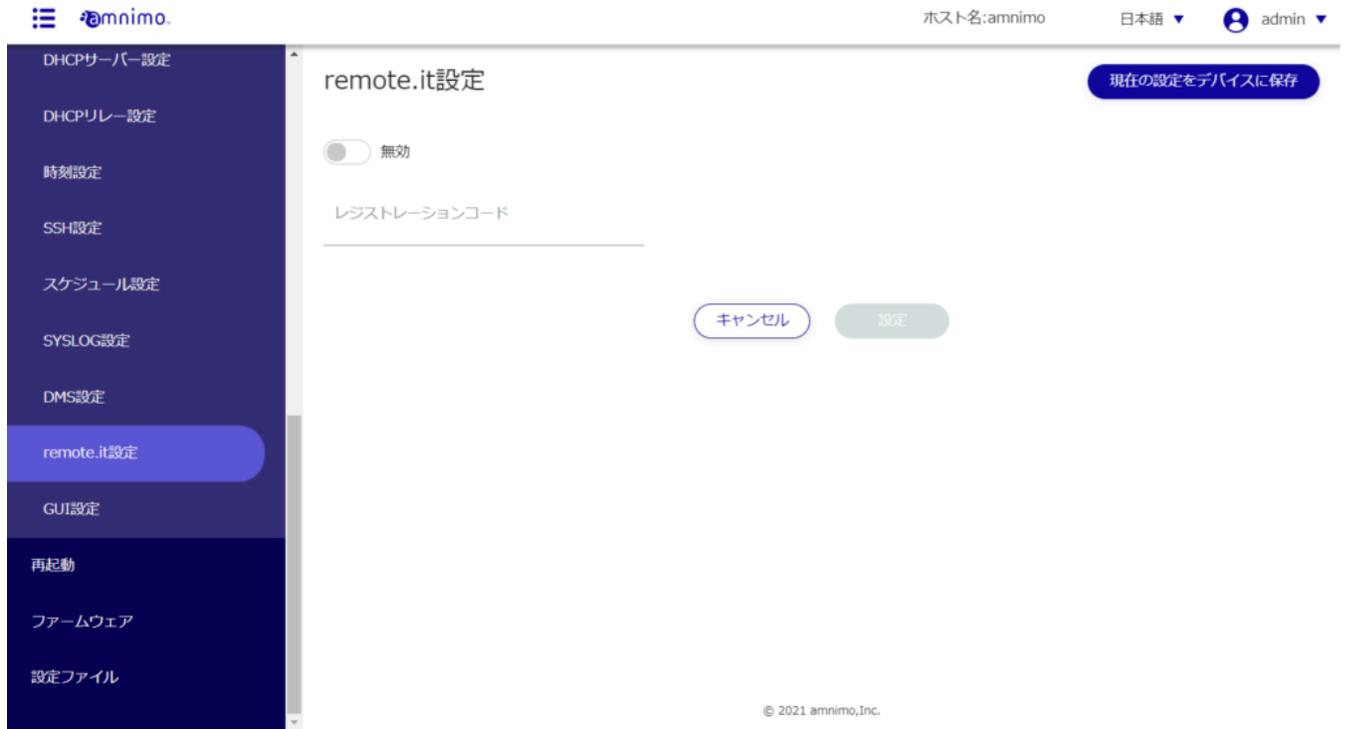
remote.it の設定をする

2024年7月10日

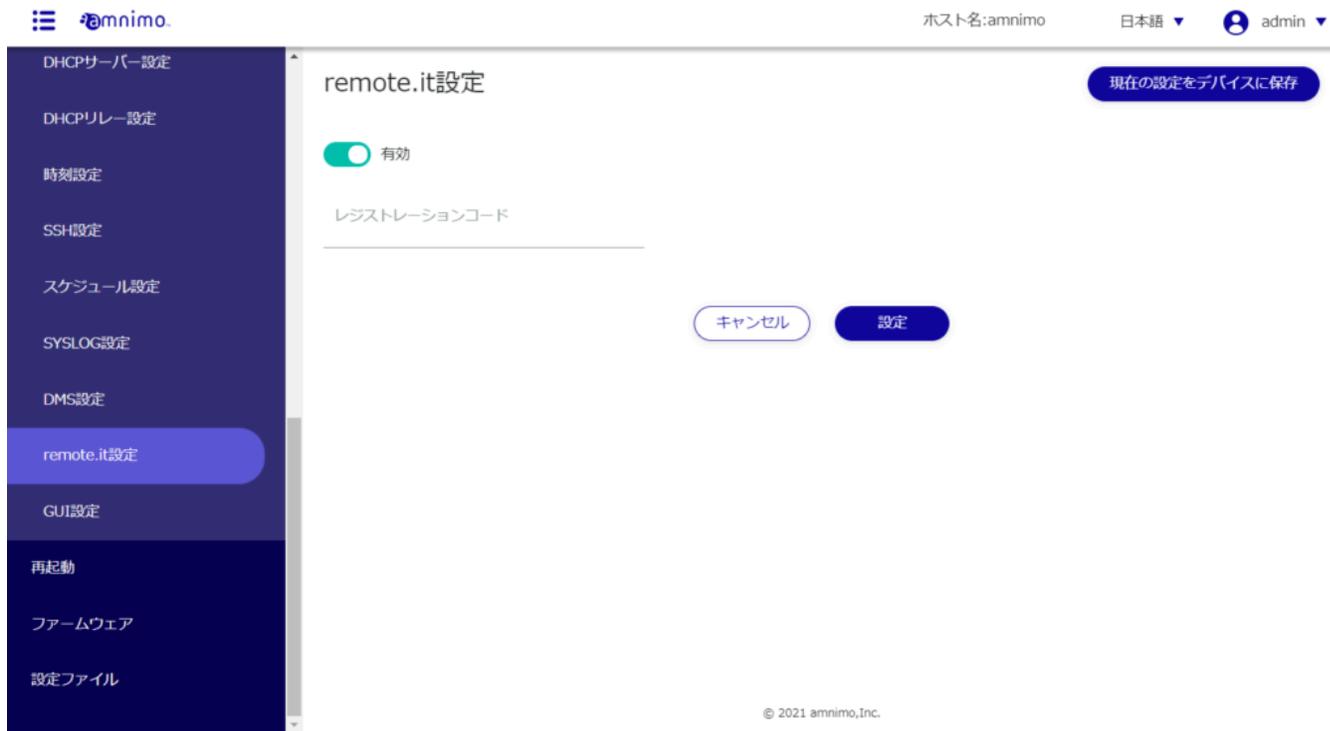
本製品にてremote.itを使用するための設定をします。

1 サイドメニューの【詳細設定・制御】 - 【remote.it設定】をクリックします。

「remote.it設定」画面が表示されます。



2 トグルをスライドし、remote.itを有効に設定します。



エッジゲートウェイ / IoT ルーターの場合は、[設定]をクリックします。コンパクトルーターの場合は、以下の注意事項の作業を実施します。

NOTE

コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）の場合、レジストレーションコードを登録する必要があります。

レジストレーションコードは、別途remote.itのWebページから取得する必要があります。

→ 設定方法については、『[amnimo C シリーズ コンパクトルーター スタートアップガイド](#)』などを参照してください。

GUIの設定をする

2024年7月10日

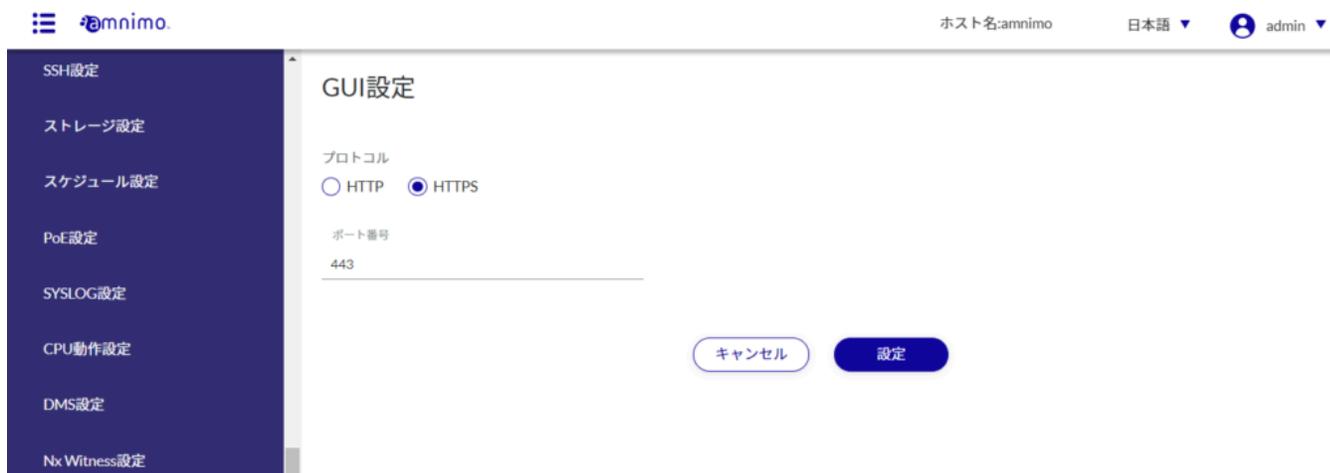
本書で説明しているGUI設定画面に関する設定をします。

1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「GUI設定」をクリックします。



「GUI設定」画面が表示されます。

2 GUIの設定をします。



① プロトコルとして「HTTP」または「HTTPS」を選択します。

② ポート番号を入力します。



NOTE

- ポート番号は、1～65535の範囲で設定することができます。
- HTTPでは標準で80番ポートを、HTTPSでは443番ポートを使用します。
- ポート番号を変更した場合、クライアントはそのポート番号を指定して接続する必要があるため、注意が必要です。

3

【設定】をクリックします。

GUIの設定が行われます。

改訂履歴

2024年7月10日

版数	発行日	改訂内容
初版	2021年4月1日	初版発行
第2版	2021年9月10日	<p>ファームウェアV 1.3.0リリースによる機能追加・仕様変更のため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[運用情報]-[インターフェイス]の追加 ・[運用情報]-[ルーティング]の追加 ・[運用情報]-[モバイル通信]の追加 ・[運用情報]-[ストレージ]の追加[運用情報]-[PoE]の追加 ・[詳細設定]-[PPP(PPPoE)設定]の追加 ・[詳細設定]-[インターフェイス設定]の追加 ・[詳細設定]-[スタティックルーティング設定]の追加 ・[詳細設定]-[フィルター設定]の追加 ・[詳細設定]-[NAT設定]の追加 ・[詳細設定]-[DNS設定]の追加 ・[詳細設定]-[DHCP設定]の追加 ・[詳細設定]-[ストレージ設定]の追加 ・[詳細設定]-[PoE設定]の追加 ・[詳細設定]-[CPU動作設定]の追加 ・[詳細設定]-[DMS設定]の追加 ・[詳細設定]-[Nx Witness設定]の追加
第3版	2021年10月18日	<p>ファームウェアV 1.4.0リリースによる機能追加のため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外タイプエッジゲートウェイ、屋外タイプIoTルーターを対象機器として追加
第4版	2022年5月1日	<p>ファームウェアV 1.5.0リリースによる機能追加のため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[運用情報]-[DHCPリース状況]の追加 ・[運用情報]-[接点変化履歴]の追加
第5版	2022年7月1日	<p>ファームウェアV 1.6.0リリースによる機能追加のため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトルーターに関連する項目に追記
第6版	2022年10月1日	<p>コンパクトルーター用ファームウェアV 1.7.0リリースによる機能追加のため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[運用情報]-[IPsec]の追加 ・[詳細設定]-[IPsec設定]の追加 ・[詳細設定]-[DHCPリレー設定]の追加 ・[詳細設定]-[remote.it設定]の追加
第7版	2022年11月28日	<p>コンパクトルーター用ファームウェアV 1.8.0リリースによる機能追加のため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[詳細設定]-[グループ設定]の追加 ・[詳細設定]-[プロキシサーバー設定]の追加
第8版	2023年1月	エッジゲートウェイ・IoTルーター用ファームウェアV 1.8.2リリースによる機能追加のため。

版数	発行日	改訂内容
第9版	2023年6月14日	コンパクトルーター用ファームウェアV 1.10.0リリースによる機能追加のため。 ・屋内タイプ無線LAN搭載コンパクトルーターを対象機器として追加
第10版	2023年6月30日	コンパクトルーター（AC10）用ファームウェアV 1.11.0リリースによる機能追加のため。 ・スケジュール設定に再起動モードの選択を追加
第11版	2023年9月1日	コンパクトルーター用ファームウェアV 1.12.0リリースによる機能追加のため。 ・無線LAN搭載コンパクトルーター屋外タイプを対象機器として追加
第12版	2023年9月29日	amnimo C シリーズ ファームウェアV1.13.0リリース、amnimo G/R シリーズ ファームウェアV1.9.7に伴い、ファームウェアのバージョンを最新のものに更新。
第13版	2023年10月24日	amnimo G/R シリーズ ファームウェアV1.9.8に伴い、ファームウェアのバージョンを最新のものに更新。
第14版	2023年11月16日	amnimo G シリーズ ファームウェアV2.1.0リリースによる表記変更、機能変更のため。 ・時刻設定（手動設定）のNTP同期の表記変更 ・スケジュール設定—キープアライブ設定のping宛先を複数設定可能に変更
第15版	2024年1月24日	AC15/AC25 ファームウェアV2.3.0リリースによる表記変更、機能変更のため。 ・モバイル通信画面に通信継続時間を追加 ・機器情報画面にモバイルFWバージョンを表示するように変更 ・時刻設定（手動設定）のNTP同期の表記変更 ・スケジュール画面のキープアライブ設定の追加・編集画面の宛先の設定方法を変更 ・インターフェイス設定の追加・編集画面（br0,lan0,lan1,wlan0,wlan1）のIPアドレスの設定方法が変更
第16版	2024年2月1日	AC15/AC25 ファームウェアV2.3.0リリースによるファームウェアダウンロードURL変更のため。
第17版	2024年2月19日	AIエッジゲートウェイを対象機器として追加。
第18版	2024年3月27日	AG/AX/AR ファームウェアV2.4.2リリースによる機能追加のため。 ・スケジュール設定にユーザー定義タブを追加
第19版	2024年4月17日	AC10/AC15/AC25 ファームウェアV2.5.0リリースによる表記変更、機能変更のため。 ・設定ファイルの保存が未完了の場合に、その旨を表示 ・アムニモ診断情報のダウンロードを追加 ・PPP（PPPoE）設定の対象機器にAC10を追加 ・AC10のスケジュール設定でアクションとしてPPP回線接続とPPP回線切断を追加 ・スケジュールの設定項目として、無線LANリセット、送信元インターフェイス、リトライを追加